

令和5年度

上田市上下水道事業年鑑



上田市上下水道局

# 目次

## 上下水道局の概要

### 1 事業経営の方針

(1) 「上田市上下水道事業経営戦略（改訂版）」	3
(2) 経営戦略の事後検証	6
(3) 令和4年度の重点目標とその実績	7
(4) 令和5年度の重点目標	11

### 2 事業の状況

(1) 組織図	15
(2) 事業計画及び事業区域	20
(3) 料金及び使用料等の状況	24

## 水道事業編

### 1 事業の概要

(1) 事業の沿革	29
(2) 事業のあゆみ	30
(3) 事業計画	34

### 2 財政の状況

(1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移	36
(2) 資本的収支及び補てん財源の推移	37
(3) 財務諸表の推移	38
(4) 費用構成の推移	43
(5) 固定資産の推移	44
(6) 企業債残高の推移	45
(7) 繰入金の推移	45
(8) 経営分析	46



### 3 業務の状況

(1)	業務量	48
(2)	給水人口の推移	48
(3)	加入金の額	49
(4)	水道料金の収納状況の推移	49
(5)	水道料金の納付方法の推移（1期当たり平均）	49
(6)	口径別有収水量・調定件数・調定額	50
(7)	用途別有収水量・調定件数・調定額	51
(8)	公衆浴場組合補助金の状況	51
(9)	県営水道料金差額補助金の状況	51

### 4 施設の現況

(1)	水源（水利権等の許可状況）	52
(2)	取水施設（表流水）	53
(3)	浄水施設	54
(4)	配水池・ポンプ施設	56
(5)	管路延長等の状況	58
(6)	配水量の推移	61
(7)	令和4年度の水質	62
(8)	電力使用量の推移	65
(9)	小水力発電量の推移	66
(10)	薬品使用量の推移	67

## 公共下水道事業編

### 1 事業の概要

(1)	事業の沿革	71
(2)	事業のあゆみ	71
(3)	事業計画	80

### 2 財政の状況

(1)	収益的収支及び損益勘定留保資金の推移	84
(2)	資本的収支及び補てん財源の推移	85
(3)	財務諸表の推移	86
(4)	費用構成の推移	91

(5)	固定資産の推移	92
(6)	企業債残高の推移	93
(7)	繰入金の推移	93
(8)	経営分析	94

### 3 業務の状況

(1)	業務量	96
(2)	水洗化人口の推移	97
(3)	処理可能面積の推移	97
(4)	受益者負担金・分担金の額	98
(5)	収納状況の推移	98
(6)	下水道使用料の納付方法（1期当たり平均）	98
(7)	下水道排水設備資金融資利子補給制度	99

### 4 施設の状況

(1)	処理場の状況	100
(2)	ポンプ場の状況	109
(3)	管渠延長等の状況	111
(4)	処理水量の推移	124
(5)	水質検査結果	125
(6)	電力（動力）使用量の推移	127
(7)	薬品使用量の推移	128

## 農業集落排水事業編

### 1 事業の概要

(1)	事業の沿革	131
(2)	事業のあゆみ	131
(3)	事業計画	136

### 2 財政の状況

(1)	収益的収支及び損益勘定留保資金の推移	138
(2)	資本的収支及び補てん財源の推移	140
(3)	財務諸表の推移	141
(4)	費用構成の推移	146

(5)	固定資産の推移	147
(6)	企業債残高の推移	148
(7)	繰入金の推移	148
(8)	経営分析	149

### 3 業務の状況

(1)	業務量	151
(2)	水洗化人口の推移	152
(3)	加入金の額	153
(4)	農集排使用料の収納状況の推移	153
(5)	農集排使用料の納付方法（1期当たり平均）	153

### 4 施設の状況

(1)	処理場の状況	154
(2)	管渠延長等の状況	155
(3)	処理水量の推移	157
(4)	電力（動力）使用量の推移	158

## 付録

### 1 長野県内の上下水道料金比較

(1)	長野県内 19 市等上下水道料金一覧表	163
(2)	長野県内の水道使用量別料金比較	164
(3)	長野県内の公共下水道使用量別使用料比較	166
(4)	長野県内の農業集落排水使用量別使用料比較	168

### 2 長野県内の上下水道事業の経営状況

(1)	水道事業	170
(2)	公共下水道事業	172
(3)	農業集落排水事業	174

### 3 上下水道指定工事店の状況

(1)	指定工事事業者の推移	176
(2)	指定工事事業者の指定基準	176

# 上下水道局の概要



# 1 事業経営の方針

## (1) 「上田市上下水道事業経営戦略（改訂版）」

### ア 策定の趣旨

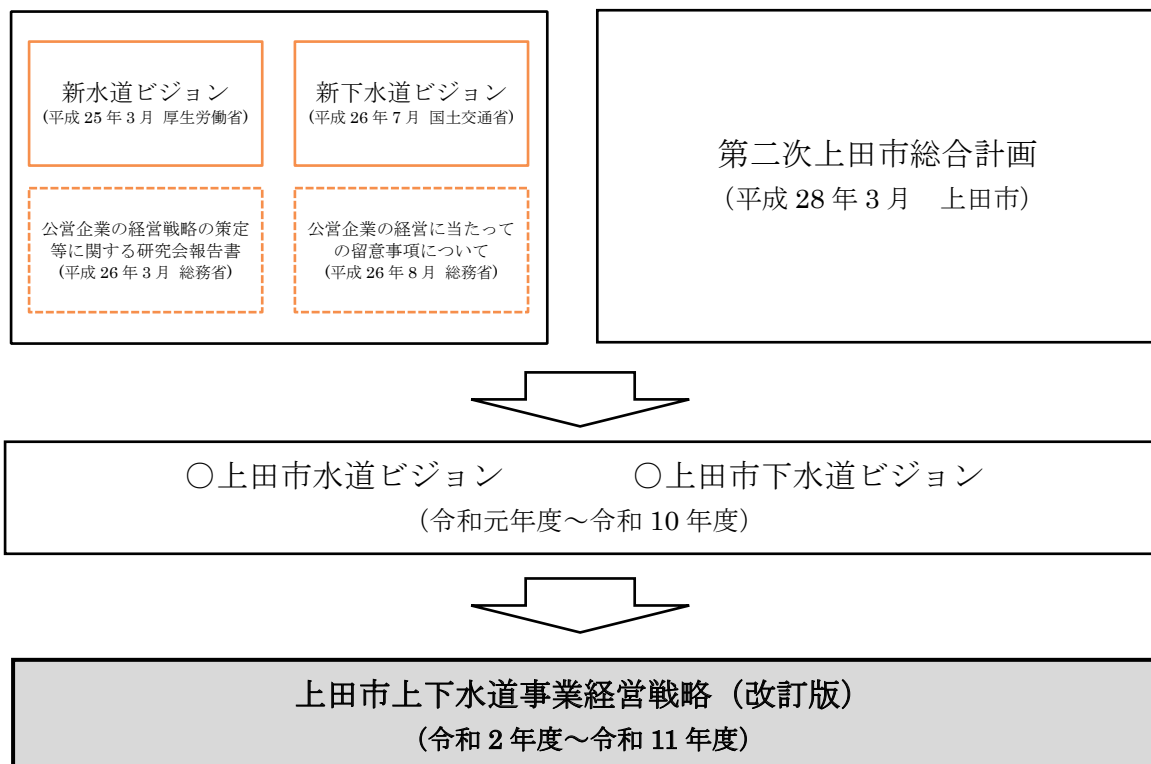
人口減少や節水機器の普及など、水需要の減少に伴う収入減の傾向が続いている一方、供用開始から順次整備してきた多くの施設で老朽化が進んでおり、施設の更新や耐震化には多大な費用が必要となるため、今後の経営状況はますます厳しいものとなることを見込まれます。このような状況に対し、持続可能な上下水道事業を実現していくため、「投資試算」と「財源試算」を均衡させた収支計画を含む、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」（計画年度：平成 29 年度～令和 8 年度）を平成 28 年度に策定しましたが、平成 31 年 3 月に「上田市水道ビジョン」及び「上田市下水道ビジョン」を新たに策定したことから、両ビジョンを踏まえて、「上田市上下水道事業経営戦略（改訂版）」を令和 2 年 2 月に策定しました。

### イ 経営戦略（改訂版）の位置付け

「第二次上田市総合計画」、「上田市水道ビジョン」、「上田市下水道ビジョン」や、国の「公営企業の経営戦略の策定に関する研究会報告書」、「公営企業の経営に当たっての留意事項」といった上位計画と整合を図りながら策定しています。

### ウ 計画期間

令和 2 年度から令和 11 年度までの 10 年間とします。



## ○ 水道事業経営の基本方針

基本理念を「安全と安心、持続可能な水道をいつまでも」とし、「安全な水の供給」、「災害に強い強靱な施設づくり」、「安定した事業経営の持続」を基本方針として掲げました。

### 1 安全な水の供給

安心して飲んでいただけるよう、安全な水道水を供給します

#### (1) 良質な水源の確保と維持

- ア 良質で経済的な地下水源の運用拡大
- イ 水道水源の保全

#### (2) 水道水の安全性のさらなる向上

- ア クリプトスポリジウム等への対策の徹底
- イ 水道水質管理体制の強化
- ウ 給排水施設の水質劣化防止

### 2 災害に強い強靱な施設づくり

災害時にも水道水を供給できるよう、強靱な施設をつくっていきます

#### (1) 災害時にも水道水の供給が可能な施設づくり

- ア 水道施設及び管路の計画的な更新と耐震化
- イ 安定的な送配水システムの構築

#### (2) 災害時の迅速な復旧体制と応急給水体制の構築

- ア 被災水道施設の迅速な復旧体制の構築
- イ 緊急時の応急給水体制の整備

### 3 安定した事業経営の持続

経営基盤・技術基盤を強化し、将来にわたって水道事業を持続させます

#### (1) 企業経営意識による健全経営の維持

- ア 水道水供給にかかる経費の削減
- イ 戦略的かつ効率的な投資
- ウ 事業運営状況の把握と改善

#### (2) 業務体制の強化と効率化

- ア 技術継承による将来の人材育成
- イ ITやAI等の活用による業務の効率化
- ウ 民間活力の導入の検討

#### (3) 親しみがあり信頼される水道事業づくり

- ア 利用者ニーズの把握によるサービスの向上
- イ 効果的な広報活動の実施

#### (4) 環境にやさしい水道事業の構築

- ア 水道事業による環境負荷の低減

#### (5) 他事業体との広域的連携

- ア 広域的連携による事業基盤の強化

## ○ 下水道事業経営の基本方針

基本理念を「安全・安心で持続可能な下水道を創り、地球にやさしい水のリサイクル」とし、「事業の適切なマネジメント」、「循環型社会の構築に貢献」、「新たな価値の創造に貢献」を基本方針として掲げました。

### 1 事業の適切なマネジメント

#### (1) アセットマネジメント

- ア 道路陥没事故の未然対策
- イ 下水道施設の資産管理
- ウ 整備、管理、改築・更新の一体的推進
- エ 施設の適正な維持管理体制の構築
- オ 降雨時の不明水対策
- カ ICTを活用した遠隔制御、下水道事業の見える化
- キ 下水道全国データベースの活用
- ク 施設の共同化
- ケ 施設の広域化
- コ 経営基盤の強化
- サ 民間活力の導入

#### (2) 危機管理の確立

- ア 段階的・計画的な地震対策
- イ 危機管理体制の強化
- ウ マニュアル整備と災害訓練
- エ 総合的な浸水対策の推進

### 2 循環型社会の構築に貢献

#### (1) 健全な水循環

- ア 農業集落排水施設の統合
- イ 放流水質の最適管理
- ウ 事業場排水の水質監視体制の強化
- エ 注入薬剤等の適正使用・管理
- オ リサイクル資材の利用
- カ 環境保全活動の推進

#### (2) 水・資源・エネルギーの集約・活用

- ア 省エネルギーの推進・活用
- イ 「資源」の有効利用計画の検討
- ウ バイオマスエネルギーの活用
- エ 下水熱の利用
- オ 再生水の利用
- カ 緑農地利用の推進
- キ おむつの下水投入



ク 雨水利用の推進

3 新たな価値の創造に貢献

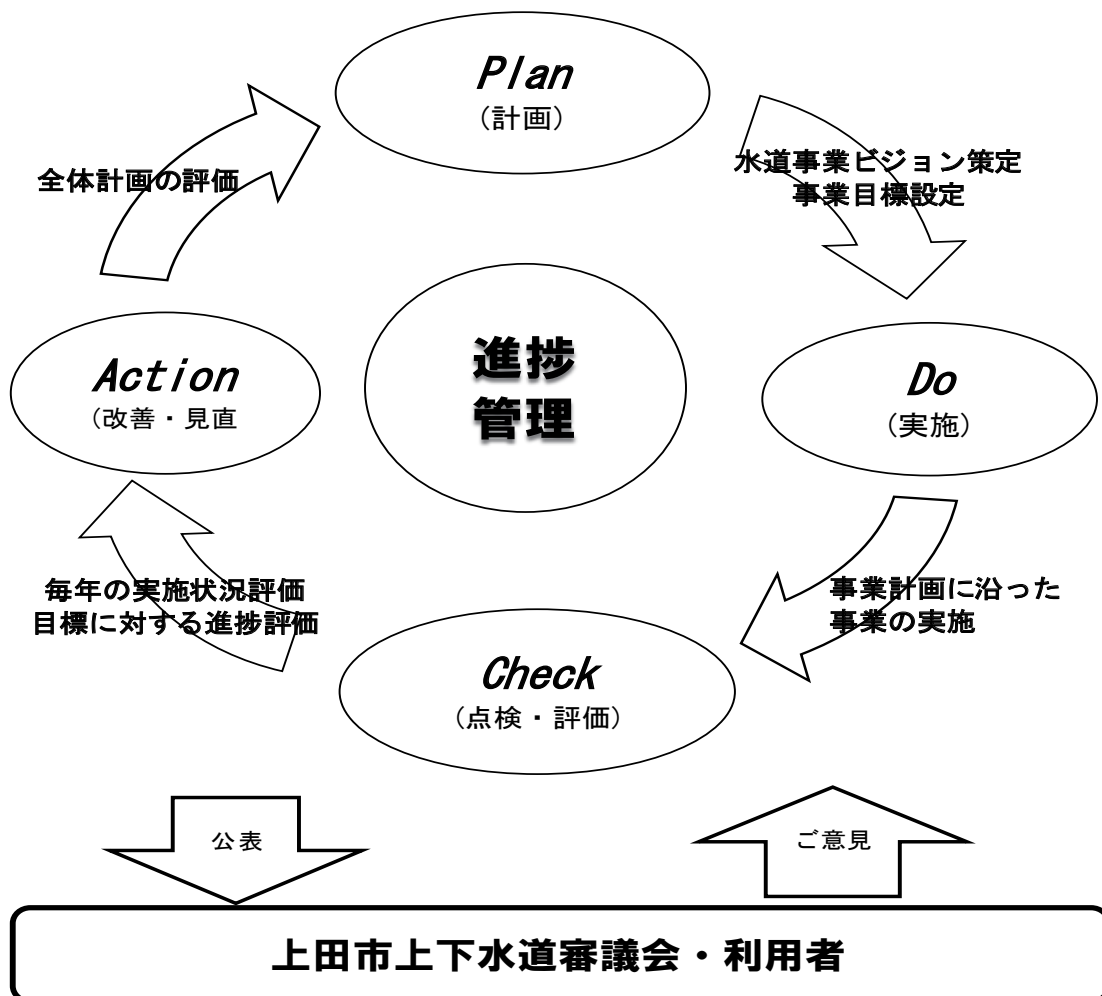
(1) 下水道の見える化・新たな事業展開の模索

- ア 下水道のイメージアップ
- イ 情報提供による透明性の向上
- ウ お客様と双方向の情報交換
- エ 技術習得・継承（人材育成）

(2) 経営戦略の事後検証

本経営戦略で掲げた施策や取組を確実に実施していくに当たっては、目標の達成度や事業の進捗度を評価し、取組方法を改善していくなどの進捗管理を行っていくことが必要です。進捗管理は Plan（計画）、Do（実行）、Check（点検・評価）、Action（改善）、そして再度 Plan に戻るという PDCA サイクルの一連の流れにより行います。

この一連の流れにより、本経営戦略で掲げた各施策や取組について、目標に対する進捗状況を把握するとともに、社会情勢や利用者ニーズの変化などの必要に応じ随時見直しを行います。



# 上下水道局

## 令和4年度 重点目標

- 1 持続可能な事業運営の推進
- 2 きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進
- 3 上水道施設の計画的な維持・更新
- 4 下水道施設の計画的な維持・更新
- 5 危機管理体制の充実

令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	持続可能な事業運営の推進	部局名	上下水道局	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	上田再構築プラン Ver.2.0「もつと、前へ」における位置付け	4	日本を代表する循環型社会をつくる	
第四次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け (2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築					
現況・課題	<p>・給水人口の減少や節水意識の高まり等により料金収入が減少する一方で、上下水道施設の更新や耐震化費用の増加が見込まれることから、上下水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。こうした状況に対応するため、平成31年3月に策定した「水道ビジョン」、「下水道ビジョン」及び令和2年2月に改定した上下水道事業経営戦略を踏まえ、定期的に事業を見直ししながら、健全な経営を進めていく必要があります。</p> <p>・令和2年度の上下水道審議会では、令和6年度までの水道料金の基本料金の引上げについて平均改定率0.3%の引上げについて答申を受け、令和3年10月に水道料金の改定を行いました。引き続き健全な経営による持続可能な事業運営が求められます。</p> <p>・熟練技術者の退職や異動により、技術力の確保や継承が年々難しくなっていることから、危機管理も考慮した人材体制の充実を図っていく必要があります。</p> <p>・給水区域が隣接する県企業局・長野市・上田市・千曲市・坂城町の5事業体が構成する水道事業広域化研究会に参加し、広域連携の研究を進めてきましたが、経営の合理化等について広く市民に周知する必要があります。</p>				
目的・効果	<p>・ビジョンや経営戦略に沿って事業を推進することで、財源とバランスのとれた投資を行うことが可能になります。</p> <p>・職員が計画的に研修受講や資格取得を行い、次の世代につなげる人材育成を図ります。</p> <p>・水道事業広域化研究会に参加し、広域連携の研究を進め、経営の合理化について検討します。</p>				
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	○人材の育成 継続的な外部研修の受講促進や資格取得の奨励による人材育成の実施	4月～3月	外部研修・資格取得研修受講 ・事務系講習会 延べ10人 ・上下水道技術関係 延べ20人 ・作業資格取得講習会 延べ10人	外部研修・資格取得研修受講（9月末現在） ・事務系講習会 延べ6人 ・上下水道技術関係 延べ8人 ・作業資格取得講習会 延べ4人	外部研修・資格取得研修受講 ・事務系講習会 延べ11人 ・上下水道技術関係 延べ20人 ・作業資格取得講習会 延べ12人
②	○収納率の向上 水道料金・下水道使用料（現年度分）	4月～3月	収納率 水道 99.53%以上 下水道 99.50%以上	収納率 水道 99.00%（9月末現在、前年同期99.04%） 下水道 98.97%（9月末現在、前年同期98.96%）	収納率 水道99.41%、下水道99.42% 計99.42% （参考） 令和3年度 水道99.53%、下水道99.50% 計99.51% 令和2年度 水道99.48%、下水道99.35% 計99.40%
③	○水質の促進 公共下水道域、農業集落排水事業地域の戸別訪問等による水質促進の実施	4月～3月	新規接続戸数 750戸	新規接続戸数 420戸 （9月末現在、目標達成率66.0%、前年同期469戸） 【参考】4月（60戸） 5月（66戸） 6月（101戸） 7月（52戸） 8月（68戸） 9月（73戸）	新規接続戸数 941戸 125.4% （参考） R3 目標750戸に対し1,020戸接続 R2 目標750戸に対し1,032戸接続
④	○広域連携に係る研究・検討 （1）広域連携に関する調整会議への参加 （2）検討経過の市民周知	4月～3月	（1）研究会、幹事会への参加 （2）住民への広報等の実施	（1）研究会1回、幹事会9回 参加 （2）各地域協議会にて説明（5会場） 広報うえた10月号（水道事業広域化検討）記事作成	（1）研究会1回、幹事会22回 参加 （2）各地域協議会にて説明（5会場） 広報うえた10月号（水道事業広域化検討）掲載 専用フォームから意見募集
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点				

令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進	部局名	上下水道局	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	上田再構築プラン Ver.2.0「もつと、前へ」における位置付け	4	日本を代表する循環型社会をつくる	
第四次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け (2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築					
現況・課題	<p>・上水道の水源は、河川の表流水、ダム水、地下水、湧水など28箇所あります。このうち、湧水水源の一部には、降雨時における濁りやクリプト汚染等による影響により、水質が不安定になることから、この対策が急務となっています。このような湧水水源に対しては、この上流域で水質が安定し水量が豊富な湧水水源による給水に切り替えを進めているところですが、これらの水源の有効活用により維持管理の軽減化が求められています。</p>				
目的・効果	<p>・安定した湧水の活用を行うことにより、気象の影響を受けやすい湧水水源の代替や、配水系統間の相互融通や水運用の改善が図られ、より良質な経済的な水の供給が可能となります。</p> <p>・安全安心な水を将来に渡って維持し、持続的な水道水の供給を確保するため、水質管理体制の強化を図ります。</p>				
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	○水源の安全性向上 （1）水源の確保 （2）水源の水質検査強化	4月～3月	（1）水源整備 1箇所 浄水方法変更 1箇所 認可変更 発注済 認可変更 発注済 （2）カブト水質検査 16箇所 37検体 指標菌検査 20箇所 94検体	（1）水源整備1箇所 長入水源用地取得完了 10月発注予定 浄水方法変更 余里 発注済 認可変更 発注済 （2）カブト水質検査 11箇所 16検体 指標菌検査 20箇所 45検体 （つちや水質検査区域拡大に伴い不要となった水源の検査数の減少）	（1）水源整備1箇所 長入水源用地取得完了 ボーリング完了 浄水方法変更 余里 建設工事完了 認可変更（協議に期間を要し継続） （2）カブト水質検査 16箇所 31検体 指標菌検査 25箇所 103検体 （つちや水質検査区域拡大に伴い不要となった水源のクリプトスポリジウム検査の減少）
②	○水質監視体制の強化 検査及び管理機器更新	4月～3月	水質検査機器更新 分光光度計 1基 自動点検器 1基 水質計器更新 濁度計 1箇所 残留塩素計 2箇所 油分計 1箇所	水質検査機器更新 分光光度計 発注済 自動点検器 後期発注予定 水質計器更新 濁度計、残留塩素計 後期発注予定 油分計（泉町） 発注済	水質検査機器更新 分光光度計 完了 自動点検器 完了 水質計器更新 濁度計、残留塩素計（機器製作に期間を要し継続） 油分計（泉町） 完了
③	○地下水源の運用拡大整備事業の推進 滝の入水源を活用した新たな導・配水施設の整備	4月～3月	滝の入水源整備における各種届出 事業実施に伴う各種許可申請事務 工事着手	各許可申請書作成、関係機関との事前協議開始 熊久保ルート工事着手	各許可申請書作成、関係機関との事前協議開始 （自然公園法、保安林関係） 熊久保ルート工事着手
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点				



令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	上水道施設の計画的な維持・更新	部局名	上下水道局	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好・快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	上田再構築プラン Ver.2.0fもっと、前へ」における位置付け	4	日本を代表する循環型社会をつくる	
第四次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築			
現況・課題	・上水道の施設及び管路は老朽化が進行し、特に1980年から2000年の敷設ピーク時の管路が今後、更新時期を迎えることになるため、法定耐用年数（40年）を経過した老朽管が年々増加していきます。また、耐震化率が低い水準にあることから、大規模地震が発生した場合、水道水を供給する機能が多くの場合なくなる可能性があることから、老朽施設の更新や耐震化を早急にすすめていく必要があります。				
目的・効果	・老朽化した水道施設や管路の更新及び耐震化は、市民生活に欠くことのできないライフラインである上水道の強靱化を進めるために必要不可欠な事業であり、施設の更新に当たっては、アセットマネジメントによる更新需要と中長期的な財政推計を踏まえながら、計画的に進めてまいります。また、上水道管路の計画的な更新や耐震化は、日常の管破裂や漏水などの減少につながることから、有収率の向上が期待できます。				
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	○上水道基幹管路の耐震化及び経年管の更新、有収率の向上 (1) 基幹管路の耐震化及び経年管の更新 (2) 有収率の向上	4月～3月	(1) 更新延長 L=2.7km (2) 有収率 85%	(1) 更新延長 L=2.39km 発注済 (上田・真田地域L=1.62km、丸子・武石地域L=0.77km) (2) 有収率84.64%（9月末現在、前年同期84.29%） ※衛星による漏水調査結果を考察し、漏水調査委託に反映させる。	(1) 更新延長 L=2.4km（発注済2.7km） (上田・真田地域L=1.5km、丸子・武石地域L=0.9km) (2) 有収率83.63%（前年同期84.24%） ※プロポーザル方式による有収率向上対策業務委託（R4～R7年度契約）を契約、実施中。来年度から調査結果を踏まえ修繕工事を実施
②	○計画的な水道施設整備の推進 (1) 更新 (2) 耐震補強工事	4月～3月	(1) 浄水場内管路 1箇所 (2) 詳細設計 2箇所	(1) 浄水場内管路 1箇所（ろ過水管路）設計完了 (2) 詳細設計 2箇所（染屋ろ過池・ろ過装置）発注済	(1) 浄水場内管路 1箇所（ろ過水管路）設計完了 工事発注済 工事は2箇年計画 (2) 詳細設計 2箇所（染屋ろ過池・ろ過装置）設計完了
③	○ポンプ設備等の更新 ポンプ及び自家発電機	4月～3月	上田地域 3箇所 丸子地域 2箇所 武石地域 1箇所	上田地域 泉野ポンプ設備 10月発注予定 久保田ポンプ場自家発電設備 後期発注予定 長入水源井戸ポンプ（認可協議進捗考慮し次年度発注） 丸子地域 鹿教湯浄水場非常用発電機更新 発注済 腰越浄水場急速ろ過池洗浄ポンプ更新 10月発注予定 武石地域 武石獅子ヶ城第一水源ポンプ更新 発注済	上田地域 泉野ポンプ設備更新 発注済 2箇年工事 久保田ポンプ場自家発電設備 発注済（継続） 長入水源井戸ポンプ（認可協議進捗考慮し次年度発注） 丸子地域 鹿教湯浄水場非常用発電機更新 完了 腰越浄水場急速ろ過池洗浄ポンプ更新 発注済（継続） 武石地域 武石獅子ヶ城第一水源ポンプ更新 完了
④	○浄水場等設備更新 遠方監視設備ほか	4月～3月	制御システム及び設備更新 上田地域 3箇所 丸子地域 1箇所	制御システム及び設備更新 上田地域 染屋中央監視プログラム更新 発注済 石舟次亜注入設備更新 発注済 染屋PACコントローラー更新 発注済 丸子地域 池の芝配水池次亜注入設備新設 後期発注予定	制御システム及び設備更新 上田地域 染屋中央監視プログラム更新 発注済（継続） 石舟次亜注入設備更新 完了 染屋PACコントローラー更新 完了 丸子地域 池の芝配水池次亜注入設備新設 中止
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ○取組による効果・残された課題				

令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	下水道施設の計画的な維持・更新	部局名	上下水道局	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好・快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	上田再構築プラン Ver.2.0fもっと、前へ」における位置付け	4	日本を代表する循環型社会をつくる	
第四次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築			
現況・課題	・下水道が建設から維持管理の時代に移行していく中、施設の老朽化が課題となっており、老朽化が進む施設の計画的な更新を図るため、下水道施設長寿命化計画及び後継計画であるストックマネジメント計画を策定し事業を実施しています。今後は、安定した下水処理を維持するため、長期的な計画に基づいた施設の更新を実施していく必要があります。 ・人口の減少や少子高齢化の進展、省エネルギー化など、社会情勢の変化に伴い、市民のライフスタイルも大きく変わる中、下水道事業も建設から維持管理へと大きく役割が変わってきており、維持管理の効率化を図る必要があります。 ・下水道施設の維持管理の効率化を更に図る上で、公共下水道施設への接続が有利と思われる農業集落排水施設については、公共下水道との統合についても検討が必要です。				
目的・効果	・安定した下水処理を確保するため、下水道施設長寿命化計画及びストックマネジメント計画による施設の更新を図ります。 ・社会情勢の変化に対応した効率的な施設の維持管理を図るため、農業集落排水施設と公共下水道施設の統合計画を進めます。				
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	○し尿前処理下水道投入施設関連（南部終末処理場） 南部終末処理場汚泥処理棟改築（増築）工事 (1) 建屋増築・土工工事 (2) 機械・電気設備工事	4月～3月	(1) 外構・建屋増築工事の実施、完成 (2) 機械・電気設備工事の実施、完成	(1) 外構・建屋増築工事 11月完成予定 (2) 機械・電気設備工事 実施中	(1) 外構・建屋増築工事 11月現場完成 12月完成検査 (2) 機械・電気設備工事 実施中 R5.6月完成予定（R5.1月 一部供用開始） コロナ禍により、機器（半導体不足）の製作に不測の日数を要した。
②	○長寿命化事業・ストックマネジメント事業及び耐震化事業の実施 (1) 南部終末処理場ほか耐震化工事 (2) 別所温泉終末処理場の設備更新工事 (3) 上・下塩尻ポンプ場、神川東ポンプ場 圧送管二重化工事 (4) 鉄蓋更新工事	4月～3月	(1) 耐震化工事の実施 (2) 設備更新工事の実施 (3) 圧送管二重化工事の実施 (4) 更新工事の実施	(1) 耐震化工事3箇所 発注済 (2) 単年度では、機器等の調達に困難なため、実施時期を見直し（R5年度以降） (3) 工事3箇所のうち、2箇所発注済、1箇所入札中 (4) 下水道課、工事入札中 丸子・武石上下水道課： 鉄蓋更新工事 西内工区 N=19枚 発注手続中 管渠更生工事 西内工区その2 L=228.7m 完了 管口耐震化工事 西内工区その2 N=28箇所 完了	(1) 事業団と協定締結済 入札不発により、再入札予定（R5年度へ継続） (2) 単年度では、機器等の調達に困難なため、実施時期を見直し（R5年度予定） (3) 工事3箇所について、発注済（R5年度へ継続） (4) 下水道課：鉄蓋更新工事 上田第1工区 完了 丸子・武石上下水道課： 鉄蓋更新工事 西内工区 N=19枚 完了 管渠更生工事 西内工区その2 L=228.7m 完了 管口耐震化工事 西内工区その2 N=28箇所 完了
③	○農業集落排水施設統合事業の推進 (1) 豊秋南部地区⇒林之郷地区 (2) 山田地区⇒八木沢地区	4月～3月	(1)～(2) 地元協議の実施	(1) 関係自治会への説明実施（7月） (2) 関係自治会への説明実施（8月） * (1) (2)とも地元協議継続中	(1) 関係自治会への説明実施（7月） * 結合について、関係自治会の了解済 (2) 関係自治会への説明実施（8月） * 地元協議継続中
④	○農業集落排水施設の機能強化事業の実施 (1) 上流処理場の機能強化工事 (2) 武石処理場の劣化調査	4月～3月	(1) 機能強化工事の実施 (2) 劣化調査の実施	(1) 機能強化工事 9月完成 (2) 劣化調査 発注済	(1) 機能強化工事 9月完成 (2) 劣化調査 発注済（R5年度へ継続）
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ○取組による効果・残された課題				

令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	危機管理体制の充実		部局名	上下水道局	優先順位	5位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」に おける位置付け	4 日本を代表する循環型社会をつくる		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築					
現況・課題	・上下水道建設から維持に携わってきた熟練技術者の退職や職員異動等により、災害時に迅速に対応できる技術の確保が課題となっています。大規模災害などに備え、災害時の応急給水活動体制など、ソフト面での対応が必要です。					
目的・効果	・施設の更新や耐震化は限られた財源の中で進めて行くことから長い期間を要します。しかし、自然災害はいつ発生するかかわからず、施設の耐震化が不完全なうちに起ることも想定されます。そのため、災害が発生した際の復旧体制や応急対策を整えておくことは、迅速な災害復旧対応に繋がります。		該当するSDGsの目標			
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○防災訓練の実施 防災訓練の実施による危機管理対応能力の向上	4月～3月	応急給水訓練 2回 県水との緊急連絡管操作訓練 1回 灯油等流入事故対応訓練 1回 他水道事業者との合同訓練 1回	応急給水訓練 コロナ禍の影響で延期、後期にて実施 県水との緊急連絡管操作訓練 10/19実施予定 その他の訓練は後期に計画予定	応急給水訓練 2回（上水道課:11/15、丸子・武石:10/5）実施 県水との緊急連絡管操作訓練 1回（10/19）実施 灯油等流入事故対応訓練 1回（11/15）実施 長和町との緊急連絡管操作訓練 1回（12/1）実施	
②	○災害時等、緊急時の体制整備	4月～3月	危機管理マニュアルの見直し	危機管理マニュアル整備中 東御市と給水援助協定（丸子地域）について協議（年度内に協定締結予定） 長和町との緊急連絡管部に仕切弁・排泥弁の設置工事を完了（今後、合同操作訓練実施）	危機管理マニュアルを一部改訂（残りの見直しは来年度以降） 緊急連絡管の新規整備計画等により、東御市及び長和町と「給水援助協定」を締結（11/15）、3首長による「調印式」を挙行 長和町との緊急連絡管部に仕切弁・排泥弁の設置工事を完了	
③	○防災備品の拡充	4月～3月	応急給水タンク 5基 応急給水栓 5基	応急給水タンク 後期に発注予定 応急給水栓 4基整備済	応急給水タンク 5基整備 応急給水栓 4基整備（給水タンク保有数に合わせ4基整備）	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		



(4) 令和5年度の重点目標

# 上下水道局




## 令和5年度 重点目標

- 1 持続可能な事業運営の推進
- 2 きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進
- 3 上水道施設の計画的な維持・更新
- 4 下水道施設の計画的な維持・更新
- 5 危機管理体制の充実

令和5年度 重点目標管理シート




重点目標	持続可能な事業運営の推進	部局名	上下水道局	優先順位	1位	
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	上田再構築プラン Ver.2.0「もつと、前へ」における位置付け	4 日本を代表する循環型社会をつくる			
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け (2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築						
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>給水人口の減少や節水意識の高まり等により料金収入が減少する一方で、上下水道施設の更新や耐震化費用の増加が見込まれることから、上下水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。こうした状況に対応するため、平成31年3月に策定した「水道ビジョン」「下水道ビジョン」及び令和2年2月に改定した上下水道事業経営戦略を踏まえ、定期的に事業を見直ししながら、健全な経営を進めていく必要があります。</li> <li>熟練技術者の退職や異動により、技術力の確保と継承が難しくなっています。また、上下水道に係る専門知識に加え、公営企業職員として企業会計に対する知識の習得も求められます。</li> <li>給水区域が隣接する泉企業局・長野市・上田市・千曲市・坂城町の5事業体で構成する水道事業広域化研究会に参加し、広域連携の研究を進めてきましたが、上田市としての方針を決定し、広く市民に周知する必要があります。</li> <li>上下水道料金の収納等に関する業務は民間業者に包括委託していますが、引き続き収納率の向上に努める必要があります。</li> </ul>					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジョンや経営戦略に沿って事業を推進することで、財源とバランスのとれた投資を行うことが可能になります。</li> <li>これまで以上に外部研修受講や資格取得の奨励を促進し、次の世代につなげる人材育成を図ります。</li> <li>水道事業広域化研究会に参加し、広域連携の研究を進め、経営の合理化について検討します。</li> </ul>				該当するSDGsの目標	 
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① 〇水道事業広域化の検討 (1) 広域連携に関する調整会議への参加 (2) 水道広域化に向けた庁内検討 (3) 住民説明会等の開催	(1)～(3) 4月～3月	(1) 研究会・幹事会への参加 (2) 広域化の方向性の確認 (3) 市民への周知				
② 〇経営戦略改定・料金算定 (1) 水道及び下水道に係る経営戦略の改定準備 (2) 水道及び下水道に係る料金算定	(1)(2) 4月～3月	(1) 経営戦略の改定（～令和6年度） (2) 料金算定（～令和6年度）				
③ 〇人材の育成 継続的な外部研修の受講促進や資格取得の奨励による人材育成の実施	4月～3月	外部研修・資格取得研修受講 ・事務系講習会 延べ10人 ・上下水道技術関係 延べ25人 ・作業資格取得講習会 延べ6人				
④ 〇広報活動の充実 (1) 上田市水道創設100周年記念式典の計画、開催 (2) 啓発活動の実施	(1)7月 (2) 随時	(1) 記念式典・記念講演の開催 (2) 広報うえだ記事掲載、環境フェア出展等				
⑤ 〇収納率の向上 水道料金・下水道使用料（現年度分）	4月～3月	収納率 水道 99.41%以上 下水道 99.42%以上				
⑥ 〇水洗化の促進 公共下水道地域、農業集落排水事業地域の戸別訪問等による水洗化促進の実施	4月～3月	新規接続戸数 750戸				
特記事項	〇市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点				〇取組による効果・残された課題	

令和5年度 重点目標管理シート




重点目標	きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進	部局名	上下水道局	優先順位	2位	
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	上田再構築プラン Ver.2.0「もつと、前へ」における位置付け	4 日本を代表する循環型社会をつくる			
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け (2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築						
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>上水道の水源は、河川の表流水、ダム水、地下水、湧水など28箇所あります。このうち、湧水水源の一部には、降雨時における濁質やクリプト汚染等による影響により、水質が不安定になることから、この対策が急務となっています。このような湧水水源に対しては、この上流域で水質が安定し水量が豊富な湧水水源による給水に切り替えを進めているところですが、これらの水源の有効活用により維持管理の軽減化が求められています。</li> </ul>					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定した湧水の活用を行うことにより、気象の影響を受けやすい湧水水源の代替や、配水系統間の相互融通や水運用の改善が図られ、より良質で経済的な水の供給が可能となります。</li> <li>安全安心な水道を将来に渡って維持し、持続的な水道水の供給を確保するため、水質管理体制の強化を図ります。</li> </ul>				該当するSDGsの目標	  
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① 〇水源の安全性向上 (1) 水源の確保 (2) 水源の水質検査強化	4月～3月	(1) 水源整備 3箇所 長入井戸揚水ポンプ、場内整備 唐沢湧水ろ過装置 認可変更（長入、余里、唐沢） (2) 水質検査 14箇所 29検体 指標値検査 24箇所 120検体				
② 〇水質監視体制の強化 (1) 水質検査機器更新 (2) 水質計器更新	4月～3月	(1) 高圧減菌機 1台、乾熱減菌機 1台 ウォーターバス 1台、恒温水槽 1台 (2) 残留塩素計 2台（泉屋・石舟） 原水濁度計 3台 油分計 2台（新屋・腹越）				
③ 〇地下水源の運用拡大整備事業の推進 滝の入り水源を活用した新たな導・配水施設の整備	4月～3月	滝の入り水源整備における各種団体との協議調整、工事発注				
特記事項	〇市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点				〇取組による効果・残された課題	



令和5年度 重点目標管理シート



重点目標	上水道施設の計画的な維持・更新	部局名	上下水道局	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好・快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	4 日本を代表する循環型社会をつくる		
第四次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け (2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築					
現状・課題	・上水道の施設及び管路は老朽化が進行し、特に1980年から2000年の敷設ピーク時の管路が今後、更新時期を迎えることになるため、法定耐用年数(40年)を経過した老朽管が年々増加していきます。また、耐震化率が低い水準にあることから、大規模地震が発生した場合、水道水を供給する機能が多くの損なわれる可能性があることから、老朽施設の更新や耐震化を早急に進めて行く必要があります。				
目的・効果	・老朽化した水道施設や管路の更新及び耐震化は、市民生活に欠くことのできないライフラインである上水道の強靱化を進めるために必要不可欠な事業であり、施設の更新に当たっては、アセットマネジメントによる更新需要と中長期的な財政推計を踏まえながら、計画的に進めてまいります。また、上水道管路の計画的な更新や耐震化は、日常の管破裂や漏水などの減少につながることから、有収率の向上が期待できます。				
			該当するSDGsの目標	  	
取組項目及び方法・手段 (何をどのように)	期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標 (どの水準まで)	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度) 及び (中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)	期末報告 (目標に対する達成状況・達成度)	
① 〇上水道幹線管路の耐震化及び経年管の更新、有収率の向上	4月～3月	更新延長 L=1.8km 有収率 85%			
② 〇計画的な水道施設整備の推進 (1) 更新 (2) 耐震補強工事 (実施設計) の推進 緊急遮断弁設置	4月～3月	(1) 浄水場内管路 1箇所 (2) 詳細設計 2箇所 緊急遮断弁 1箇所			
③ 〇ポンプ設備等の更新 ポンプ及び自家発電機	4月～3月	上田地域 4箇所 丸子地域 3箇所			
④ 〇浄水場等設備更新 浄水機器更新	4月～3月	制御システム及び設備更新 上田地域 1箇所 丸子地域 1箇所			
特記事項	〇市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		〇取組による効果・残された課題		

令和5年度 重点目標管理シート

重点目標	下水道施設の計画的な維持・更新	部局名	上下水道局	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好・快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	4 日本を代表する循環型社会をつくる		
第四次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け (2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築					
現状・課題	・下水道が建設から維持管理の時代に移行していく中、施設の老朽化が課題となっており、老朽化が進む施設の計画的な更新のため、下水道施設長寿命化計画及び後継計画であるストックマネジメント計画を策定し事業を実施しています。今後は、安定した下水処理を維持するため、長期的な計画に基づいた施設の更新を実施していく必要があります。 ・人口の減少や少子高齢化の進展、省エネルギー化など、社会情勢の変化に伴い、市民のライフスタイルも大きく変わる中、下水道事業も建設から維持管理へと大きく役割が変わってきており、維持管理の効率化を図る必要があります。 ・下水道施設の維持管理の効率化を更に図る上で、公共下水道施設への接続が有利と思われる農業集落排水施設については、公共下水道との統合についても検討が必要です。				
目的・効果	・安定した下水処理を確保するため、下水道施設長寿命化計画及びストックマネジメント計画による施設の更新を図ります。 ・社会情勢の変化に対応した効率的な施設の維持管理を図るため、農業集落排水施設と公共下水道施設の統合計画を進めます。				
			該当するSDGsの目標	  	
取組項目及び方法・手段 (何をどのように)	期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標 (どの水準まで)	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度) 及び (中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)	期末報告 (目標に対する達成状況・達成度)	
① 〇し尿前処理下水道投入施設の建設 (1) 建築・土木工事 (R5-R7債務負担)	4月～3月	(1) 建築・土木工事の実施			
② 〇長寿命化事業・ストックマネジメント事業及び耐震化事業の実施 (1) 南部終末処理場ほか3箇所 設備更新工事 (R5-R6債務負担) (2) 真田浄化センター耐震化工事 (3) 上塩尻ポンプ場、神川東ポンプ場 圧送管二重化工事 (4) 鉄蓋更新工事	4月～3月	(1) 設備更新工事の実施 (2) 耐震化工事の実施 (3) 圧送管二重化工事の実施 (4) 鉄蓋更新工事 西内工区 N=40枚 管渠更生工事 下長瀬地区 L=40.68m、西内工区 L=140m 管口耐震化工事 西内工区 N=8箇所			
③ 〇農業集落排水施設統合事業の推進 (1) 豊原南部地区⇒林之郷地区 (2) 山田地区⇒八木沢地区	4月～3月	(1) 財産処分申請の提出 (2) 地元協議の実施			
④ 〇農業集落排水施設の機能強化事業の実施 (1) 富士山処理場の機能強化工事 (R5-R6債務負担)	4月～3月	(1) 機能強化工事の実施			
特記事項	〇市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		〇取組による効果・残された課題		



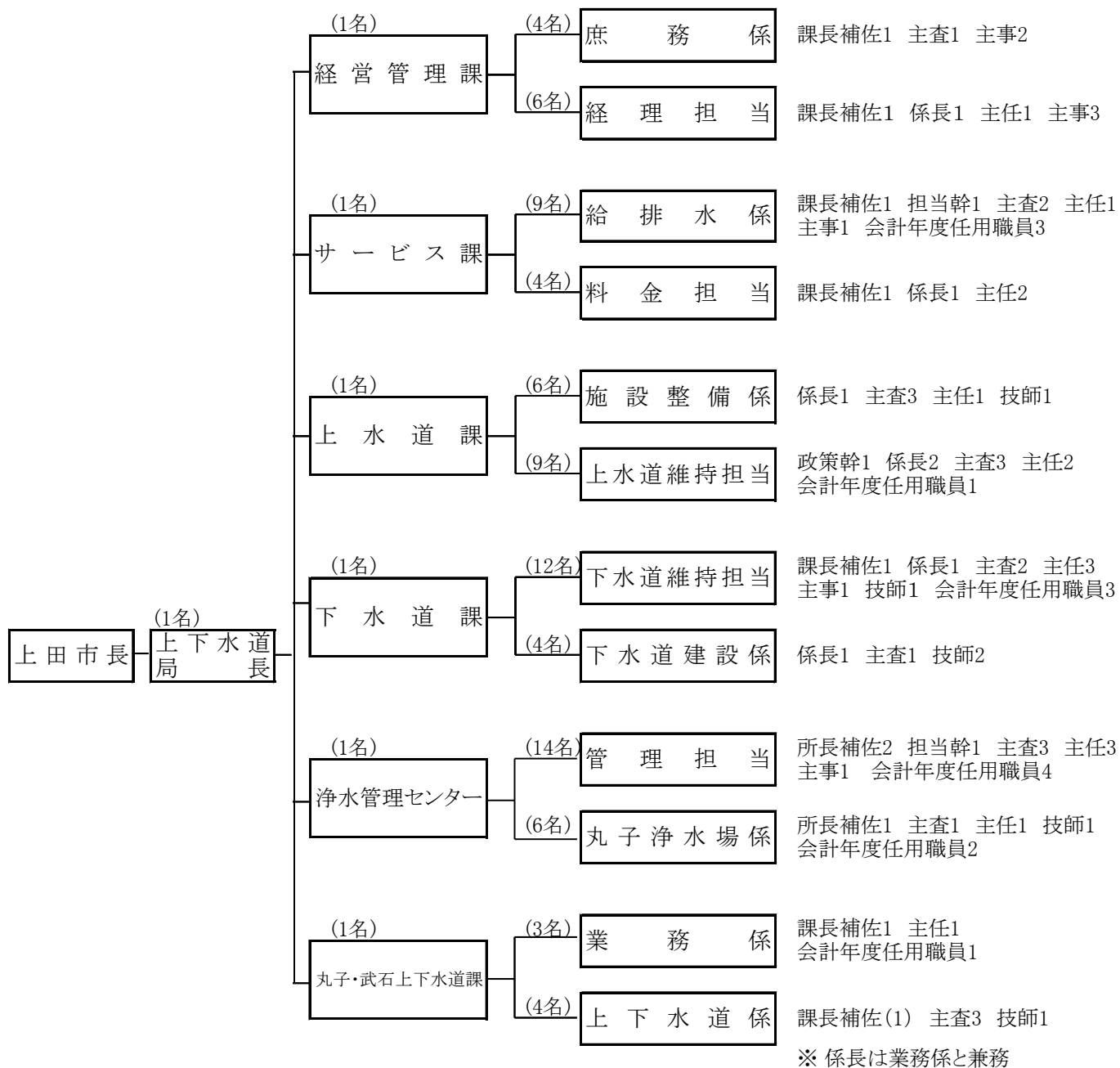
令和5年度 重点目標管理シート

重点目標		危機管理体制の充実		部局名	上下水道局	優先順位	5位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	4 日本を代表する循環型社会をつくる				
第四次上田市政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築					
現況・課題	・上下水道建設から維持に携わってきた熟練技術者の退職や職員異動等により、災害時に迅速に対応できる技術の確保が課題となっています。大規模災害などに備え、災害時の応急給水活動体制など、ソフト面での対応が必要です。						
目的・効果	・施設の更新や耐震化は限られた財源の中で進めて行くことから長い期間を要します。しかし、自然災害はいつ発生するかわからず、施設の耐震化が不完全なうちに起ることも想定されます。そのため、災害が発生した際の復旧体制や応急対策を整えておくことは、迅速な災害復旧対応に繋がります。					該当するSDGsの目標	 
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○防災訓練の実施 防災訓練の実施による危機管理対応能力の向上	4月～3月	応急給水訓練 2回 緊急連絡管操作訓練（県営水道、東御市、長和町）各1回 灯油等流入事故対応訓練 1回 他水道事業者との合同訓練 1回				
②	○災害時等、緊急時の体制整備	4月～3月	危機管理マニュアルの見直し 東御市との緊急連絡管接続工事 L=180m（郷土川原）				
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

## 2 事業の状況

### (1) 組織図

令和5年3月31日現在



## 経営管理課 上下水道局の総括に関すること

### 庶務係

局の総合調整及び庶務、職員服務・給与、労務対応、研修、福利厚生、入札・契約、例規の制定・改廃、主管課として処理する事務

### 経理担当

上下水道事業予算・決算、議会对応、経営分析、料金改定、金銭出納、貯蔵品管理、消費税、資金運用・管理

## サービス課 上下水道の料金、下水道受益者負担金・分担金、宅内給排水設備に関すること

### 給排水係

宅内給排水設備・工事受付審査、検査、指定工事事業者、責任技術者試験、水洗化の普及促進、農集加入金、汚水量認定、量水器購入管理、検満メーター取替

### 料金担当

上下水道料金の調定・減免等、上下水道料金徴収委託業者の管理、下水道受益者負担金・分担金の賦課徴収

## 上水道課 上水道事業の総括に関すること

### 施設整備係

上水道事業の総合調整・認可申請、上水道事業計画・建設(設計監督)、水源開発

### 上水道維持担当

上水道施設の維持管理(管路修繕、漏水調査)・運営、緊急故障対応、当番店対応

## 下水道課 下水道事業の総括に関すること

### 下水道維持担当

公共下水道・農集施設(管渠)の維持管理、工事の監督・検査関係、管渠関係・農集調査  
水質規制関係、公害防止、事業所排水指導、公共下水道・農集排水処理施設維持管理、設備台帳、処理場関係、調査地域循環プロジェクト

### 下水道建設係

下水道事業の総合調整・認可申請、下水道事業の調査・計画、取付管新增設、所管地域の下水道施設建設

## 浄水管理センター 浄水施設の総括に関すること

### 管理担当

染屋・石舟浄水場の運転管理、水質検査(水源、河川、浄水場、水道水)、  
取水・導水・送水・配水設備の維持管理

### 丸子浄水場係

腰越・鹿教湯浄水場の運転管理、所管地域の水質検査(水源、河川、浄水場、水道水)、  
取水・導水・送水・配水設備の維持管理

丸子・武石上下水道課 丸子・武石地域上下水道の総括に関すること

業務係

所管地域の上下水道事業計画、予算・決算、下水道受益者負担金・分担金関係、宅内給排水設備工事受付審査

上下水道係

所管地域の上水道事業計画、水源の水質調査・保全、配水管工事設計積算、漏水調査

所管地域の下水道事業計画・設計・積算、水質規制・事業場排水指導、各施設・設備の維持管理

令和5年3月31日現在

職員数	課別	局長	課長	政策幹	課長補佐	係長	担当幹	主査	主任	主事	技師	会計年度任用職員	計
	局長	1											1
	経営管理課		1		2	1		1	1	5			11
	サービス課		1		2	1	1	2	3	1		3	14
	上水道課		1	1		3		6	3		1	1	16
	下水道課		1		1	2		3	3	1	3	3	17
	浄水管理センター		1		3		1	4	4	1	1	6	21
	丸子・武石上下水道課		1		1			3	1		1	1	8
	計	1	6	1	9	7	2	19	15	8	6	14	88

イ 会計・階級別職員数

令和5年3月31日現在

		局長	課長	政策幹	課長補佐	係長	担当幹	主査	主任	主事	技師	正規職員計	会計年度任用職員	合計
水道事業会計	上下水道局長	1										1		1
	経営管理課		1									1		1
	庶務係				1			1		1		3		3
	経理担当				1					2		3		3
	小計		1		2			1		3		7		7
	サービス課		1									1		1
	給排水係				1			1	1	1		4	1	5
	料金担当				1				2			3		3
	小計		1		2			1	3	1		8	1	9
	上水道課		1									1		1
	施設整備係					1		3	1		1	6		6
	上水道維持担当			1		2		3	2			8	1	9
	小計		1	1		3		6	3		1	15	1	16
	浄水管理センター		1									1		1
	管理担当				2		1	3	3	1		10	4	14
	丸子浄水場係				1			1	1		1	4	2	6
小計		1		3		1	4	4	1	1	15	6	21	
丸子・武石上下水道課														
業務係				1							1	1	2	
上下水道係				(1)			1				1	2	2	
小計				1			1				1	3	1	4
合計	1	4	1	8	3	1	13	10	5	3	49	9	58	
公共下水道事業会計	経営管理課													
	庶務係									1		1		1
	経理担当					1			1			2		2
	小計					1			1	1		3		3
	サービス課													
	給排水係						1	1				2	2	4
	料金担当					1						1		1
	小計					1	1	1				3	2	5
	下水道課		1									1		1
	下水道維持担当				1	1		2	3	1		8	3	11
下水道建設係					1		1			2	4		4	
小計		1		1	2		3	3	1	2	13	3	16	
丸子・武石上下水道課		1									1		1	
業務係														
上下水道係							2				2		2	
小計		1					2				3		3	
合計		2		1	4	1	6	4	2	2	22	5	27	
農業集落排水事業会計	経営管理課													
	経理担当									1		1		1
	小計									1		1		1
	下水道課													
	下水道維持担当									1		1		1
小計									1		1		1	
丸子・武石上下水道課														
業務係								1			1		1	
小計								1			1		1	
合計								1	1	1	3		3	

(注) ()内の人数は、兼務職員の数である。



## (2) 事業計画及び事業区域

### ア 水道事業

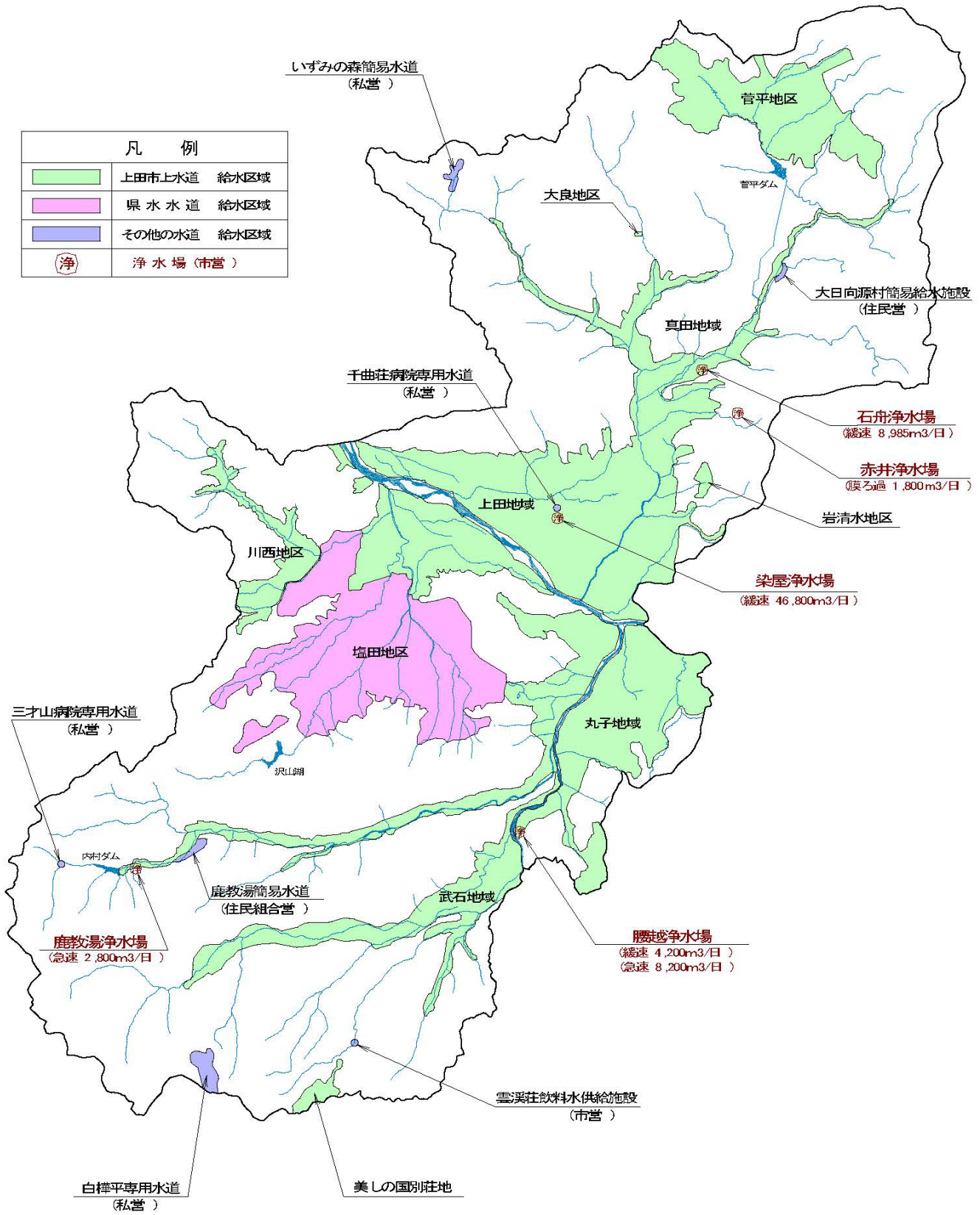
名称	計画給水区域	計画給水人口 (人)	計画1日 最大給水量 ( $m^3$ )
上田市水道事業	踏入一丁目の一部、踏入二丁目、常田一丁目の一部、常田二丁目、常田三丁目、材木町一丁目、材木町二丁目、常入一丁目、国分一丁目、天神一丁目、天神二丁目、天神三丁目の一部、天神四丁目の一部、大手一丁目、大手二丁目、中央一丁目、中央二丁目、中央三丁目、中央四丁目、中央五丁目、中央六丁目、中央東、中央北一丁目、中央北二丁目、中央北三丁目、中央西一丁目、中央西二丁目、二の丸、常磐城一丁目、常磐城二丁目、常磐城三丁目の一部、常磐城四丁目、常磐城五丁目、常磐城六丁目、緑が丘一丁目、緑が丘二丁目、緑が丘三丁目、常入、上田の一部、常磐城の一部、小牧の一部、諏訪形の一部、御所の一部、中之条の一部、秋和の一部、上塩尻の一部、下塩尻の一部、上田原の一部、下之条の一部、神畑の一部、築地の一部、大屋の一部、岩下の一部、蒼久保、国分の一部、福田、吉田、小泉の一部、上野の一部、古里、住吉の一部、芳田の一部、林之郷、殿城の一部、漆戸、下之郷の一部、小島の一部、仁古田の一部、岡の一部、浦野の一部、越戸の一部、下室賀の一部、上室賀の一部、鹿教湯温泉の一部、西内の一部、平井の一部、東内の一部、腰越の一部、上丸子の一部、中丸子の一部、下丸子の一部、御嶽堂の一部、生田の一部、長瀬の一部、塩川の一部、藤原田の一部、本海野の一部、菅平高原の一部、真田町長の一部、真田町傍陽の一部、真田町本原の一部、武石鳥屋の一部、武石沖の一部、下武石の一部、上武石の一部、武石下本入の一部、武石上本入の一部、武石小沢根の一部、武石余里の一部	135,000	57,600
計		135,000	57,600

(参考) 市内における他事業者の水道事業

名称	計画給水区域	計画給水人口 (人)	計画1日 最大給水量 ( $m^3$ )
長野県営水道	塩田地区、仁古田地区、小泉地区の一部	24,970	11,900
真田いずみの森簡易水道(私営)	真田町傍陽沼入地区	150	267
鹿教湯簡易水道(住民組合営)	鹿教湯地区の一部	1,150	425
白樺平専用水道(私営)	武石上本入白樺平地区	30	400
千曲荘病院専用水道(私営)	千曲荘病院	300	100
三才山病院専用水道(私営)	三才山病院	500	150
雲溪荘飲料水供給施設(市営)	雲溪荘	98	---
大日向源村簡易給水施設(住民営)	真田町長大日向地区の一部	20	---
計		27,218	13,242

# 上田市上水道事業区域図

(計画給水区域面積 117.73km<sup>2</sup>)







イ 公共下水道事業

名称	計画処理区域	計画処理人口 (人)	計画処理 区域面積 (ha)	計画1日 最大処理量 (m <sup>3</sup> )
上田公共下水道事業	二の丸、常磐城一丁目、常磐城二丁目、常磐城三丁目、常磐城四丁目、常磐城五丁目、常磐城六丁目、緑が丘一丁目、緑が丘二丁目、緑が丘三丁目、天神一丁目、天神二丁目、天神三丁目、天神四丁目、大手一丁目、大手二丁目、中央一丁目、中央二丁目、中央三丁目、中央四丁目、中央五丁目、中央六丁目、中央東、中央北一丁目、中央北二丁目、中央北三丁目、中央西一丁目、中央西二丁目、常田一丁目、常田二丁目、常田三丁目、材木町一丁目、材木町二丁目、常入一丁目、踏入一丁目、踏入二丁目、国分一丁目、上田の一部、常磐城の一部、小牧の一部、諏訪形の一部、御所の一部、中之条の一部、秋和の一部、上塩尻の一部、下塩尻の一部、上田原の一部、下之条の一部、神畑の一部、築地の一部、大屋の一部、岩下の一部、蒼久保の一部、国分の一部、福田の一部、吉田の一部、小泉の一部、上野の一部、古里の一部、住吉の一部、芳田の一部、古安曾の一部、下之郷の一部、本郷の一部、五加の一部、中野の一部、小島の一部、保野の一部、舞田の一部、十人の一部、新町の一部、前山の一部、手塚の一部、別所温泉の一部	116,060	3,367	41,755
丸子公共下水道事業	腰越の一部、上丸子の一部、中丸子の一部、下丸子の一部、長瀬の一部、塩川の一部、御嶽堂の一部、生田の一部、西内の一部、鹿教湯温泉の一部、平井の一部、藤原田の一部、東内の一部	22,490	881	11,371
真田公共下水道事業	菅平の一部、横沢の一部、真田の一部、石舟の一部、戸沢の一部、つくし、横尾の一部、四日市、曲尾、萩の一部、大庭、傍陽中組、岡保、入軽井沢の一部、荒井の一部、竹室の一部、中原の一部、下塚	14,030	326	6,097

ウ 農業集落排水事業

上田農業集落排水事業	下組地区の一部、仁古田地区の一部、岡地区の一部、下之郷地区の一部、下小島地区の一部、小井田地区の一部、古安曾地区の一部、保野舞田地区の一部、豊殿南部地区の一部、富士山地区の一部、八木沢地区の一部、浦里地区の一部、室賀地区の一部、林之郷地区の一部、山田地区の一部、小泉地区の一部及び殿城地区の一部	29,300	823.5	9,669.0
真田農業集落排水事業	上原、中原の一部、下郷沢の一部、表木、町原の一部、出早、下原の一部、大畑の一部、田中の一部、下横道、中横道、上横道の一部	5,200	90	1,716
武石農業集落排水事業	武石沖の一部、武石鳥屋の一部、下武石の一部、上武石の一部、武石下本入の一部、武石上本入の一部、武石小沢根の一部、武石余里の一部、腰越の一部	4,960	195	1,340
上田小規模集合排水処理施設事業	布引地区の一部	180	2	59.4
公共・農集合計		192,220	5,684.5	72,007.4



## (3) 料金及び使用料等の状況

※この表は、消費税率10%で計算されています。

## ア 口径13mm

(令和5年4月1日現在・2ヶ月税込・単位:円)

使用量 (m <sup>3</sup> )	水道料金 (円)	下水道使用料 (円)	合計 (円)	使用量 (m <sup>3</sup> )	水道料金 (円)	下水道使用料 (円)	合計 (円)
0	1,424	2,574	3,998	41	5,878	7,835	13,713
1	1,485	2,647	4,132	42	6,032	8,016	14,048
2	1,546	2,720	4,266	43	6,186	8,197	14,383
3	1,607	2,793	4,400	44	6,340	8,378	14,718
4	1,668	2,866	4,534	45	6,494	8,559	15,053
5	1,729	2,939	4,668	46	6,648	8,740	15,388
6	1,790	3,012	4,802	47	6,802	8,921	15,723
7	1,851	3,085	4,936	48	6,956	9,102	16,058
8	1,912	3,158	5,070	49	7,110	9,283	16,393
9	1,973	3,231	5,204	50	7,264	9,464	16,728
10	2,034	3,304	5,338	51	7,418	9,645	17,063
11	2,095	3,377	5,472	52	7,572	9,826	17,398
12	2,156	3,450	5,606	53	7,726	10,007	17,733
13	2,217	3,523	5,740	54	7,880	10,188	18,068
14	2,278	3,596	5,874	55	8,034	10,369	18,403
15	2,339	3,669	6,008	56	8,188	10,550	18,738
16	2,400	3,742	6,142	57	8,342	10,731	19,073
17	2,461	3,815	6,276	58	8,496	10,912	19,408
18	2,522	3,888	6,410	59	8,650	11,093	19,743
19	2,583	3,961	6,544	60	8,804	11,274	20,078
20	2,644	4,034	6,678	61	8,976	11,468	20,444
21	2,798	4,215	7,013	62	9,148	11,662	20,810
22	2,952	4,396	7,348	63	9,320	11,856	21,176
23	3,106	4,577	7,683	64	9,492	12,050	21,542
24	3,260	4,758	8,018	65	9,664	12,244	21,908
25	3,414	4,939	8,353	66	9,836	12,438	22,274
26	3,568	5,120	8,688	67	10,008	12,632	22,640
27	3,722	5,301	9,023	68	10,180	12,826	23,006
28	3,876	5,482	9,358	69	10,352	13,020	23,372
29	4,030	5,663	9,693	70	10,524	13,214	23,738
30	4,184	5,844	10,028	71	10,696	13,408	24,104
31	4,338	6,025	10,363	72	10,868	13,602	24,470
32	4,492	6,206	10,698	73	11,040	13,796	24,836
33	4,646	6,387	11,033	74	11,212	13,990	25,202
34	4,800	6,568	11,368	75	11,384	14,184	25,568
35	4,954	6,749	11,703	76	11,556	14,378	25,934
36	5,108	6,930	12,038	77	11,728	14,572	26,300
37	5,262	7,111	12,373	78	11,900	14,766	26,666
38	5,416	7,292	12,708	79	12,072	14,960	27,032
39	5,570	7,473	13,043	80	12,244	15,154	27,398
40	5,724	7,654	13,378	81	12,416	15,348	27,764

## イ 口径20mm

(令和5年4月1日現在・2ヶ月税込・単位:円)

使用量 (m <sup>3</sup> )	水道料金 (円)	下水道使用料 (円)	合計 (円)	使用量 (m <sup>3</sup> )	水道料金 (円)	下水道使用料 (円)	合計 (円)
0	3,706	2,574	6,280	41	8,160	7,835	15,995
1	3,767	2,647	6,414	42	8,314	8,016	16,330
2	3,828	2,720	6,548	43	8,468	8,197	16,665
3	3,889	2,793	6,682	44	8,622	8,378	17,000
4	3,950	2,866	6,816	45	8,776	8,559	17,335
5	4,011	2,939	6,950	46	8,930	8,740	17,670
6	4,072	3,012	7,084	47	9,084	8,921	18,005
7	4,133	3,085	7,218	48	9,238	9,102	18,340
8	4,194	3,158	7,352	49	9,392	9,283	18,675
9	4,255	3,231	7,486	50	9,546	9,464	19,010
10	4,316	3,304	7,620	51	9,700	9,645	19,345
11	4,377	3,377	7,754	52	9,854	9,826	19,680
12	4,438	3,450	7,888	53	10,008	10,007	20,015
13	4,499	3,523	8,022	54	10,162	10,188	20,350
14	4,560	3,596	8,156	55	10,316	10,369	20,685
15	4,621	3,669	8,290	56	10,470	10,550	21,020
16	4,682	3,742	8,424	57	10,624	10,731	21,355
17	4,743	3,815	8,558	58	10,778	10,912	21,690
18	4,804	3,888	8,692	59	10,932	11,093	22,025
19	4,865	3,961	8,826	60	11,086	11,274	22,360
20	4,926	4,034	8,960	61	11,258	11,468	22,726
21	5,080	4,215	9,295	62	11,430	11,662	23,092
22	5,234	4,396	9,630	63	11,602	11,856	23,458
23	5,388	4,577	9,965	64	11,774	12,050	23,824
24	5,542	4,758	10,300	65	11,946	12,244	24,190
25	5,696	4,939	10,635	66	12,118	12,438	24,556
26	5,850	5,120	10,970	67	12,290	12,632	24,922
27	6,004	5,301	11,305	68	12,462	12,826	25,288
28	6,158	5,482	11,640	69	12,634	13,020	25,654
29	6,312	5,663	11,975	70	12,806	13,214	26,020
30	6,466	5,844	12,310	71	12,978	13,408	26,386
31	6,620	6,025	12,645	72	13,150	13,602	26,752
32	6,774	6,206	12,980	73	13,322	13,796	27,118
33	6,928	6,387	13,315	74	13,494	13,990	27,484
34	7,082	6,568	13,650	75	13,666	14,184	27,850
35	7,236	6,749	13,985	76	13,838	14,378	28,216
36	7,390	6,930	14,320	77	14,010	14,572	28,582
37	7,544	7,111	14,655	78	14,182	14,766	28,948
38	7,698	7,292	14,990	79	14,354	14,960	29,314
39	7,852	7,473	15,325	80	14,526	15,154	29,680
40	8,006	7,654	15,660	81	14,698	15,348	30,046



## 水道事業編



# 1 事業の概要

## (1) 事業の沿革

上田市の水道事業は、平成 18 年 3 月、上田市、丸子町、真田町、武石村の 4 市町村の合併と経営の統合により給水人口 13 万 2 千人余りとなり、3 上水道事業、11 簡易水道、1 専用水道の合計 15 事業で新たな上田市水道事業を発足しました。

現在の水道事業における水源の状況は、千曲川をはじめ神川、依田川の表流水、内村川のダム水、地下水や湧水など 26 箇所を数え、浄水処理方式は緩速ろ過、急速ろ過、膜ろ過、紫外線照射の 4 種類、水道施設は 200 箇所と多種多様な施設で運営されています。

水道施設 (休止中含む)	(箇所)				
施設名	上田	丸子	真田	武石	計
局が管理する水源施設数(地下水・湧水等)	2	1	11	8	22
取水施設	3	1			4
接合井	1		8		9
浄水場	2	2	1		5
紫外線照射施設			1	3	4
配水池(浄水池含む)	34	22	31	11	98
ポンプ場	12	17	10	9	48
減圧槽		1	6	4	11
合計	54	44	68	35	201

また、市内には市営水道のほか、上田市を含む 3 市 1 町に配水する県営水道（市内給水人口約 2 万 3 千人）や住民組合営・私営等（給水人口約 3 百人）による水道があります。

現在、水道の普及率は 99.8 パーセントに達し、市民のほとんどが水の供給を受けることができるようになった一方、水道施設の老朽化による大規模更新や耐震化の必要が生じてきたこと、さらには人口が減少傾向に転じるなど、水道事業は大きな転換期を迎えています。

このように水道事業を取巻く状況が大変厳しい中、簡易水道事業の経営基盤の強化と水源の有効活用、効率的な水運用等による安心・安全な水の安定提供を図る水道事業の運営強化を目的に水道事業統合を進め、平成 26 年度に一次統合として菅平上水道事業と真田地域の簡易水道事業の統合、平成 28 年度に二次統合として上田・丸子・真田上水道事業及び岩清水・深山・武石・獅子ヶ城簡易水道事業のすべての市営水道事業を「上田市水道事業」として一本化しました。

また、水道事業の現状と将来見通しを分析評価し、2019 年度からの目指すべき方向性と目標を定めました上田市水道ビジョンでは、「安全と安心、維持可能な水道をいつまでも」を基本理念に、3 つの基本目標を掲げております。

- 1 安全な水の供給
- 2 災害に強い強靱な施設づくり
- 3 安定した事業経営の持続

今までは、上田、丸子、真田、武石の 4 地域それぞれの水道事業ごとに事業を進めてきましたが、水道事業の統合により相互連携による水運用、良質な水源の広域的な利用が可能になりました。



## (2) 事業のあゆみ

### ア 上田地域

大正 8 年 5 月 1 日に、上田市は市制を施行したが、その最大の目的と特色は、水道の建設にあったといわれている。当時の上田市は、世帯数が 5,342 戸、人口は 30,247 人であったが、井戸の総数は 510 程度であり、1 つの井戸を 10 戸ぐらいで使用していたようである。しかし、湧出量が少ないことや水質が悪いことから毎年チフスや赤痢等の伝染病がまん延し、これによる死亡者も相次いでいたことから、上水道建設は市民の大念願であった。

水道事業は、大正 12 年 6 月に竣工したが、上田市が誕生して最初の事業が水道の建設であり、予算額は 85 万円（当時の年間予算は約 18 万円）という、正に空前の大事業であった。それから旧上田市の水道は、拡張と改良などの整備を重ね、産業・経済・文化の発展と市民生活の福祉向上を担って、現在に至っている。

地域	年	認可等	内 容
上 田	大正 12 年	給水開始	千曲川伏流水を水源とする染屋浄水場を建設し、給水を開始
	昭和 9 年	水源拡張工事	使用量の増大に対応するための水源補水工事
	昭和 20 年	第 2 次水源拡張工事	枅網用水利用に変更するための水源補水工事
	昭和 28 年	第 1 次拡張事業	神川水源の新設と染屋浄水場の拡張工事
	昭和 33 年		北部地区、城下地区への配水管拡張工事
	昭和 38 年	第 2 次拡張事業	川辺・塩尻・神川・殿城地区合併に伴う配水管拡張工事
	昭和 46 年	第 3 次拡張事業	菅平ダム建設への参画と真田町石舟浄水場の新設による殿城簡易水道の統合
	昭和 51 年	第 4 次拡張事業	川西村水道事業の合併による配水管の整備
	昭和 53 年	第 5 次拡張事業	維持管理時代に対応した施設整備
	平成 10 年	第 6 次拡張事業	芳田地区全域に拡張
	平成 18 年	合併による経営の統合	計画給水人口 113,000 人 上田市水道事業、岩清水簡易水道事業の 2 事業で運営 丸子・真田地区の水道事業会計を上田市水道事業会計に経営統合
	平成 20 年	合併による経営の統合	武石地区の水道事業会計を上田市水道事業会計に経営統合
	平成 23 年	合併による料金の統一	上田市水道事業会計の水道料金を統一 (須川ハイランド、菅平水道(別荘用)及び獅子ヶ城簡易水道を除く)
	平成 25 年	合併による料金の統一	須川ハイランド、菅平水道(別荘用)及び獅子ヶ城簡易水道の料金を他地区と統一
	平成 29 年	第 7 次拡張事業	丸子、真田、武石地区の各市営水道の事業認可を上田市水道事業に統合

## イ 丸子地域

丸子町が誕生した大正元年当時は、東西に細長い地域であることから、簡易水道 6 箇所、簡易給水施設 2 箇所、専用水道が数箇所存在していたが、一般家庭のほとんどは井戸・湧水・沢水を飲料水として利用していた。

しかし、毎年のように赤痢が発生していたことや、農村部の都市化や地域産業の振興に伴う水需要の増加などから、昭和 31 年の町村合併が終了するや、上水道建設に対する熱意が、婦人会を中心とした「水道貯金」の励行により高まり、昭和 32 年に 1 億 7,000 万円の事業計画を議会で議決。昭和 32 年の認可取得により、計画人口 24,730 人で上水道の建設が開始された。埋設される配水管の多くは、手掘りによる市民の共同作業で進めるなど大変な努力がされたものである。

地域	年	許可等	内 容	
丸	昭和 35 年	給水開始	計画給水人口 16,620 人、依田川を水源とする腰越浄水場を建設し、給水を開始	
	昭和 36 年	給水開始	計画給水人口 8,110 人、内村川を水源とする鹿教湯浄水場を建設し、給水を開始	
	昭和 37 年	第 1 次拡張事業	壺泉寺・尾野山地区へのポンプアップによる拡張工事	
	昭和 48 年	第 2 次拡張事業	腰越浄水場の拡張工事により、昭和 51 年藤原田簡易水道、昭和 52 年腰越簡易水道を統合	
	昭和 56 年	第 2 次拡張事業	須川湖ハイランド専用水道の寄付により統合	
	昭和 59 年	第 2 次拡張事業	内村ダム建設に伴い、ダムを水源とする鹿教湯浄水場を建設	
	平成元年	認可変更	箱畳工業団地建設に伴う配水管拡張工事	
	平成 2 年	認可変更	池の芝、千石地区リゾート開発に伴う配水管拡張工事	
	子	平成 11 年		郷仕川原簡易水道の上水道への統合
		平成 18 年	合併による経営の統合	計画給水人口 27,000 人 丸子水道事業、深山簡易水道事業の 2 事業で運営 丸子、真田地区の水道事業会計を上田市水道事業会計に経営統合
平成 23 年		合併による料金の統一	上田市水道事業会計の水道料金を統一 (須川ハイランド、菅平水道(別荘用)及び獅子ヶ城簡易水道を除く)	
平成 25 年		合併による料金の統一	須川ハイランド、菅平水道(別荘用)及び獅子ヶ城簡易水道の水道料金を他地区と統一	
平成 29 年		認可統合による事業一元化	丸子、真田、武石地区の各市営水道の事業認可を上田市水道事業に統合	

## ウ 真田地域

水道が設置される以前は、共同井戸、沢の水、集落によっては川の水を飲料水として使用していた。しかし、長村において集団赤痢が発生し、約 80 人の患者が出た経験から、婦人会・青年団が中心となって上水道に対する機運が高まり、昭和 29 年ごろから現有の自然湧水を利用した水道施設ができる。そして、昭和 33 年 10 月 1 日当時の傍陽村、長村、本原村の 3 ヶ村が合併し真田町となったことを踏まえ、村単位で水道組合を設立し、水道事業が開始された。

一方、菅平高原水道は、2 ヶ所の湧水を水源とした小規模な水道であったが、観光客の増大や昭和 41 年の松代群発地震により、現状水源では不足する状態となった。このため、7.5km 先である「つちやの沢」から水源を求め、事業費 1 億 7,600 万円で菅平全域と別荘団地に給する上水道事業が、昭和 42 年から開始された。この水は、四阿山の湧水であり昔から集中豪雨があっても水量・水質に変化のない「渋沢の宝」として、地元で大切にされた水である。

地域	年	許可等	内 容
真	昭和 34 年	給水開始	長中央簡水、傍陽中央簡水が完成し、給水開始
	昭和 38 年	給水開始	本原簡水が完成し、給水開始
	昭和 39 年	給水開始	その他集落単位の水道組合を真田簡易水道として発足
	昭和 44 年	上水道の新設	菅平上水道が完成し、給水開始
	昭和 61 年	簡易水道の統合	穴沢簡水を傍陽中央簡水に統合し施設整備
	平成 4 年	簡易水道の統合	中組簡水、軽井沢簡水、松井新田簡水を統合し、傍陽西部簡水として施設整備
	平成 7 年	認可変更	菅平上水道の拡張工事
	平成 8 年	認可変更	本原簡水の浄水方法の変更として膜ろ過施設を建設
田	平成 18 年	合併による経営の統合	計画給水人口 21,178 人 菅平上水道、宮浦簡水、大日向簡水、長中央簡水、大良簡水、傍陽中央簡水、本原簡水、傍陽西部簡水、三島平専用水道の計 9 事業で運営 丸子、真田地区の水道事業会計を上田市水道事業会計に経営統合
	平成 23 年	合併による料金の統一	上田市水道事業会計の水道料金を統一 (須川ハイランド、菅平水道(別荘用)及び獅子ヶ城簡易水道を除く)
	平成 25 年	合併による料金の統一	須川ハイランド、菅平水道(別荘用)及び獅子ヶ城簡易水道の水道料金を他地区と統一
	平成 25 年	認可変更	傍陽中央簡水 紫外線照射装置の設備に伴う浄水方式の変更
	平成 27 年	創設認可	真田地域の 9 事業(菅平上水道、宮浦簡水、大日向簡水、長中央簡水、大良簡水、傍陽中央簡水、本原簡水、傍陽西部簡水、三島平専用水道)を統合し、真田水道事業(計画給水人口 10,400 人)として創設

地域	年	許可等	内 容
真田	平成 29 年	認可統合による事業一元化	丸子、真田、武石地区の各市営水道の事業認可を上田市水道事業に統合

## エ 武石地域

明治 22 年市町村制度の施行により誕生した武石村の水道は、過半数の家が流水を使用していたため、農耕期になれば流水が極めて減少し、かつ雨降り後は泥水として全く使用できなくなる状況にあった。このようにほとんどの家庭で衛生環境が悪く、伝染病の発生率が高いことから、昭和 30 年に上水道建設委員会を発足し、事業費 4,100 万円で全村を対象とした事業を計画する。

特に、水源地設定におけるワサビ畑の補償では多くの関係者の協力があり、また台所改善を目指す婦人労働による戸別割り当て掘削など、全村挙げた積極的奉仕がされた。こうして、昭和 31 年に「鍛横沢」「唐沢」「上権現」「上余里」地籍の湧水を利用した、すべて自然流下方式による水道の給水が開始された。

地域	年	許可等	内 容
武	昭和 31 年	給水開始	武石村上水道の給水を開始 計画給水人口 5,600 人
	昭和 38 年	水源の拡張工事	水源水量減少に対応するための唐沢水源拡張工事
	昭和 40 年	簡易水道の新設	美ヶ原高原白樺平別荘開発に伴う簡易水道の新設
	昭和 43 年	認可変更	上水道から簡易水道に認可変更
	昭和 50 年	認可変更	増大する給水人口に対応するための権現水源の新設
	昭和 62 年	拡張工事	石綿管路の布設替工事の実施
	石	平成 18 年	合併時
平成 20 年		合併による経営の統合	武石地区の水道事業会計を上田市水道事業会計に経営統合
平成 23 年		合併による料金の統一	上田市水道事業会計の水道料金を統一（須川ハイランド、菅平水道（別荘用）及び獅子ヶ城簡易水道を除く）
平成 25 年		合併による料金の統一	須川ハイランド、菅平水道（別荘用）及び獅子ヶ城簡易水道の水道料金を他地区と統一
平成 29 年		認可統合による事業一元化	丸子、真田、武石地区の各市営水道の事業認可を上田市水道事業に統合

### (3) 事業計画

#### ア 上田地域

区分 (事業認可名称)	事業名	認可年月日	認可番号	着工年月	竣工年月	事業費 (千円)	目標 年次	基本計画				
								給水人口 (人)	一人一日 最大給水 量 (ℓ)	一日 最大給水 量 (m <sup>3</sup> )	一日 平均給水 量 (m <sup>3</sup> )	
上	上田上水道	創 設	T9.07.10	内務省8長衛 第93号	T9.07	T12.01	850	-	60,000	97	3,880	-
		第1次拡張	S25.11.30	厚生省长衛 第203号	S25.11	S28.05	55,000	S40	60,700	300	18,000	-
		第2次拡張	S37.03.31	厚生省长環 第119号	S37.03	S38.03	15,800	S48	63,700	300	18,660	-
		第3次拡張	S38.12.26	厚生省収環 第502号	S39.04	S42.03	200,000	S59	66,000	405	26,720	-
		第3次変更(1)	S40.12.06	厚生省環 第828号	S40.04	S47.03	865,500	S59	103,000	480	49,500	-
		第4次拡張	S47.03.31	厚生省衛 第276号	S47.04	S52.03	545,000	S61	107,000	600	64,200	-
		第5次拡張	S53.03.30	厚生省衛 第215号	S53.04	S53.07	18,000	S65	101,000	641	64,700	-
		第6次拡張	H10.07.14	厚生省収生衛 第921号	-	H24.03	9,200,000	H23	113,000	580	65,500	37,060
田	(岩清水簡易水道) H29.3.31 上田上 水道に統合	創 設	T14.06.26	- -	-	-	-	360	139	50	31	
		廃 止	H29.03.31									

#### イ 丸子地域

区分 (事業認可名称)	事業名	認可年月日	認可番号	着工年月	竣工年月	事業費 (千円)	目標 年次	基本計画				
								給水人口 (人)	一人一日 最大給水 量 (ℓ)	一日 最大給水 量 (m <sup>3</sup> )	一日 平均給水 量 (m <sup>3</sup> )	
丸	(丸子上水道) H29.3.31 上田上 水道に統合	創 設	S32.12.09	厚生省长衛 第969号	S33.04	S35.08	150,000	S47	24,730	234	5,777	-
		第1回変更	S35.03.31	厚生省长衛 第285号	S35.09	S36.08	203,000	S47	24,730	234	5,777	-
		第1次拡張	S37.12.28	厚生省长環 第428号	S38.09	S39.05	13,337	S47	24,730	234	5,777	-
		第2次拡張	S48.03.31	厚生省长環 第303号	S48.09	S53.03	860,000	S60	27,000	563	15,200	-
		第1回変更	H1.09.30	長野県指令 元食 第37-6号	H2.09	H3.03	85,000	H15	27,000	563	15,200	-
		第2回変更	H2.08.31	長野県指令 2食 第27-5号	H3.09	S37.07	700,000	H15	27,000	563	15,200	9,773
		廃 止	H29.03.31									
子	(深山簡易水道) H29.3.31 上田上 水道に統合	創 設	S28.07.16	- -	-	S29.03	11,363	S38	1,800	150	270	75
		変 更		- -	-	-	-	-	-	-	360	-
		廃 止	H29.03.31									
子	(郷仕川原簡易水道)	創 設	S30.03.30	- -	-	S30.05	1,450	S40	200	150	30	-
		変 更		- -	-	-	-	-	-	-	50	-
		廃 止	S48.06.01									
子	(藤原田簡易水道)	創 設	S35.07.26	- -	-	S30.05	6,720	S45	670	150	100.5	-
		変 更	S38.04.19	長野県指令 38環 第55-18号	-	-	-	-	870	-	-	-
		廃 止	S48.06.01									
子	(須川湖ハイランド 専用水道)	創 設	S47.01.18	- -	-	S47.10	14,475	S57	670	200	134	-
		廃 止	S48.06.01									

ウ 真田地域

区分 (事業認可名称)	事業名	認可年月日	認可番号	着工年月	竣工年月	事業費 (千円)	目標 年次	基本計画			
								給水人口 (人)	一人一日 最大給水 量 (ℓ)	一日 最大給水 量 (m <sup>3</sup> )	一日 平均給水 量 (m <sup>3</sup> )
(菅平高原上水道) H27.3.25 真田上 水道に統合	創 設	S42.03.31	長野県指令 42環 第12-2号	S42.04	S45.03	200,000	S51	9,000	411	3,700	-
	第1回変更	H7.12.28	長野県指令 7食 第28-1号	H7.07	H8.03	963,085	H21	9,000	411	3,700	-
	廃 止	H27.03.25									
(宮浦簡易水道) H27.3.25 真田上 水道に統合	創 設	S30.07.15	長野県指令 30環 第356号	S30.07	S30.08	870	S39	170	150	25.5	-
	廃 止	H27.03.25									
(大日向簡易水道) H27.3.25 真田上 水道に統合	創 設	S33.05.23	長野県指令 33環 第70-2号	S33.11	S34.08	5,060	S42	800	150	120.0	-
	廃 止	H27.03.25									
(長中央簡易水道) H27.3.25 真田上 水道に統合	創 設	S33.05.23	長野県指令 33環 第70号	S33.08	S34.03	14,501	S34	3,000	214	642	-
	廃 止	H27.03.25									
(大良簡易水道) H27.3.25 真田上 水道に統合	創 設	S30.11.05	長野県指令 30環 第684号	S30.12	S31.03	940	S39	110	150	16.5	-
	廃 止	H27.03.25									
(六沢簡易水道) S62.3.31 傍陽中央 簡水に統合	創 設	S26.06.28	長野県指令 26河 第912号	S26.08	S27.04	1,808	S35	250	150	37.5	-
	創 設	S33.12.01	長野県指令 33環 第283号	S34.04	S35.10	16,230	S44	3,200	150	480	-
(傍陽中央簡易水道) H27.3.25 真田上 水道に統合	第1回変更	S62.03.31	長野県指令 61食 第133-26号	S62.06	S62.12	46,200	H6	2,500	220	550.2	-
	第2回変更	H25.07.29	長野県指令 25水 第160-1号	H25.08	H31.03	274,275	H30	1,800	506	910.0	-
	廃 止	H27.03.25									
(本原簡易水道) H27.3.25 真田上 水道に統合	創 設	S30.07.15	長野県指令 30環 第356号	S30.07	S30.08	870	S39	170	150	25.5	-
	第1次拡張	H7.06.26	長野県指令 7食 第29-3号	H7.06	H17.03	830,000	H16	4,700	383	1,800	-
	廃 止	H27.03.25									
(傍陽西部簡易水道) 中組簡水、軽井沢 簡水、松井新田簡 水を廃止統合 H27.3.25 真田上 水道に統合	創 設	S32.06.10	長野県指令 32環 -	-	-	-	S41	640	150	96	-
	創 設	S35.08.03	長野県指令 35環 -	-	-	-	S44	690	150	103.5	-
	創 設	S35.12.20	長野県指令 35環 -	-	-	-	S44	130	150	19.5	-
	第1回変更	H4.05.25	長野県指令 4食 第15-8号	H6.09	H8.03	848,000	H13	800	396	317	-
	廃 止	H27.03.25									
(三島平専用水道) 飲料水供給施設を 廃止し、専用水道と する H27.3.25 真田上 水道に統合	創 設	H2.03.20	-	-	-	-	H11	98	250	24.5	-
	第1回変更	H15.03.24	14真上 第127-2号	-	H15.04	-	H24	98	250	24.5	-
(真田上水道) H29.3.31 上田上 水道に統合	統合創設	H27.03.25	長野県指令 26水大 第34-13号	H27.04	R6.03	1,978,671	H36	10,400	796	8,000	4,900
	廃 止	H29.03.31									

エ 武石地域

区分 (事業認可名称)	事業名	認可年月日	認可番号	着工年月	竣工年月	事業費 (千円)	目標 年次	基本計画			
								給水人口 (人)	一人一日 最大給水 量 (ℓ)	一日 最大給水 量 (m <sup>3</sup> )	一日 平均給水 量 (m <sup>3</sup> )
(武石簡易水道) H29.3.31 上田上 水道に統合	創 設	S43.03.30	長野県指令 42環 第12-26号	-	S43.03	14,000	S53	4,300	274	1,178	-
	第1次変更	S50.06.12	長野県指令 50環衛水 第3-13号	-	S51.04	82,079	S59	4,300	329	1,415	-
	第2次変更	H25.07.29	長野県指令 25水 第160-2号	H25.08	H28.03	264,328	H33	3,930	489	1,920	-
	廃 止	H29.03.31									
(獅子ヶ城簡易水道) H29.3.31 上田上 水道に統合	創 設	S52.03.31	長野県指令 52環水 第8-27号	S52.04	S52.07	-	S61	320	250	80	-
	第1次変更	S61.02.28	長野県指令 60食 第5-19号	S60.12	S63.03	-	H8	340	235	79.9	-
	第2次変更	S62.07.22	長野県指令 60食 第51-5号	S62.06	H4.03	294,813	H9	1,540	203	312.8	-
	第3次変更	H3.11.11	長野県指令 3食 第21-14号	H3.11	H4.03	66,670	H12	2,100	253	531	-
	第4次変更	H5.03.30	長野県指令 5食 第 号	H5.05	H5.09	134,491	H15	2,100	253	531	-
	廃 止	H29.03.31									

## 2 財政の状況

### (1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
水道事業収益		3,021,798,466	2.24%	2,955,465,558
営業収益		2,619,187,070	2.78%	2,548,345,460
営業外収益		401,978,919	0.66%	399,355,928
特別利益		632,477	△91.85%	7,764,170
水道事業費用		2,702,159,933	3.78%	2,603,710,875
営業費用		2,546,229,909	3.30%	2,464,839,377
営業外費用		155,930,024	12.42%	138,705,912
特別損失		-	皆減	165,586
収支差引額		319,638,533	△9.13%	351,754,683

(税込・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
損益勘定留保資金発生額		867,093,082	2.28%	847,727,481
減価償却費		1,179,657,262	2.41%	1,151,930,443
長期前受金戻入(△)		330,155,685	△2.56%	338,833,378
固定資産除却費		17,591,505	△48.96%	34,464,830
固定資産売却損		-	皆減	13,401
固定資産譲渡損		-	皆減	152,185
損益勘定留保資金補てん額		843,685,061	△37.37%	1,347,169,889
損益勘定留保資金残高		2,602,617,509	0.91%	2,579,209,488

(2) 資本的収支及び補てん財源の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
資本的収入		716,766,600	44.85%	494,836,798
企業債		554,700,000	126.96%	244,400,000
国庫補助金		35,267,000	18.05%	29,875,000
負担金		53,681,600	△65.57%	155,927,020
他会計補助金		73,118,000	14.98%	63,591,000
固定資産売却代金		-	皆減	43,778
その他資本的収入		-	皆減	1,000,000
資本的支出		1,880,401,153	△16.33%	2,247,371,620
建設改良費		1,263,152,338	△23.40%	1,648,955,240
企業債償還金		617,248,815	3.15%	598,416,380
収支差引額		△1,163,634,553	33.60%	△1,752,534,822
翌年度繰越充当額		-	—	-
実質収支差引額		△1,163,634,553	33.60%	△1,752,534,822

(税込・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
補てん財源		1,163,634,553	△33.60%	1,752,534,822
消費税資本的収支調整額		95,524,627	△23.71%	125,204,462
損益勘定留保資金		843,685,061	△37.37%	1,347,169,889
利益剰余金処分量		224,424,865	△19.89%	280,160,471
減債積立金		224,424,865	△19.89%	280,160,471
補てん不足額		-	—	-



## (3) 財務諸表の推移

## ア 比較損益計算書

(単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
営業収益		2,384,526,898	2.77%	2,320,308,815
給水収益		2,271,424,869	3.18%	2,201,444,669
受託工事収益		359,436	△91.63%	4,296,058
小水力発電売電収益		3,793,924	△16.34%	4,534,886
下水道事務等受託収益		98,193,910	△0.88%	99,067,910
その他営業収益		10,754,759	△1.92%	10,965,292
営業費用		2,455,602,168	3.08%	2,382,234,010
原水及び浄水費		568,074,044	22.63%	463,226,440
配水及び給水費		101,296,084	△23.39%	132,227,481
量水器費		75,686,040	△18.77%	93,175,605
受託工事費		409,300	△23.44%	534,602
小水力発電費		837,000	△59.33%	2,058,108
営業費		150,489,139	△2.97%	155,101,752
総係費		360,021,794	3.16%	348,979,749
減価償却費		1,179,657,262	2.41%	1,151,930,443
資産減耗費		19,131,505	△45.34%	34,999,830
営業利益・損失		△71,075,270	14.78%	△61,925,195
営業外収益		397,640,434	0.41%	396,002,197
受取利息及び配当金		1,912,988	20.71%	1,584,778
加入金		41,761,000	25.93%	33,163,000
他会計補助金		15,959,000	△8.92%	17,522,000
長期前受金戻入		330,155,685	△2.56%	338,833,378
雑収益		7,851,761	60.27%	4,899,041
営業外費用		104,476,236	△10.90%	117,250,721
支払利息及び企業債取扱諸費		100,967,332	△11.84%	114,528,907
雑支出		3,508,904	28.92%	2,721,814
経常利益・損失		222,088,928	2.43%	216,826,281
特別利益		632,477	△91.85%	7,764,170
その他特別利益		632,477	△91.85%	7,764,170
特別損失		-	皆減	165,586
その他特別損失		-	皆減	165,586
当年度純利益・損失		222,721,405	△0.76%	224,424,865
その他未処分利益剰余金変動額		224,424,865	△19.89%	280,160,471
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金		447,146,270	△11.38%	504,585,336

イ 剰余金の推移

(単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
利益剰余金	前年度繰入額	224,424,865	△19.89%	280,160,471
	当年度処分額	224,424,865	△19.89%	280,160,471
積立金合計		-	—	-
剰余金(欠損金)の部	前年度利益剰余金処分額	504,585,336	△0.90%	509,183,254
	資本金への組み入れ	280,160,471	22.33%	229,022,783
	減債積立金	224,424,865	△19.89%	280,160,471
	当年度純利益・損失	222,721,405	△0.76%	224,424,865
	前年度減債積立金からの組入れ	224,424,865	△19.89%	280,160,471
	当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金	447,146,270	△11.38%	504,585,336
資本剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	130,193	7.12%	121,538
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	399,463	48.35%	269,270
国庫補助金の部	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	-	—	-
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	1,467,788	0.00%	1,467,788
翌年度繰越資本剰余金		1,867,251	7.50%	1,737,058

ウ 比較貸借対照表

(単位:円)

項目	年度	令和4年度末		令和3年度末
			対前年度比	
固	定 資 産	26,362,376,134	△0.08%	26,383,205,360
	有 形 固 定 資 産	26,169,282,031	△0.06%	26,185,134,774
	土 地	813,682,810	0.24%	811,718,444
	建 物	287,349,170	△3.33%	297,246,404
	構 築 物	22,911,963,683	△0.86%	23,111,216,987
	機 械 及 び 装 置	1,814,700,931	6.89%	1,697,702,706
	車 両 運 搬 具	27,670,772	△16.54%	33,155,406
	工 具 器 具 及 び 備 品	73,542,402	△6.24%	78,438,269
	建 設 仮 勘 定	240,372,263	54.42%	155,656,558
	無 形 固 定 資 産	93,079,103	△5.08%	98,055,586
	電 話 加 入 権	1,252,000	0.00%	1,252,000
	電 施 設 利 用 権	91,336,554	△5.04%	96,184,009
	水 利 権	387,500	△16.67%	465,000
	借 地 権	103,049	△33.33%	154,577
投	資 有 価 証 券	100,015,000	0.00%	100,015,000
	出 資 金	100,000,000	0.00%	100,000,000
	破 産 更 生 債	15,000	0.00%	15,000
	貸 倒 引 当 金	585,288	△46.28%	1,089,489
		△585,288	46.28%	△1,089,489
流	動 資 産	4,026,913,949	2.87%	3,914,590,081
	現 金 及 び 預 金	3,689,123,486	5.05%	3,511,825,335
	未 収 金	257,958,180	△24.03%	339,547,970
	営 業 未 収 金	231,239,213	3.30%	223,853,518
	貸 倒 引 当 金	-	100.00%	△396,432
	営 業 外 未 収 金	5,522,967	△46.44%	10,312,084
	そ の 他 未 収 金	21,196,000	△79.96%	105,778,800
貯	蔵 品	21,612,283	△1.52%	21,945,576
	原 材 料	17,569,153	0.18%	17,537,196
	量 水 器	4,043,130	△8.29%	4,408,380
前	払 金	58,220,000	41.07%	41,271,200
	資 産 合 計	30,389,290,083	0.30%	30,297,795,441

項目	年度	令和4年度末		令和3年度末
			対前年度比	
固定負債		7,328,101,609	△0.56%	7,369,581,130
企業債		6,720,139,060	△0.65%	6,764,073,871
建設改良等企業債		6,720,139,060	△0.65%	6,764,073,871
引当金		607,962,549	0.41%	605,507,259
修繕引当金		271,774,523	0.00%	271,774,523
退職給付引当金		336,188,026	0.74%	333,732,736
流動負債		1,150,461,108	6.30%	1,082,249,142
企業債		598,634,811	△3.02%	617,248,815
建設改良等企業債		598,634,811	△3.02%	617,248,815
未払金		521,526,114	21.27%	430,058,317
営業未払金		159,212,410	36.45%	116,684,241
営業外未払金		35,560,200	皆増	-
その他の未払金		326,753,504	4.27%	313,374,076
引当金		29,176,000	1.48%	28,750,000
賞与引当金		24,510,000	1.30%	24,195,000
法定福利費引当金		4,666,000	2.44%	4,555,000
その他の流動負債		1,124,183	△81.84%	6,192,010
仮受金		7,672	172.73%	2,813
預り金		1,116,511	△81.96%	6,189,197
繰延収益		7,179,229,004	△2.15%	7,337,318,405
長期前受金		16,161,667,321	0.73%	16,044,448,383
収益化累計額		△8,982,438,317	△3.16%	△8,707,129,978
負債合計		15,657,791,721	△0.83%	15,789,148,677
資本金		14,282,484,841	2.00%	14,002,324,370
剰余金		449,013,521	△11.32%	506,322,394
資本剰余金		1,867,251	7.50%	1,737,058
受贈財産評価額		399,463	48.35%	269,270
国庫補助金		1,467,788	0.00%	1,467,788
利益剰余金		447,146,270	△11.38%	504,585,336
当年度末処分利益剰余金・未処理欠損金		447,146,270	△11.38%	504,585,336
資本合計		14,731,498,362	1.54%	14,508,646,764
負債資本合計		30,389,290,083	0.30%	30,297,795,441

エ 比較キャッシュ・フロー計算書

(単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
1 業務活動による キャッシュ・フロー	当年度純損益	222,721,405	△0.76%	224,424,865
	減価償却費	1,179,657,262	2.41%	1,151,930,443
	長期前受金戻入額	△ 330,155,685	△2.56%	△ 338,833,378
	支払利息及び企業債取扱諸費	100,967,332	△11.84%	114,528,907
	受取利息及び配当金	△ 1,912,988	20.71%	△ 1,584,778
	固定資産除却費	17,591,505	△48.96%	34,464,830
	未収金の増減額	△ 2,596,578	△150.38%	5,154,092
	未払金の増減額	78,088,369	966.96%	△ 9,007,188
	たな卸資産の増減額	333,293	△37.32%	531,755
	貸倒引当金の増減額	△ 900,633	90.07%	△ 9,067,362
	その他引当金の増減額	3,682,290	119.05%	△ 19,328,258
	破産更生債権の増減額	504,201	△90.35%	5,222,293
	その他流動負債の増減額	△ 5,067,827	△287.12%	2,708,347
	その他特別損失	0	皆減	165,586
	小計	1,262,911,946	8.75%	1,161,310,154
	支払利息及び企業債取扱諸費	△ 100,967,332	△11.84%	△ 114,528,907
	受取利息及び配当金	1,912,988	20.71%	1,584,778
	業務活動によるキャッシュ・フロー	1,163,857,602	11.02%	1,048,366,025
	2 投資活動による キャッシュ・フロー	有形固定資産の取得による支出	△ 1,159,135,539	△23.05%
有形固定資産の売却による収入		0	皆減	43,778
他会計補助金等による収入		235,124,903	22.29%	192,261,974
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 924,010,636	△29.68%	△ 1,314,074,275
3 財務活動による キャッシュ・フロー	企業債による収入	554,700,000	126.96%	244,400,000
	企業債の償還による支出	△ 617,248,815	3.15%	△ 598,416,380
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 62,548,815	△82.33%	△ 354,016,380
資金増減額	177,298,151	△128.61%	△ 619,724,630	
資金期首残高	3,511,825,335	△15.00%	4,131,549,965	
資金期末残高	3,689,123,486	5.05%	3,511,825,335	

(4) 費用構成の推移

(税抜・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
経常費用		2,560,078,404	2.42%	2,499,484,731
受託工事費		409,300	△23.44%	534,602
小水力発電費		837,000	△59.33%	2,058,108
材料及び不用品売却原価		-	——	-
費用合計		2,558,832,104	2.48%	2,496,892,021

項目	年度	令和4年度			令和3年度	
			構成比	対前年度比		構成比
費用合計		2,558,832,104	100.00%	2.48%	2,496,892,021	100.00%
維持管理費		1,278,207,510	49.95%	3.88%	1,230,432,671	49.28%
職員給与費		328,160,769	12.82%	7.32%	305,774,793	12.25%
動力費		151,086,595	5.90%	55.31%	97,278,937	3.90%
光熱水費		7,282,190	0.28%	12.75%	6,458,943	0.26%
通信運搬費		25,171,071	0.98%	0.93%	24,939,363	1.00%
修繕費		255,025,617	9.97%	30.43%	195,530,477	7.83%
材料費		31,946,881	1.25%	128.07%	14,007,576	0.56%
薬品費		16,636,222	0.65%	△1.67%	16,917,944	0.68%
委託料		339,696,466	13.28%	△11.98%	385,913,712	15.46%
その他		123,201,699	4.81%	△32.90%	183,610,926	7.35%
資本費		1,280,624,594	50.05%	1.12%	1,266,459,350	50.72%
支払利息		100,967,332	3.95%	△11.84%	114,528,907	4.59%
減価償却費		1,179,657,262	46.10%	2.41%	1,151,930,443	46.13%

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
A 費用合計 (円)		2,558,832,104	2.48%	2,496,892,021
B (長期前受金戻入) (円)		330,155,685	11.24%	296,786,338
C 年間有収水量 (m <sup>3</sup> )		14,173,008	△0.42%	14,232,685
給水原価 ((A-B)/C) (円/m <sup>3</sup> )		157.25	1.73%	154.58

## (5) 固定資産の推移

### ア 有形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
土地		813,682,810	0.24%	811,718,444
施設用地		813,682,810	0.24%	811,718,444
立木		-	-	-
建物		287,349,170	△3.33%	297,246,404
事務所用建物		13,431,634	△7.77%	14,562,977
施設用建物		264,133,646	△5.84%	280,513,340
その他建物		9,783,890	350.85%	2,170,087
構築物		22,911,963,683	△0.86%	23,111,216,987
原水及び浄水設備		2,810,883,466	8.60%	2,588,331,042
配水設備		20,101,080,217	△2.06%	20,522,885,945
機械及び装置		1,814,700,931	6.89%	1,697,702,706
電気設備		242,925,484	11.53%	217,819,481
ポンプ設備		373,663,297	19.43%	312,868,050
塩素滅菌設備		42,318,832	538.32%	6,629,678
量水器		123,608,661	0.44%	123,070,179
その他機械装置		1,032,184,657	△0.49%	1,037,315,318
車両運搬具		27,670,772	△16.54%	33,155,406
工具器具及び備品		73,542,402	△6.24%	78,438,269
建設仮勘定		240,372,263	54.42%	155,656,558

(注) 金額は減価償却累計額を減じた純額で掲載している。

### イ 無形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
電話加入権		1,252,000	0.00%	1,252,000
施設利用権		91,336,554	△5.04%	96,184,009
水利権		387,500	△16.67%	465,000
借地権		103,049	△33.33%	154,577

### ウ 投資

(単位:円)

資産名	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
投資有価証券		100,000,000	0.00%	100,000,000
出資金		15,000	0.00%	15,000

## (6) 企業債残高の推移

### ア 借入先別内訳

(単位:円)

借入先	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
財政 融資 資金	特別会計からの引継ぎ額	-	—	-
	借入額	-	—	-
	返済額	402,005,611	2.65%	391,613,337
	年度末未償還残高	2,566,318,367	△13.54%	2,968,323,978
地方 公共 機構	特別会計からの引継ぎ額	-	—	-
	借入額	554,700,000	126.96%	244,400,000
	返済額	215,243,204	4.08%	206,803,043
	年度末未償還残高	4,752,455,504	7.69%	4,412,998,708
合 計	特別会計からの引継ぎ額	-	—	-
	借入額	554,700,000	126.96%	244,400,000
	返済額	617,248,815	3.15%	598,416,380
	年度末未償還残高	7,318,773,871	△0.85%	7,381,322,686

### イ 利率別年度末残高

(単位:円)

利率	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
1%未満		3,328,882,322	2.27%	3,254,958,975
1.0%以上2.0%未満		1,673,106,792	23.89%	1,350,514,922
2.0%以上3.0%未満		2,035,207,758	△11.69%	2,304,744,531
3.0%以上4.0%未満		223,203,263	△30.06%	319,112,895
4.0%以上5.0%未満		58,373,736	△61.59%	151,991,363
5.0%以上6.0%未満		-	—	-
6.0%以上7.0%未満		-	—	-
7.0%以上7.5%未満		-	—	-
7.5%以上8.0%未満		-	—	-
8.0%以上		-	—	-

## (7) 繰入金の推移

(単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
損 益 勘 定 繰 入 金	営業収益	1,035,421	1.41%	1,021,062
	基準内繰入金	1,035,421	1.41%	1,021,062
	基準外繰入金	-	—	-
	営業外収益	15,959,000	△8.92%	17,522,000
	基準内繰入金	15,959,000	△8.92%	17,522,000
	基準外繰入金	-	—	-
資 本 勘 定 繰 入 金	計	16,994,421	△8.35%	18,543,062
	基準内繰入金	16,994,421	△8.35%	18,543,062
	基準外繰入金	-	—	-
合 計	資本勘定繰入金	94,093,400	13.91%	82,601,800
	基準内繰入金	93,643,400	13.99%	82,151,800
	基準外繰入金	450,000	0.00%	450,000
合 計	計	111,087,821	9.83%	101,144,862
	基準内繰入金	110,637,821	9.87%	100,694,862
	基準外繰入金	450,000	0.00%	450,000



## (8) 経営分析

### ア 労働の生産性

項目		令和4年度		令和3年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
平均給与 (千円)	上田市	6,837	↓22	6,859	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの職員給与費を示し、高すぎても低すぎてもよくない。
	同規模事業者平均			7,004		
	全国平均			7,295		
労働生産性 (千円)	上田市	49,678	↑310	49,368	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの営業収益を示し高いほどよい。
	同規模事業者平均			79,388		
	全国平均			65,710		
労働分配率 (%)	上田市	13.76	↓0.13	13.89	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうち、職員に分配される割合を示し高すぎても低すぎてもよくない。
	同規模事業者平均			8.82		
	全国平均			11.10		
職員1人 当たり 有収水量 (m <sup>3</sup> /人)	上田市	295,271	↓7,552	302,823	$\frac{\text{有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	高いほど効率的な経営がなされていると言える。
	同規模事業者平均			461,678		
	全国平均			360,718		

### イ 施設の効率性

項目		令和4年度		令和3年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
施設利用率 (%)	上田市	53.76	↑0.57	53.19	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$	施設の能力のうち、実際に利用されている割合を表す指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			62.59		
	全国平均			60.29		
負荷率 (%)	上田市	84.41	↓8.18	92.59	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	高いほどよい。なお、この値が低いとピーク時以外に利用しない容量が生じ、非効率となる。
	同規模事業者平均			89.82		
	全国平均			89.81		
最大稼働率 (%)	上田市	63.69	↑6.24	57.45	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$	高いほどよいが、100%に近い場合は施設能力が限界に近いため、注意が必要である。
	同規模事業者平均			69.69		
	全国平均			67.13		
有収率 (%)	上田市	83.63	↓0.61	84.24	$\frac{\text{有収水量}}{\text{年間配水量}} \times 100$	配水量のうち、実際に料金収入に結びつく水量の割合。高いほどよい。
	同規模事業者平均			89.70		
	全国平均			90.12		
配水管 使用効率 (m <sup>3</sup> /m)	上田市	16.38	↑0.03	16.35	$\frac{\text{年間配水量}}{\text{管路総延長}}$	管1mあたり、年間どのくらいの水が流れたかをみる指標。高いほど効率的である。
	同規模事業者平均			18.35		
	全国平均			19.86		

ウ 経営資本の効率性及び財政状態の健全性

項目		令和4年度		令和3年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
経営資本 営業利益率 (%)	上田市	-0.24	↓0.04	-0.20	$\frac{\text{営業利益}}{\text{平均経営資本}} \times 100$	投下した経営資本と営業利益との関係を表す指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			0.19		
	全国平均			0.24		
営業収益 営業利益率 (%)	上田市	-2.98	↓0.31	-2.67	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうちどの程度の割合が利益であるのかを示す指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			1.60		
	全国平均			1.99		
経営資本 回転率 (回)	上田市	0.08	0.00	0.08	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均経営資本}}$	投下した経営資本と営業収益との関係を表す指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			0.12		
	全国平均			0.12		
経常収支比率 (%)	上田市	108.68	↑0.01	108.67	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	経常的な収益・費用の関係を表す指標。100%以上なら経常利益が出ている。高いほどよい。
	同規模事業者平均			111.89		
	全国平均			111.39		
供給単価 (円/m <sup>3</sup> )	上田市	160.26	↑5.58	154.68	$\frac{\text{給水収益}}{\text{有収水量}}$	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの料金。高いほど料金水準が高いことを示す。
	同規模事業者平均			164.22		
	全国平均			171.68		
給水原価 (円/m <sup>3</sup> )	上田市	157.25	↑2.67	154.58	$\frac{\text{給水費用}-\text{長期前受金戻入}}{\text{有収水量}}$	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりのコスト。高いほど料金水準を高くする必要がある。
	同規模事業者平均			174.08		
	全国平均			183.80		
企業債 元利償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	31.39	↓1.23	32.62	$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$	企業債発行額が事業規模に適正かどうかを判断する基準。低いほどよい。
	同規模事業者平均			22.90		
	全国平均			24.86		
企業債 元金償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	26.35	↓0.50	26.85	$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$	料金収入のうち、企業債返済に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	同規模事業者平均			19.37		
	全国平均			21.05		
企業債利息対 料金収入比率 (%)	上田市	4.45	↓0.75	5.20	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	料金収入のうち、企業債利息に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	同規模事業者平均			3.53		
	全国平均			3.81		
減価償却率 (%)	上田市	4.47	↑0.12	4.35	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{減価償却対象資産}} \times 100$	償却資産に投資した資金の回収速度を示す。高いほど回収が早くなる。
	同規模事業者平均			4.26		
	全国平均			4.24		

(注) 平均経営資本={総資産-(建設仮勘定+投資その他の資産+繰延収益)}の前年度末当年度末平均

(注) 給水費用=経常費用-(受託工事費+付帯事業費+材料及び不用品売却原価)

(注) 減価償却費対象資産=有形固定資産+無形固定資産-(土地+建設仮勘定)+減価償却費

項目		令和4年度		令和3年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
固定資産 構成比率 (%)	上田市	86.75	↓0.33	87.08	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$	資産合計に対する固定資産の割合を示す指標。低い方が望ましい。
	同規模事業者平均			86.24		
	全国平均			88.35		
自己資本 構成比率 (%)	上田市	72.10	0.00	72.10	$\frac{\text{資本}+\text{繰延収益}}{\text{総資本}} \times 100$	企業の自己資本調達度を判断する指標。50%以上が望ましい。
	同規模事業者平均			75.75		
	全国平均			72.99		
固定比率 (%)	上田市	178.95	↓2.89	181.84	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本}} \times 100$	自己資本で固定資産をどの程度賅っているかをみる指標。理論上では100%以下が望ましい。
	同規模事業者平均			154.40		
	全国平均			160.67		
固定負債 構成比率 (%)	上田市	24.11	↓0.21	24.32	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本に対する固定負債の割合を示す指標。低いほどよい。
	同規模事業者平均			20.34		
	全国平均			22.56		
固定資産 長期資本比率 (%)	上田市	90.16	↓0.15	90.31	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本}+\text{固定負債}+\text{繰延収益}} \times 100$	固定資産への投資の健全性をみる指標。100%以下がよい。
	同規模事業者平均			89.44		
	全国平均			92.26		
流動比率 (%)	上田市	350.03	↓11.68	361.71	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	企業の短期的な支払能力をみる指標。100%以上で高いほどよい。
	同規模事業者平均			351.29		
	全国平均			261.51		
酸性試験比率 (当座比率) (%)	上田市	343.09	↓18.32	361.41	$\frac{\text{現金預金}+(\text{未収金}-\text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	流動比率よりもさらに即時的な支払能力をみる指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			342.02		
	全国平均			247.41		

\* 同規模事業者平均は、給水人口10万人以上15万人未満の事業者の平均である。

\* 全国平均は、末端給水事業(上水道事業のみ)の平均である。

\* 出典:地方公営企業年鑑

### 3 業務の状況

#### (1) 業務量

		令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
A	行政区域内人口 (人)	152,986	△0.74%	154,134
B	給水区域内人口 (人)	130,452	△0.75%	131,437
C	年度末給水人口 (人)	130,217	△0.74%	131,192
C/A	普及率 (対行政区域内) (%)	85.12	/	85.12
C/B	普及率 (対給水区域内) (%)	99.82		99.81
D	給水区域内戸数 (戸)	59,376	0.82%	58,893
E	年度末給水戸数 (戸)	59,269	0.83%	58,780
E/D	普及率 (%)	99.82	/	99.81
F	年間配水量 (m <sup>3</sup> )	16,948,142	0.32%	16,894,699
G	年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	14,173,008	△0.42%	14,232,685
G/F	有収率 (%)	83.63	/	84.24
	1日最大配水量 (日/m <sup>3</sup> )	55,009	10.04%	49,989
	1日平均配水量 (日/m <sup>3</sup> )	46,433	0.32%	46,287
	配水能力(交渉施設能力) (日/m <sup>3</sup> )	86,376	△0.74%	87,018
	供給単価 (円/m <sup>3</sup> )	160.26	3.61%	154.68
	給水原価 (円/m <sup>3</sup> )	157.25	1.73%	154.58
	薬品及び電力使用量			
	滅菌用次亜塩素酸ナトリウム (kg)	128,750	2.08%	126,130
	沈澱用ポリ塩化アルミニウム (kg)	282,410	8.38%	260,570
	揚水電力量 (kWh)	5,942,299	17.33%	5,064,557
	水道料金調定件数 (件)	379,095	0.43%	377,483

(注) 人口は、外国人登録者を含む。

#### (2) 給水人口の推移

(単位:人)

事業	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
上田市水道事業		130,217	△0.74%	131,192
(上田水道事業)		96,678	△0.57%	97,229
(丸子水道事業)		20,374	△1.47%	20,677
(真田水道事業)		9,611	△0.64%	9,673
(岩清水簡易水道事業)		167	0.00%	167
(深山簡易水道事業)		113	0.00%	113
(武石簡易水道事業)		3,224	△1.80%	3,283
(獅子ヶ城簡易水道事業)		50	0.00%	50

### (3) 加入金の額

(税込・単位:円)

期間 口径	令和元年10月1日～
13mm	50,600
20mm	126,500
25mm	253,000
30mm	363,000
40mm	693,000
50mm	1,320,000
75mm	3,410,000
100mm	4,620,000
125mm以上	管理者が別に定める額

### (4) 水道料金の収納状況の推移

(税込・単位:円)

年度	調定額	収入額	収入未済額	現年収納率		不納欠損額
					対前年度比	
令和3年度	2,421,589,128	2,411,712,278	9,876,850	99.59%	0.04	1,303,192
令和4年度	2,498,567,350	2,485,022,759	13,544,591	99.46%	△0.13	268,156

(注) それぞれ、翌年度5月末日時点の数値である。

### (5) 水道料金の納付方法の推移(1期当たり平均)

(単位:件)

納付方法	年度	令和4年度		令和3年度	
		構成比	対前年度比	構成比	
口座振替	31,997	80.96%	△0.24%	32,074	81.34%
直接納付	7,524	19.04%	2.26%	7,358	18.66%
コンビニエンスストア	6,232	15.77%	4.32%	5,974	15.15%
その他	1,292	3.27%	△6.65%	1,384	3.51%
合計	39,521	100.00%	0.23%	39,432	100.00%

## (6) 口径別有収水量・調定件数・調定額

### ア 有収水量

(単位: m<sup>3</sup>)

	令和4年度			令和3年度	
		構成比	対前年度比		構成比
13mm	9,927,995	70.05%	△1.54%	10,083,598	70.85%
20mm	855,293	6.03%	2.17%	837,102	5.88%
25mm	616,475	4.35%	△1.03%	622,900	4.38%
30mm	250,076	1.76%	0.22%	249,531	1.75%
40mm	608,685	4.29%	0.36%	606,514	4.26%
50mm	777,707	5.49%	1.24%	768,177	5.40%
75mm	925,601	6.53%	7.70%	859,393	6.04%
100mm	190,723	1.35%	2.78%	185,572	1.30%
125mm	0	0.00%	0.00%	0	0.00%
150mm	20,453	0.14%	2.79%	19,898	0.14%
合計	14,173,008	100.00%	△0.42%	14,232,685	100.00%

### イ 調定件数

(単位: 件)

	令和4年度			令和3年度	
		構成比	対前年度比		構成比
13mm	350,340	92.41%	0.45%	348,786	92.40%
20mm	18,104	4.78%	0.23%	18,062	4.78%
25mm	6,295	1.66%	0.02%	6,294	1.67%
30mm	1,157	0.31%	△0.09%	1,158	0.31%
40mm	1,726	0.46%	0.70%	1,714	0.45%
50mm	1,015	0.27%	△0.59%	1,021	0.27%
75mm	392	0.10%	2.62%	382	0.10%
100mm	60	0.02%	0.00%	60	0.02%
125mm	0	0.00%	0.00%	0	0.00%
150mm	6	0.00%	0.00%	6	0.00%
合計	379,095	100.00%	0.43%	377,483	100.00%

### ウ 調定額 (税込)

(単位: 円)

	令和4年度			令和3年度	
		構成比	対前年度比		構成比
13mm	1,542,558,160	61.74%	2.11%	1,510,646,056	62.38%
20mm	177,904,661	7.12%	6.47%	167,093,638	6.90%
25mm	136,030,241	5.44%	2.56%	132,635,319	5.48%
30mm	58,866,590	2.36%	2.73%	57,302,085	2.37%
40mm	149,824,955	6.00%	3.34%	144,988,567	5.99%
50mm	181,184,254	7.25%	3.49%	175,069,142	7.23%
75mm	201,864,501	8.08%	8.61%	185,869,079	7.68%
100mm	44,488,423	1.78%	4.75%	42,473,052	1.75%
125mm	0	0.00%	0.00%	0	0.00%
150mm	5,845,565	0.23%	6.05%	5,512,190	0.23%
合計	2,498,567,350	100.00%	3.18%	2,421,589,128	100.00%

## (7) 用途別有収水量・調定件数・調定額

## ア 有収水量

(単位:m<sup>3</sup>)

	令和4年度	
		構成比
家庭用	10,984,954	77.51%
浴場用	22,776	0.16%
官公署用	321,694	2.27%
学校用	218,326	1.54%
病院用	281,877	1.99%
事務所用	254,930	1.80%
営業用	1,245,067	8.78%
工場用	742,408	5.24%
その他	100,976	0.71%
合計	14,173,008	100.00%

## イ 調定件数

(単位:件)

	令和4年度	
		構成比
家庭用	353,885	93.35%
浴場用	24	0.01%
官公署用	3,563	0.94%
学校用	407	0.11%
病院用	1,038	0.27%
事務所用	6,050	1.60%
営業用	9,020	2.38%
工場用	2,143	0.57%
その他	2,965	0.78%
合計	379,095	100.00%

## ウ 調定額(税込)

(単位:円)

	令和4年度	
		構成比
家庭用	1,776,619,162	71.11%
浴場用	4,508,652	0.18%
官公署用	85,236,563	3.41%
学校用	60,374,493	2.42%
病院用	60,503,893	2.42%
事務所用	64,386,898	2.58%
営業用	264,496,396	10.59%
工場用	156,571,573	6.27%
その他	25,869,720	1.04%
合計	2,498,567,350	100.00%

## (8) 公衆浴場組合補助金の状況

年度	組員数	使用水量 (m <sup>3</sup> )	補助金額 (円)	対前年比 (%)
3	2	2,436	442,000	
4	2	2,198	435,000	98.4

出典:環境政策課

## (9) 県営水道料金差額補助金の状況

年度	件数 (件)	補助金額 (円)	対前年比 (%)
3	5,849	16,803,292	
4	5,833	11,169,970	66.5

出典:市民課

## 4 施設の現況

### (1) 水源(水利権等の許可状況)

R3. 末

番号	水 源 名	種 別	場 所	河 川 名	水 利 権 許可年月日	取水可能水量 (m <sup>3</sup> /日)	備 考
1	泉 町 水 源	河川水	上田市 小牧	千曲川	平成29.10.6	36,288	
2	新 屋 水 源	河川水	上田市 上野	神川(菅平ダム)	平成29.10.6	20,995	
3	真 田 水 源	河川水	上田市 真田町長	神川(菅平ダム)	平成29.10.6	8,985	
4	長 入 水 源	地下水	東御市 和			30	
5	岩 清 水 水 源	湧 水	上田市 殿城			70	
6	依 田 川 水 源	河川水	上田市 腰越	依田川	平成30.3.30	12,873	
7	内 村 川 水 源	河川水	上田市 鹿教湯温泉	内村川(内村ダム)	平成30.3.30	2,937	
8	深 山 水 源	地下水	上田市 腰越			252	
9	つ ち や 水 源	湧 水	上田市 真田町長			6,000	内、新水源3,000m <sup>3</sup> /日
10	滝 の 入 水 源	湧 水	上田市 真田町長			5,320	新水源
11	おほこ 産子清水水源	湧 水	上田市 菅平高原			1,240	
12	裏ダボス水源	地下水	上田市 菅平高原			662	
13	松井新田水源	地下水	上田市 真田町傍陽			864	
14	大 松 水 源	湧 水	上田市 真田町傍陽			1,220	
15	こはざま 小 碓 水 源	湧 水	上田市 真田町傍陽			52	
16	菅ノ沢水源	湧 水	上田市 真田町傍陽			50	
17	奈良尾第1水源	伏流水	上田市 真田町本原			915	
18	奈良尾第2水源	河川水	上田市 真田町本原	大沢川	平成26.4.1	1,400	
19	長 坂 水 源	湧 水	上田市 武石上本入			330	
20	唐 沢 水 源	湧 水	上田市 武石上本入			1,750	
21	余 里 第 2 水 源	湧 水	上田市 武石余里			152	
22	獅子ヶ城第1水源	地下水	上田市 武石小沢根			170	
23	獅子ヶ城第2水源	地下水	上田市 武石小沢根			259	
24	獅子ヶ城第3水源	湧 水	上田市 武石小沢根			475	
25	権現水源(予備)	湧 水	上田市 武石上本入			予備水源	345(m <sup>3</sup> /日)
26	余 里 第 1 水 源 ( 予 備 )	湧 水	上田市 武石余里			予備水源	233(m <sup>3</sup> /日)
	計					103,289	

## (2) 取水施設(表流水)

### ア 泉町水源地 (上田地区)

施設の状況	規模及び能力	施設数
頭首工名	上田農水頭首工	
水利権取水量	0.42m <sup>3</sup> /s	
専用又は供用	供用	
沈砂池	RC造 2,100m <sup>3</sup>	4池
ポンプ井	RC造 630m <sup>3</sup>	1池

### カ 奈良尾第2水源地 (真田地区)

施設の状況	規模及び能力	施設数
名称	奈良尾第2水源取水堰堤	
水利権取水量	0.0162m <sup>3</sup> /s	
専用又は供用	専用	
取水堰堤	L13.5m×W1.5m×H2.25	1基
取水井	L1.5m×W3.5m×H1.9m	1池
沈砂池	RC造 37.2m <sup>3</sup>	1池

### イ 新屋取入口 (上田地区)

施設の状況	規模及び能力	施設数
水利権取水量	0.243m <sup>3</sup> /s	
専用又は供用	供用	
分水槽	RC造 7.0m <sup>3</sup>	1池
沈砂池	RC造 362m <sup>3</sup>	2池

### ウ 真田取入口 (真田地区)

施設の状況	規模及び能力	施設数
頭首工名	真田水源頭首工	
水利権取水量	0.104m <sup>3</sup> /s	
専用又は供用	供用	
沈砂池	RC造 102m <sup>3</sup>	1池

### エ 依田川取入口 (丸子地区)

施設の状況	規模及び能力	施設数
頭首工名	依田川頭首工	
水利権取水量	0.149m <sup>3</sup> /s	
専用又は供用	供用	
沈砂池	RC造	1池

### オ 内村ダム取入口 (丸子地区)

施設の状況	規模及び能力	施設数
名称	内村ダム	1井
水利権取水量	0.034m <sup>3</sup> /s	
専用又は供用	供用	



### (3) 浄水施設

#### ア 染屋浄水場（緩速ろ過方式）

位置 上田市古里2250番地

建設年月日：大正12年6月4日

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 46,800m <sup>3</sup> /日	
着水井	RC造 79m <sup>3</sup>	1井
混和池	RC造 70m <sup>3</sup>	1池
フロック形成池	RC造 1,594m <sup>3</sup>	2池
沈殿池	傾斜板方式 4,779m <sup>3</sup>	2池
緩速ろ過池	RC造 ろ過面積 780m <sup>2</sup> /池、ろ過速度 3.0~5.0m/日	13池
次亜塩注入機	160cc/分	8台
配水池	RC造 2,000m <sup>3</sup> 、PC造 6,000m <sup>3</sup> 、PC造 4,800m <sup>3</sup> 、PC造 4,800m <sup>3</sup>	4池
排水処理施設	加圧脱水機 11m <sup>3</sup> /日	1式
管理棟	RC造 2階建 280m <sup>2</sup> 、123.9m <sup>2</sup>	2棟
水質検査棟	RC造 2階建 331.9m <sup>2</sup>	1棟
小水力発電設備	流量 0.243m <sup>3</sup> /秒、有効落差 34m、出力 61kw	1基

#### イ 石舟浄水場（緩速ろ過方式）

位置 上田市真田町長4100番地

建設年月日：昭和44年7月

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 8,985m <sup>3</sup> /日	
着水井	RC造 17.2m <sup>3</sup>	1井
混和池	RC造 12.0m <sup>3</sup>	1池
フロック形成池	RC造 387m <sup>3</sup>	2池
沈殿池	RC造 4,250m <sup>3</sup>	2池
緩速ろ過池	RC造 ろ過面積 780m <sup>2</sup> /池、ろ過速度 3.0~5.0m/日	5池
次亜塩注入機	160cc/分	2台
配水池	PC造 2,400m <sup>3</sup> 、PC造 2,100m <sup>3</sup>	2池
管理棟	RC造 2階建 280m <sup>2</sup>	1棟
天日乾燥床	960m <sup>2</sup>	2池

#### ウ 腰越浄水場（緩速ろ過方式）

位置 上田市腰越845番地

建設年月日：昭和35年12月1日

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 4,200m <sup>3</sup> /日	
沈砂池	RC造 15m <sup>3</sup>	1池
着水井	RC造 30m <sup>3</sup>	1井
フロック形成池	RC造 204m <sup>3</sup>	2池
沈殿池	RC造 904m <sup>3</sup>	2池
緩速ろ過池	RC造 ろ過面積 300m <sup>2</sup> /池、ろ過速度 3.0~5.0m/日	4池
次亜塩注入機	55cc/分	2台
配水池	RC造 1,880m <sup>3</sup>	2池

エ 腰越浄水場（急速ろ過方式）

建設年月日：昭和51年3月31日

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 8,200m <sup>3</sup> /日	
沈砂池	RC造 145m <sup>3</sup>	2池
着水井	RC造 40m <sup>3</sup>	1井
混和池	RC造 19m <sup>3</sup>	1池
フロック形成池	RC造 233m <sup>3</sup>	2池
沈殿池	RC造 548m <sup>3</sup>	2池
急速ろ過池	RC造 ろ過面積 23.1m <sup>2</sup> /池、ろ過速度 70m~120m/日	4池
次亜塩注入機	60cc/分、83cc/分	2台、2台
配水池	RC造 1,770m <sup>3</sup>	2池
管理棟	RC造 2階建 1,473m <sup>2</sup>	1棟

オ 鹿教湯浄水場（急速ろ過方式）

位置 上田市西内1766番地13

建設年月日：昭和59年3月31日

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 2,800m <sup>3</sup> /日	
着水井	RC造 46.0m <sup>3</sup>	1井
混和池	RC造 8.4m <sup>3</sup>	1池
フロック形成池	RC造 76m <sup>3</sup>	2池
沈殿池	RC造 173m <sup>3</sup>	2池
急速ろ過池	RC造 4.2m <sup>2</sup> ろ過速度50~80m/日	8池
次亜塩注入機	25cc/分、76cc/分	2台、2台
配水池	RC造 1,560m <sup>3</sup>	2池
管理棟	RC造 2階建 1,028.8m <sup>2</sup>	1棟

カ 赤井浄水場（膜ろ過方式）

位置 上田市真田町本原3703番地

建設年月日：平成8年3月20日

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 1,800m <sup>3</sup> /日	
循環水槽	RC造 26m <sup>3</sup>	1池
浄水機	膜ろ過浄水能力300m <sup>3</sup> /日	6基
次亜塩注入機	16cc/分	8基
機械室	鉄骨造 264m <sup>2</sup>	1棟

(4) 配水池・ポンプ施設

配水池・ポンプ設備 計								
名称	配水池				ポンプ設備			最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
	池数	槽数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	ポンプ場	台数	種類	
全地区	97	142		52,304	48	99		81,020.6

染屋系統								
名称	配水池				ポンプ設備			最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
	池数	槽数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	ポンプ場	台数	種類	
泉町水源P					1	3	送水	36,000
染屋第1	1	2	RC	2,000				
染屋第2	1	2	PC	6,000				
染屋第3	1	1	PC	4,800				
染屋第4	1	1	PC	4,800				
神科送水P					1	2	送水	4,608
神科	1	1	PC	2,500				
倉升送水P					1	2	送水	4,320
倉升第1	1	2	RC	560				
倉升第2	1	1	PC	1,500				
半過送水P					1	2	送水	360
半過	1	2	RC	77				
久保田送水P					1	2	送水	2,880
岡第1	1	2	RC	64				
岡第2	1	1	PC	840				
岡第3	1	1	PC	500				
浦野	1	2	RC	130				
	1	1	RC	150				
越戸	1	2	RC	64				
上室賀第1送水P					1	2	送水	576
上室賀第2	1	1	RC	7				
	1	1	RC	9				
上室賀第2送水P					1	2	送水	180
上室賀第1	1	1	RC	60				
	1	1	RC	96				
上洞送水P					1	2	送水	288
上洞	1	1	RC	35				
(小計)	19	26		24,192	8	17		49,212

石舟系統								
名称	配水池				ポンプ設備			最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
	池数	槽数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	ポンプ場	台数	種類	
石舟第1	1	1	PC	2,400				
石舟第2	1	1	PC	2,100				
滝の宮	1	2	RC	190				
赤坂送水P					1	2	送水	230
赤坂	1	3	RC	130				
大日本	1	1	RC	400				
水沢送水P					1	2	送水	144
水沢配水池	1	1	RC	17				
小井田第1	1	2	RC	570				
小井田第2	1	1	PC	2,500				
大屋	1	2	RC	160				
種之沢	1	1	RC	110				
山口送水P					1	2	送水	5,328
山口	1	1	PC	2,000				
北部	1	2	RC	300				
岩清水	1	2	RC	63				
長入水源P					1	1	揚水	288
長入第1	1	1	RC	19				
長入第2	1	1	RC	35				
(小計)	15	22		10,994	4	7		5,990

真田系統								
名称	配水池				ポンプ設備			最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
	池数	槽数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	ポンプ場	台数	種類	
大日向	1	2	SUS	353				
長谷寺	1	2	RC	88				
真田	1	1	PC	500				
横尾	1	2	RC	76				
三島平	1	1	RC	50				
大良	1	1	RC	18				
傍陽第1	1	2	RC	89				
	1	1	RC	200				
赤石送水P					1	2	送水	96
穴沢高区	1	1	RC	37				
穴沢低区	1	1	RC	23				
傍陽第2	1	2	RC	114				
松井新田水源P					1	1	揚水	800
松井新田	1	2	RC	155				
松井新田加圧P					1	2	加圧	864
中組	1	2	RC	180				
赤井	1	1	RC	80				
	1	2	RC	100				
本原中央	1	1	PC	1,000				
	1	1	RC	216				
熊久保	1	1	RC	11				
(小計)	18	26		3,290	3	5		1,760

菅平系統								
名称	配水池				ポンプ設備			最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
	池数	槽数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	ポンプ場	台数	種類	
渋沢	1	1	RC	50				
第1機場P					1	3	送水	3,312
低区	1	1	RC	96				
第2機場P					1	3	送水	2,304
第2機場加圧P					1	2	加圧	2,016
高区	1	2	RC	480				
高原	1	2	RC	200				
	1	2	RC	400				
カントリー送水P					1	2	送水	604.8
カントリー	1	2	RC	216				
中ノ沢	1	2	RC	480				
穴水(西北)送水P					1	1	送水	720
西北	1	1	RC	179				
穴水(大松)送水P					1	2	送水	403.2
大松	1	2	RC	74				
裏ダボス水源P					1	1	揚水	201.6
裏ダボス	1	2	RC	504				
東組	1	2	RC	80				
	1	2	RC	200				
(小計)	12	21		2,959	7	14		9,561.6

腰越系統								
名称	配水池				ポンプ設備			
	池数	槽数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	ポンプ場	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
腰越第1	1	2	RC	1,880				
腰越第2	1	2	RC	1,770				
腰越加圧P					1	2	加圧	230.4
腰越高区送水P					1	2	送水	2,736
腰越高区	1	1	PC	700				
池の芝第1送水P					1	3	送水	489.6
池の芝第2送水P					1	3	送水	489.6
池の芝	1	1	PC	500				
深山	1	1	RC	30				
平戸送水P					1	2	送水	115
平戸	1	2	RC	72.5				
練合送水P					1	2	送水	1,339.2
練合	1	1	RC	30				
藤原田送水P					1	2	送水	1,238.4
藤原田	1	1	PC	700				
	1	2	RC	60				
箱畳送水P					1	2	送水	244.8
箱畳	1	2	SUS	150				
上平加圧P(休止)					1	3	加圧	432
宮原加圧P(休止)					1	3	加圧	576
南方加圧P(休止)					1	3	加圧	432
郷仕川原	1	1	RC	10.8				
南原加圧P					1	3	加圧	720
茂沢加圧P					1	3	加圧	720
尾野山送水P					1	2	送水	432
尾野山	1	2	RC	73.2				
二本木	1	2	RC	70				
茂沢	1	1	RC	70				
須川湖送水P					1	2	送水	316.8
須川湖高区	1	1	RC	40				
須川湖低区	1	1	RC	40				
(小計)	16	23		6,197	15	37		10,511.8

鹿教湯系統								
名称	配水池				ポンプ設備			
	池数	槽数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	ポンプ場	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
鹿教湯浄水	1	2	RC	1,560				
鹿教湯	1	2	RC	500				
虚空蔵	1	1	PC	250				
霊泉寺送水P					1	2	送水	216
霊泉寺	1	1	RC	40				
新屋	1	2	RC	93.6				
	1	1	PC	250				
(小計)	6	9		2,693.6	1	2		216

深山系統								
名称	配水池				ポンプ設備			
	池数	槽数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	ポンプ場	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
深山水源P					1	1	揚水	432

武石系統								
名称	配水池				ポンプ設備			
	池数	槽数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	ポンプ場	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
上本入第2	1	2	RC	90				
上本入第2加圧P					1	2	加圧	201
内之山加圧P					1	2	加圧	432
中央第1	1	2	RC	280				
中央第3	1	1	PC	500.0				
	1	1	RC	192.7				
中央第4	1	1	PC	300				
余里第1	1	1	RC	90.3				
余里第2	1	1	RC	55.9				
(小計)	7	9		1,508.9	2	4		633

獅子ヶ城系統								
名称	配水池				ポンプ設備			
	池数	槽数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	ポンプ場	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
第1水源P					1	1	揚水	170
第1送水P					1	2	送水	403.2
第1	1	2		100				
第2水源P(休止)					1	1	揚水	259
第2送水P					1	2	送水	576
第4送水P					1	2	送水	360
第5送水P					1	2	送水	360
第2	1	2		125				
第3送水P					1	2	送水	576
第3	1	1		90				
第4	1	1		156				
(小計)	4	6		471	7	12		2,704.2

(5) 管路延長等の状況

(※ 管路延長には局で実施した工事の他、民間等の開発により寄付を受けた物を含む)

ア 用途・管種別延長

合計		年度			令和4年度		令和3年度	
用途・管種	年度末延長	年度末延長	布設		年度末延長	除却		
			布設増	布設減		布設増	布設減	
管路合計	铸铁管	8,735.0	0.0	0.0	8,735.0	0.0	0.0	
	ダクタイル铸铁管 (耐震型継手を有す)	237,880.2	345.4	0.0	237,145.2	389.6	0.0	
	ダクタイル铸铁管 (上記以外)	639,002.1	2.5	3.2	640,635.2	10.8	1,643.2	
	鋼管	13,589.9	0.0	0.0	13,589.9	0.0	0.0	
	石綿セメント管	4,294.3	0.0	0.0	4,454.0	0.0	159.7	
	硬質塩化ビニル管	69,784.3	0.0	0.0	70,794.2	11.1	1,021.0	
	ポリエチレン管 (HPPE)	57,017.4	1,264.0	0.0	53,914.1	1,839.3	0.0	
	ステンレス管	2,992.5	8.8	0.0	2,975.6	8.1	0.0	
	その他(不詳等)	1,191.1	0.0	0.0	1,191.1	0.0	0.0	
	導送配水管延長計	1,034,486.8	1,620.7	3.2	1,033,434.3	2,258.9	2,823.9	

上田地域		年度			令和4年度		令和3年度	
年度末延長	年度末延長	年度末延長	布設		年度末延長	除却		
			布設増	布設減		布設増	布設減	
8,716.7	8,716.7	0.0	0.0	8,716.7	0.0	0.0		
177,313.2	176,776.9	146.7	0.0	177,313.2	389.6	0.0		
322,114.3	323,748.5	2.5	0.0	322,114.3	2.9	1,639.6		
4,365.0	4,365.0	0.0	0.0	4,365.0	0.0	0.0		
887.9	887.9	0.0	0.0	887.9	0.0	0.0		
2,784.6	2,784.6	0.0	0.0	2,784.6	0.0	0.0		
22,442.5	20,950.5	736.4	0.0	22,442.5	755.6	0.0		
2,145.3	2,137.2	0.0	0.0	2,145.3	8.1	0.0		
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
540,769.5	540,367.3	885.6	0.0	540,769.5	1,156.2	1,639.6		

イ 用途・口径別延長

合計		年度			令和4年度		令和3年度	
用途・口径	年度末延長	年度末延長	布設		年度末延長	除却		
			布設増	布設減		布設増	布設減	
導水管	300mm未満	22,740.2	0.0	0.0	22,740.2	0.0	0.0	
	300以上500mm未満	8,858.6	0.0	0.0	8,761.9	96.7	0.0	
	導水管延長計	31,598.8	0.0	0.0	31,502.1	96.7	0.0	
送水管	300mm未満	49,711.0	0.0	0.0	49,711.0	208.8	208.8	
	300以上500mm未満	6,902.4	0.0	0.0	6,902.4	0.0	0.0	
	送水管延長計	56,613.4	0.0	0.0	56,613.4	208.8	208.8	
配水管	75mm	165,729.9	749.0	3.2	165,194.3	623.5	833.7	
	100mm	449,667.3	526.8	0.0	448,860.4	934.0	653.9	
	125mm	3,005.8	0.0	0.0	3,005.8	0.0	0.0	
	150mm	183,071.5	16.3	0.0	183,064.0	306.8	315.6	
	200mm	67,498.7	1.4	0.0	67,497.3	11.3	11.3	
	250mm	32,191.9	6.1	0.0	32,185.8	0.0	0.0	
	300mm	19,347.2	178.2	0.0	19,891.8	77.8	800.6	
	350mm	10,316.7	0.0	0.0	10,316.7	0.0	0.0	
	400mm	10,152.0	142.9	0.0	10,009.1	0.0	0.0	
	450mm	4,889.9	0.0	0.0	4,889.9	0.0	0.0	
	500mm	403.8	0.0	0.0	403.8	0.0	0.0	
	配水管延長計	946,274.5	1,620.7	3.2	945,318.7	1,953.4	2,615.1	
導送配水管延長計	1,034,486.8	1,620.7	3.2	1,033,434.3	2,258.9	2,823.9		

上田地域		年度			令和4年度		令和3年度	
年度末延長	年度末延長	年度末延長	布設		年度末延長	除却		
			布設増	布設減		布設増	布設減	
1,881.0	1,881.0	0.0	0.0	1,881.0	0.0	0.0		
7,548.2	7,451.5	0.0	0.0	7,548.2	96.7	0.0		
9,429.2	9,332.5	0.0	0.0	9,429.2	96.7	0.0		
23,581.9	23,581.9	0.0	0.0	23,581.9	208.8	208.8		
6,902.4	6,902.4	0.0	0.0	6,902.4	0.0	0.0		
30,484.4	30,484.4	0.0	0.0	30,484.4	208.8	208.8		
21,988.2	21,393.1	494.7	0.0	21,988.2	152.3	51.9		
299,908.2	299,611.4	244.7	0.0	299,908.2	304.0	251.9		
288.5	288.5	0.0	0.0	288.5	0.0	0.0		
96,134.9	96,144.7	0.0	0.0	96,134.9	305.3	315.1		
45,988.7	45,988.7	0.0	0.0	45,988.7	11.3	11.3		
22,090.8	22,090.8	0.0	0.0	22,090.8	0.0	0.0		
5,690.8	6,410.3	3.3	0.0	5,690.8	77.8	800.6		
5,666.6	5,666.6	0.0	0.0	5,666.6	0.0	0.0		
2,695.5	2,552.6	142.9	0.0	2,695.5	0.0	0.0		
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
403.8	403.8	0.0	0.0	403.8	0.0	0.0		
500,855.9	500,550.4	885.6	0.0	500,855.9	850.7	1,430.8		
540,769.5	540,367.3	885.6	0.0	540,769.5	1,156.2	1,639.6		

ウ ずい道・水路延長

合計		年度			令和4年度		令和3年度	
ずい道・水路延長	年度末延長	年度末延長	布設		年度末延長	除却		
			布設増	布設減		布設増	布設減	
ずい道・水路延長	1,314.0	1,314.0	0.0	0.0	1,314.0	0.0	0.0	

上田地域		年度			令和4年度		令和3年度	
年度末延長	年度末延長	年度末延長	布設		年度末延長	除却		
			布設増	布設減		布設増	布設減	
1,314.0	1,314.0	1,314.0	0.0	0.0	1,314.0	0.0	0.0	

エ 消火栓数

合計		年度			令和4年度		令和3年度	
種類	年度末数	年度末数	設置数		年度末数	撤去数		
			設置数	撤去数		設置数	撤去数	
地上式	2,530	2,530	18	16	2,528	0	0	
地下式	1,453	1,453	22	8	1,439	0	0	
合計	3,983	3,983	40	24	3,967	0	0	

上田地域		年度			令和4年度		令和3年度	
年度末数	年度末数	年度末数	設置数		年度末数	撤去数		
			設置数	撤去数		設置数	撤去数	
561	561	561	5	2	558	0	0	
1,375	1,375	1,375	21	8	1,362	0	0	
1,936	1,936	1,936	26	10	1,920	0	0	

丸子地域

(単位:m)

年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
32,917.3	0.0	0.0	32,917.3
	0.0	0.0	
91,829.7	0.0	0.0	91,829.7
	0.0	0.0	
1,163.2	0.0	0.0	1,163.2
	0.0	0.0	
940.5	0.0	0.0	940.5
	0.0	0.0	
43,233.6	11.1	314.6	43,537.1
	172.0	0.0	
16,877.9	303.5	0.0	16,402.4
	0.0	0.0	
336.8	0.0	0.0	336.8
	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
187,299.1	172.0	0.0	187,127.1
	314.6	314.6	

真田地域

年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
18.3	0.0	0.0	18.3
	0.0	0.0	
20,685.7	198.7	0.0	20,487.0
	0.0	0.0	
109,422.1	0.0	3.2	109,421.0
	7.9	3.6	
3,603.9	0.0	0.0	3,603.9
	0.0	0.0	
545.7	0.0	0.0	545.7
	0.0	0.0	
3,166.9	0.0	0.0	3,395.9
	0.0	229.0	
3,433.5	255.9	0.0	2,953.7
	223.9	0.0	
428.7	8.8	0.0	419.9
	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
141,304.7	463.4	3.2	140,845.3
	231.8	232.6	

菅平地域

年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
5,077.5	0.0	0.0	5,077.5
	0.0	0.0	
57,145.7	0.0	0.0	57,145.7
	0.0	0.0	
4,187.3	0.0	0.0	4,187.3
	0.0	0.0	
1,920.3	0.0	0.0	2,080.0
	0.0	159.7	
17,420.2	0.0	0.0	17,420.2
	0.0	0.0	
7,490.1	99.7	0.0	7,311.5
	78.9	0.0	
40.9	0.0	0.0	40.9
	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
93,282.0	99.7	0.0	93,263.1
	78.9	159.7	

丸子地域

(単位:m)

年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
1,539.5	0.0	0.0	1,539.5
	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
1,539.5	0.0	0.0	1,539.5
	0.0	0.0	
9,352.4	0.0	0.0	9,352.4
	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
9,352.4	0.0	0.0	9,352.4
	0.0	0.0	
42,620.2	139.5	0.0	42,480.7
	11.1	11.1	
48,941.6	32.5	0.0	48,909.1
	303.5	303.5	
1,489.7	0.0	0.0	1,489.7
	0.0	0.0	
42,578.4	0.0	0.0	42,578.4
	0.0	0.0	
17,784.4	0.0	0.0	17,784.4
	0.0	0.0	
7,968.9	0.0	0.0	7,968.9
	0.0	0.0	
4,841.8	0.0	0.0	4,841.8
	0.0	0.0	
4,585.9	0.0	0.0	4,585.9
	0.0	0.0	
706.2	0.0	0.0	706.2
	0.0	0.0	
4,889.9	0.0	0.0	4,889.9
	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
176,407.1	172.0	0.0	176,235.1
	314.6	314.6	
187,299.1	172.0	0.0	187,127.1
	314.6	314.6	

真田地域

年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
13,890.6	0.0	0.0	13,890.6
	0.0	0.0	
1,310.4	0.0	0.0	1,310.4
	0.0	0.0	
15,201.0	0.0	0.0	15,201.0
	0.0	0.0	
362.2	0.0	0.0	362.2
	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
362.2	0.0	0.0	362.2
	0.0	0.0	
40,473.1	15.1	3.2	40,691.0
	2.3	232.1	
39,316.9	249.6	0.0	38,839.3
	228.0	0.0	
157.1	0.0	0.0	157.1
	0.0	0.0	
26,686.3	16.3	0.0	26,669.0
	1.5	0.5	
1,346.9	1.4	0.0	1,345.5
	0.0	0.0	
2,132.2	6.1	0.0	2,126.1
	0.0	0.0	
8,814.6	174.9	0.0	8,639.7
	0.0	0.0	
64.2	0.0	0.0	64.2
	0.0	0.0	
6,750.2	0.0	0.0	6,750.2
	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
125,741.5	463.4	3.2	125,282.1
	231.8	232.6	
141,304.7	463.4	3.2	140,845.3
	231.8	232.6	

菅平地域

年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
711.1	0.0	0.0	711.1
	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
711.1	0.0	0.0	711.1
	0.0	0.0	
14,102.5	0.0	0.0	14,102.5
	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
14,102.5	0.0	0.0	14,102.5
	0.0	0.0	
33,562.3	99.7	0.0	33,543.4
	78.9	159.7	
33,269.7	0.0	0.0	33,269.7
	0.0	0.0	
1,070.5	0.0	0.0	1,070.5
	0.0	0.0	
10,006.6	0.0	0.0	10,006.6
	0.0	0.0	
559.4	0.0	0.0	559.4
	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	
78,468.4	99.7	0.0	78,449.5
	78.9	159.7	
93,282.0	99.7	0.0	93,263.1
	78.9	159.7	

丸子地域

(単位:m)

年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	

真田地域

年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	

菅平地域

年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	

丸子地域

(単位:基)

年度末数	令和4年度		令和3年度
	設置数	撤去数	
681	3	4	682
59	1	0	58
740	4	4	740

真田地域

年度末数	令和4年度		令和3年度
	設置数	撤去数	
677	7	7	677
18	0	0	18
695	7	7	695

菅平地域

年度末数	令和4年度		令和3年度
	設置数	撤去数	
297	2	2	297
0	0	0	0
297	2	2	297

武石地域

用途・管種	年度 年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
		布設	除却	
		布設 替増	布設 替減	
铸铁管	0.0	0.0	0.0	0.0
ダクタイル铸铁管 (耐震型継手を有す ダクタイル铸铁管 (上記以外)	1,878.4	0.0	0.0	1,878.4
鋼管	270.4	0.0	0.0	270.4
石綿セメント管	0.0	0.0	0.0	0.0
硬質塩化ビニル管	3,178.9	0.0	477.4	3,656.3
ポリエチレン管 (HPPE)	6,773.3	477.4	0.0	6,295.9
ステンレス管	40.8	0.0	0.0	40.8
その他(不詳等)	0.0	0.0	0.0	0.0
導送配水管延長計	54,782.3	477.4	477.4	54,782.3

獅子ヶ城地域

用途・管種	年度 年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
		布設	除却	
		布設 替増	布設 替減	
铸铁管	0.0	0.0	0.0	0.0
ダクタイル铸铁管 (耐震型継手を有す ダクタイル铸铁管 (上記以外)	8.2	0.0	0.0	8.2
鋼管	15,849.9	0.0	0.0	15,849.9
石綿セメント管	0.0	0.0	0.0	0.0
硬質塩化ビニル管	0.0	0.0	0.0	0.0
ポリエチレン管 (HPPE)	0.0	0.0	0.0	0.0
ステンレス管	0.0	0.0	0.0	0.0
その他(不詳等)	1,191.1	0.0	0.0	1,191.1
導送配水管延長計	17,049.2	0.0	0.0	17,049.2

武石地域

用途・口径	年度 年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
		布設	除却	
		布設 替増	布設 替減	
導水管	300mm未満	3,301.9	0.0	3,301.9
	300以上500mm未満	0.0	0.0	0.0
	導水管延長計	3,301.9	0.0	3,301.9
送水管	300mm未満	11.1	0.0	11.1
	300以上500mm未満	0.0	0.0	0.0
	送水管延長計	11.1	0.0	11.1
配水管	75mm	25,697.6	378.9	25,697.6
	100mm	17,026.4	98.5	17,026.4
	125mm	0.0	0.0	0.0
	150mm	6,926.1	0.0	6,926.1
	200mm	1,819.2	0.0	1,819.2
	250mm	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0
	350mm	0.0	0.0	0.0
	400mm	0.0	0.0	0.0
	450mm	0.0	0.0	0.0
	500mm	0.0	0.0	0.0
配水管延長計	51,469.3	477.4	477.4	51,469.3
導送配水管延長計	54,782.3	477.4	477.4	54,782.3

獅子ヶ城地域

用途・口径	年度 年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
		布設	除却	
		布設 替増	布設 替減	
導水管	300mm未満	1,416.1	0.0	1,416.1
	300以上500mm未満	0.0	0.0	0.0
	導水管延長計	1,416.1	0.0	1,416.1
送水管	300mm未満	2,300.8	0.0	2,300.8
	300以上500mm未満	0.0	0.0	0.0
	送水管延長計	2,300.8	0.0	2,300.8
配水管	75mm	1,388.6	0.0	1,388.6
	100mm	11,204.5	0.0	11,204.5
	125mm	0.0	0.0	0.0
	150mm	739.2	0.0	739.2
	200mm	0.0	0.0	0.0
	250mm	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0
	350mm	0.0	0.0	0.0
	400mm	0.0	0.0	0.0
	450mm	0.0	0.0	0.0
	500mm	0.0	0.0	0.0
配水管延長計	13,332.3	0.0	13,332.3	
導送配水管延長計	17,049.2	0.0	17,049.2	

武石地域

用途・管種	年度 年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
		布設	除却	
		布設 替増	布設 替減	
ずい道・水路延長	0.0	0.0	0.0	0.0

獅子ヶ城地域

用途・管種	年度 年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
		布設	除却	
		布設 替増	布設 替減	
ずい道・水路延長	0.0	0.0	0.0	0.0

武石地域

種類	年度 年度末 数	令和4年度		令和3年度 年度末 数
		設置数	撤去数	
		設置数	撤去数	
地上式	244	1	1	244
地下式	1	0	0	1
合計	245	1	1	245

獅子ヶ城地域

種類	年度 年度末 数	令和4年度		令和3年度 年度末 数
		設置数	撤去数	
		設置数	撤去数	
地上式	70	0	0	70
地下式	0	0	0	0
合計	70	0	0	70

## (6) 配水量の推移

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	1,361,373	△0.95%	1,374,439
5月	1,428,874	0.34%	1,423,971
6月	1,405,679	0.95%	1,392,489
7月	1,455,966	△0.22%	1,459,190
8月	1,409,020	△4.18%	1,470,517
9月	1,366,836	△0.57%	1,374,702
10月	1,429,033	0.61%	1,420,422
11月	1,370,957	△0.62%	1,379,572
12月	1,442,815	△0.26%	1,446,544
1月	1,482,047	0.84%	1,469,774
2月	1,355,804	6.50%	1,273,034
3月	1,439,738	2.11%	1,410,045
計	16,948,142	0.32%	16,894,699
1日平均配水量	46,433		46,287

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	912,418	△1.34%	924,845
5月	953,888	△0.31%	956,816
6月	941,881	1.08%	931,847
7月	966,771	△1.17%	978,192
8月	900,634	△7.27%	971,232
9月	897,250	△1.71%	912,873
10月	947,726	△0.48%	952,302
11月	909,277	△1.17%	919,997
12月	957,207	△0.69%	963,844
1月	985,006	0.73%	977,873
2月	900,831	6.16%	848,589
3月	958,542	2.06%	939,150
計	11,231,431	△0.41%	11,277,560
1日平均配水量	30,771		30,897

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	268,341	△4.49%	280,970
5月	282,534	△1.94%	288,121
6月	278,281	△1.15%	281,512
7月	288,831	△2.76%	297,019
8月	291,297	△4.29%	304,343
9月	280,095	△1.92%	285,583
10月	293,124	0.32%	292,190
11月	282,177	0.28%	281,395
12月	293,707	2.56%	286,369
1月	297,112	2.73%	289,209
2月	272,655	6.31%	256,467
3月	295,852	5.11%	281,466
計	3,424,006	△0.02%	3,424,644
1日平均配水量	9,381		9,383

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	95,413	9.74%	86,941
5月	97,338	6.85%	91,094
6月	96,044	6.59%	90,102
7月	102,201	7.65%	94,935
8月	103,390	9.31%	94,583
9月	98,386	11.26%	88,426
10月	100,012	10.65%	90,389
11月	97,175	△2.35%	99,517
12月	101,282	△5.82%	107,543
1月	103,519	△3.67%	107,459
2月	96,553	10.65%	87,257
3月	97,450	△2.87%	100,325
計	1,188,763	4.41%	1,138,571
1日平均配水量	3,257		3,119

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	43,615	20.35%	36,241
5月	50,610	30.88%	38,670
6月	44,860	13.60%	39,490
7月	51,847	16.46%	44,518
8月	64,792	18.07%	54,877
9月	46,394	△0.96%	46,843
10月	41,528	△3.86%	43,195
11月	37,538	△1.68%	38,180
12月	43,399	△2.86%	44,676
1月	47,873	△4.91%	50,346
2月	42,725	2.22%	41,796
3月	43,426	△6.39%	46,388
計	558,607	6.36%	525,220
1日平均配水量	1,530		1,439

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	40,619	△8.64%	44,461
5月	43,412	△9.56%	48,003
6月	43,871	△9.83%	48,653
7月	45,346	5.09%	43,151
8月	47,173	8.29%	43,563
9月	43,652	10.65%	39,451
10月	45,648	11.49%	40,942
11月	43,900	11.56%	39,350
12月	46,186	7.74%	42,869
1月	47,049	8.24%	43,468
2月	40,890	8.32%	37,748
3月	42,896	3.00%	41,647
計	530,640	3.38%	513,306
1日平均配水量	1,454		1,406

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	968	△1.36%	981
5月	1,092	△13.80%	1,267
6月	742	△16.21%	885
7月	970	△29.45%	1,375
8月	1,734	△9.64%	1,919
9月	1,060	△30.55%	1,526
10月	995	△29.13%	1,404
11月	890	△21.45%	1,133
12月	1,034	△16.80%	1,243
1月	1,489	4.92%	1,419
2月	2,150	82.67%	1,177
3月	1,572	47.07%	1,069
計	14,695	△4.56%	15,398
1日平均配水量	40		42



(7) 令和4年度の水質

基準項目（法令で達成しなければならないと定められている項目）

	項目名	単位	基準値	染屋浄水場系	石舟浄水場系	岩清水系	腰越浄水場系
				給水栓水 最大値	給水栓水 最大値	給水栓水 最大値	給水栓水 最大値
1	一般細菌	個/mL	100 以下	0	3	1	0
2	大腸菌		検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出
3	カドミウム	mg/L	0.003 以下	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満
4	水銀	mg/L	0.0005 以下	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満
5	セレン	mg/L	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
6	鉛	mg/L	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
7	ヒ素	mg/L	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
8	六価クロム	mg/L	0.02 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
9	亜硝酸態窒素	mg/L	0.04 以下	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満
10	シアン	mg/L	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	10 以下	1.34	1.62	1.14	0.72
12	フッ素	mg/L	0.8 以下	0.09	0.05	0.05 未満	0.05 未満
13	ほう素	mg/L	1.0 以下	0.08	0.10	0.02	0.01 未満
14	四塩化炭素	mg/L	0.002 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
15	1,4-ジオキサン	mg/L	0.05 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
16	シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
17	ジクロロメタン	mg/L	0.02 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
18	テトラクロロエチレン	mg/L	0.01 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
19	トリクロロエチレン	mg/L	0.01 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
20	ベンゼン	mg/L	0.01 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
21	塩素酸	mg/L	0.6 以下	0.08	0.09	0.05 未満	0.05 未満
22	クロロ酢酸	mg/L	0.02 以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
23	クロロホルム	mg/L	0.06 以下	0.027	0.033	0.006	0.048
24	ジクロロ酢酸	mg/L	0.03 以下	0.002 未満	0.003	0.002 未満	0.002
25	ジブromクロロメタン	mg/L	0.1 以下	0.004	0.002	0.001	0.001 未満
26	臭素酸	mg/L	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
27	総トリハロメタン	mg/L	0.1 以下	0.037	0.041	0.009	0.055
28	トリクロロ酢酸	mg/L	0.03 以下	0.008	0.006	0.002 未満	0.004
29	ブromジクロロメタン	mg/L	0.03 以下	0.008	0.007	0.002	0.007
30	ブromホルム	mg/L	0.09 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
31	ホルムアルデヒド	mg/L	0.08 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
32	亜鉛	mg/L	1.0 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
33	アルミニウム	mg/L	0.2 以下	0.02	0.03	0.01 未満	0.05
34	鉄	mg/L	0.3 以下	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満
35	銅	mg/L	1.0 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
36	ナトリウム	mg/L	200 以下	9.5	6.9	5.6	5.6
37	マンガン	mg/L	0.05 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
38	塩化物イオン	mg/L	200 以下	12.4	8.8	2.6	6.2
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	300 以下	53	47	38	25
40	蒸発残留物	mg/L	500 以下	131	110	113	75
41	陰イオン界面活性剤	mg/L	0.2 以下	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
42	ジェオスミン	mg/L	0.00001 以下	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満
43	2-メチルイソボルネオール	mg/L	0.00001 以下	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満
44	非イオン界面活性剤	mg/L	0.02 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
45	フェノール類	mg/L	0.005 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
46	有機物(TOC)	mg/L	3 以下	0.7	0.9	0.2 未満	1.1
47	pH値		5.8以上8.6以下	7.9	8.4	7.8	7.7
48	味		異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
49	臭気		異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
50	色度	度	5 以下	0.8	1.0	0.2	0.4
51	濁度	度	2 以下	0.05 未満	0.05 未満	0.16	0.05 未満

項目名	単位	鹿教湯浄水場系	裏ダボス系	東組系	つちや系	傍陽西部系	傍陽中央系
		給水栓水	給水栓水	給水栓水	給水栓水	給水栓水	給水栓水
		最大値	最大値	最大値	最大値	最大値	最大値
一般細菌	個/mL	0	0	0	1	1	1
大腸菌		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
カドミウム	mg/L	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満
水銀	mg/L	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満
セレン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
鉛	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ヒ素	mg/L	0.001 未満	0.001	0.001 未満	0.001 未満	0.002	0.001 未満
六価クロム	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
亜硝酸態窒素	mg/L	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満
シアン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.39	0.64	0.27	0.14	0.20	0.87
フッ素	mg/L	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.11	0.12
ぼう素	mg/L	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01	0.03	0.01 未満
四塩化炭素	mg/L	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
1,4-ジオキサン	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
ジクロロメタン	mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
トリクロロエチレン	mg/L	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
ベンゼン	mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
塩素酸	mg/L	0.15	0.05	0.05 未満	0.05 未満	0.08	0.06
クロロ酢酸	mg/L	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
クロロホルム	mg/L	0.057	0.003	0.006	0.003	0.004	0.010
ジクロロ酢酸	mg/L	0.004	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
ジブromクロロメタン	mg/L	0.001	0.003	0.001 未満	0.001 未満	0.002	0.001 未満
臭素酸	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
総トリハロメタン	mg/L	0.064	0.008	0.007	0.003	0.008	0.012
トリクロロ酢酸	mg/L	0.008	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
ブromジクロロメタン	mg/L	0.007	0.002	0.001	0.001 未満	0.002	0.002
ブromホルム	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ホルムアルデヒド	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
亜鉛	mg/L	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
アルミニウム	mg/L	0.01	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
鉄	mg/L	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	0.03	0.03 未満
銅	mg/L	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
ナトリウム	mg/L	4.7	4.4	3.9	3.5	10.5	3.3
マンガン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
塩化物イオン	mg/L	14.8	5.3	7.0	1.4	13.6	10.5
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	54	30	24	15	56	14
蒸発残留物	mg/L	105	82	75	63	119	39
陰イオン界面活性剤	mg/L	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
ジェオスミン	mg/L	0.000003	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満
2-メチルイソボルネオール	mg/L	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満
非イオン界面活性剤	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
フェノール類	mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
有機物(TOC)	mg/L	0.9	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.8
pH値		7.6	7.8	7.7	7.7	8.1	8.4
味		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	度	0.4	0.2	0.2 未満	0.2 未満	1.5	1.4
濁度	度	0.12	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.28	0.05 未満

項目名	単位	赤井系	余里系	獅子ヶ城第一系	長坂系	唐沢系	獅子ヶ城第三系
		給水栓水 最大値	給水栓水 最大値	給水栓水 最大値	給水栓水 最大値	給水栓水 最大値	給水栓水 最大値
一般細菌	個/mL	1	1	1	1	1	1
大腸菌		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
カドミウム	mg/L	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満
水銀	mg/L	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満
セレン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
鉛	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ヒ素	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
六価クロム	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
亜硝酸態窒素	mg/L	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満
シアン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.39	0.87	0.21	0.38	0.85	0.27
フッ素	mg/L	0.05 未満	0.06	0.05 未満	0.05 未満	0.05	0.05 未満
ぼう素	mg/L	0.02	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
四塩化炭素	mg/L	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
1,4-ジオキサン	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
ジクロロメタン	mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
トリクロロエチレン	mg/L	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
ベンゼン	mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
塩素酸	mg/L	0.24	0.07	0.08	0.05 未満	0.05 未満	0.11
クロロ酢酸	mg/L	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
クロロホルム	mg/L	0.017	0.008	0.004	0.010	0.010	0.004
ジクロロ酢酸	mg/L	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.003	0.002 未満	0.002 未満
ジブロモクロロメタン	mg/L	0.001 未満	0.001	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001
臭素酸	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
総トリハロメタン	mg/L	0.019	0.011	0.005	0.011	0.012	0.006
トリクロロ酢酸	mg/L	0.004	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
ブロモジクロロメタン	mg/L	0.002	0.002	0.001	0.001	0.002	0.001
ブロモホルム	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ホルムアルデヒド	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
亜鉛	mg/L	0.03	0.02	0.06	0.02	0.01 未満	0.04
アルミニウム	mg/L	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
鉄	mg/L	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満
銅	mg/L	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.06	0.02	0.01 未満
ナトリウム	mg/L	4.2	4.5	2.8	2.7	3.7	2.9
マンガン	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
塩化物イオン	mg/L	2.0	1.3	0.9	1.1	1.1	0.9
カルシウム,マグネシウム等(硬度)	mg/L	25	17	17	16	15	19
蒸発残留物	mg/L	76	53	60	46	50	65
陰イオン界面活性剤	mg/L	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
ジェオスミン	mg/L	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満
2-メチルイソボルネオール	mg/L	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満
非イオン界面活性剤	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
フェノール類	mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
有機物(TOC)	mg/L	0.5	0.3	0.2 未満	0.2 未満	0.3	0.2 未満
pH値		7.9	7.4	8.0	7.6	7.3	8.1
味		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	度	0.7	0.3	0.2 未満	0.4	0.3	0.3
濁度	度	0.05 未満	0.14	0.05 未満	0.05 未満	0.15	0.05 未満

## (8) 電力使用量の推移

合計 (単位:kWh)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	632,591	29.19%	489,667
5月	601,099	42.27%	422,507
6月	603,601	35.60%	445,142
7月	456,792	18.45%	385,657
8月	511,302	19.34%	428,432
9月	419,723	△16.49%	502,598
10月	508,863	16.79%	435,704
11月	419,144	3.61%	404,554
12月	378,997	△2.80%	389,905
1月	515,800	17.55%	438,782
2月	484,449	13.88%	425,396
3月	409,958	△18.85%	505,201
計	5,942,319	12.68%	5,273,545

上田地域 (単位:kWh)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	507,724	39.77%	363,246
5月	478,288	58.25%	302,238
6月	490,515	46.15%	335,626
7月	337,064	24.61%	270,494
8月	380,659	29.42%	294,120
9月	284,863	△23.32%	371,490
10月	385,268	23.24%	312,624
11月	303,475	9.00%	278,430
12月	265,331	△1.25%	268,685
1月	385,698	28.57%	299,988
2月	360,433	20.26%	299,722
3月	292,476	△24.97%	389,832
計	4,471,794	18.10%	3,786,495

丸子地域 (単位:kWh)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	70,583	6.86%	66,051
5月	67,161	3.64%	64,803
6月	60,226	2.55%	58,726
7月	66,971	6.38%	62,955
8月	70,437	△2.80%	72,467
9月	71,062	6.35%	66,816
10月	70,429	11.94%	62,919
11月	67,331	2.59%	65,632
12月	67,914	6.13%	63,989
1月	75,585	3.05%	73,346
2月	70,612	4.40%	67,633
3月	67,063	3.41%	64,854
計	825,374	4.45%	790,191

真田地域 (単位:kWh)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	5,539	△68.73%	17,715
5月	4,686	△68.12%	14,698
6月	3,990	△67.41%	12,242
7月	4,258	△65.80%	12,450
8月	4,320	△65.91%	12,671
9月	4,178	△67.36%	12,802
10月	3,995	△69.08%	12,920
11月	4,268	△70.22%	14,333
12月	4,149	△73.36%	15,573
1月	5,450	△57.58%	12,847
2月	5,037	△31.56%	7,360
3月	4,354	△17.69%	5,290
計	54,224	△64.07%	150,901

菅平地域 (単位:kWh)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	44,086	15.10%	38,302
5月	46,143	27.54%	36,180
6月	45,220	28.88%	35,086
7月	44,303	23.05%	36,004
8月	51,864	16.34%	44,579
9月	54,548	18.27%	46,123
10月	45,210	5.28%	42,942
11月	40,520	△3.85%	42,143
12月	37,990	0.49%	37,804
1月	43,839	△7.39%	47,337
2月	43,452	△4.52%	45,507
3月	40,154	△0.95%	40,541
計	537,329	9.09%	492,548

武石地域 (単位:kWh)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	1,082	△20.15%	1,355
5月	1,212	2.80%	1,179
6月	1,041	5.58%	986
7月	1,195	△1.81%	1,217
8月	1,180	8.26%	1,090
9月	1,177	11.46%	1,056
10月	1,016	3.36%	983
11月	1,078	△8.26%	1,175
12月	1,070	△8.94%	1,175
1月	1,647	△3.06%	1,699
2月	1,377	△4.18%	1,437
3月	1,191	△1.16%	1,205
計	14,266	△2.00%	14,557

獅子ヶ城地域 (単位:kWh)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	3,577	19.31%	2,998
5月	3,609	5.87%	3,409
6月	2,609	5.37%	2,476
7月	3,001	18.29%	2,537
8月	2,842	△18.92%	3,505
9月	3,895	△9.65%	4,311
10月	2,945	△11.19%	3,316
11月	2,472	△12.99%	2,841
12月	2,543	△5.08%	2,679
1月	3,581	0.45%	3,565
2月	3,538	△5.33%	3,737
3月	4,720	35.67%	3,479
計	39,332	1.23%	38,853

## (9) 小水力発電量の推移

売電量 (単位:kWh)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	0	皆減	5,178
5月	0	皆減	17,320
6月	0	皆減	2
7月	21,478	35.57%	15,843
8月	5,892	△73.53%	22,257
9月	30,221	200.26%	10,065
10月	4,559	△86.44%	33,629
11月	13,291	186.14%	4,645
12月	0	皆減	4,238
1月	14,305	6.65%	13,413
2月	19,694	257.36%	5,511
3月	2,146	67.92%	1,278
計	111,586		133,379

売電額 (単位:円)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	0	皆減	193,657
5月	0	皆減	647,768
6月	0	皆減	74
7月	803,277	35.57%	592,528
8月	220,360	△73.53%	832,411
9月	1,130,265	200.26%	376,431
10月	170,506	△86.44%	1,257,724
11月	497,083	186.14%	173,723
12月	0	皆減	158,501
1月	535,007	6.65%	501,646
2月	736,555	257.36%	206,111
3月	80,260	67.92%	47,797
計	4,173,313		4,988,371

買電量 (単位:kWh)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	659	15.21%	572
5月	634	92.12%	330
6月	672	△1.47%	682
7月	312	△17.02%	376
8月	783	164.53%	296
9月	189	△63.86%	523
10月	587	517.89%	95
11月	433	△24.83%	576
12月	632	12.06%	564
1月	528	7.76%	490
2月	385	△46.30%	717
3月	661	△2.79%	680
計	6,475		5,901

買電額 (単位:円)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	16,875	62.81%	10,365
5月	16,410	137.07%	6,922
6月	17,705	38.68%	12,767
7月	10,289	25.52%	8,197
8月	20,866	154.15%	8,210
9月	7,098	△40.08%	11,845
10月	17,955	267.10%	4,891
11月	14,286	10.26%	12,957
12月	21,271	62.92%	13,056
1月	18,665	57.71%	11,835
2月	12,865	△23.01%	16,710
3月	19,739	18.40%	16,671
計	194,024		134,426

## (10) 薬品使用量の推移

### ア ポリ塩化アルミニウム(PAC)

合計 (単位:kg)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	23,370	30.27%	17,940
5月	27,590	8.62%	25,400
6月	22,810	△11.69%	25,830
7月	37,070	△6.48%	39,640
8月	23,250	△31.88%	34,130
9月	32,220	66.60%	19,340
10月	23,800	195.29%	8,060
11月	32,550	239.77%	9,580
12月	15,340	△42.72%	26,780
1月	13,400	△13.10%	15,420
2月	14,270	6.02%	13,460
3月	16,740	△33.01%	24,990
計	282,410	8.38%	260,570

上田地域 (単位:kg)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	16,100	30.89%	12,300
5月	21,200	19.10%	17,800
6月	16,200	△16.49%	19,400
7月	31,000	△4.91%	32,600
8月	16,600	△31.69%	24,300
9月	26,200	103.10%	12,900
10月	18,700	592.59%	2,700
11月	26,700	567.50%	4,000
12月	9,900	△54.59%	21,800
1月	8,100	△20.59%	10,200
2月	8,400	2.44%	8,200
3月	10,200	△47.15%	19,300
計	209,300	12.83%	185,500

丸子地域 (単位:kg)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	7,270	28.90%	5,640
5月	6,390	△15.92%	7,600
6月	6,610	2.80%	6,430
7月	6,070	△13.78%	7,040
8月	6,650	△32.35%	9,830
9月	6,020	△6.52%	6,440
10月	5,100	△4.85%	5,360
11月	5,850	4.84%	5,580
12月	5,440	9.24%	4,980
1月	5,300	1.53%	5,220
2月	5,870	11.60%	5,260
3月	6,540	14.94%	5,690
計	73,110	△2.61%	75,070

イ 次亜塩素酸ナトリウム

合計 (単位:kg)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	8,740	1.16%	8,640
5月	10,460	△1.41%	10,610
6月	12,060	19.17%	10,120
7月	15,050	11.15%	13,540
8月	14,650	△3.43%	15,170
9月	12,550	2.03%	12,300
10月	13,140	19.13%	11,030
11月	8,660	△22.19%	11,130
12月	8,520	△7.99%	9,260
1月	8,190	△11.36%	9,240
2月	7,960	△3.16%	8,220
3月	8,770	15.85%	7,570
計	128,750	1.51%	126,830

上田地域 (単位:kg)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	6,200	5.08%	5,900
5月	7,000	△1.41%	7,100
6月	8,200	22.39%	6,700
7月	10,500	23.53%	8,500
8月	10,000	7.53%	9,300
9月	9,200	9.52%	8,400
10月	7,700	2.67%	7,500
11月	5,600	△12.50%	6,400
12月	5,600	9.80%	5,100
1月	5,600	△11.11%	6,300
2月	5,400	3.85%	5,200
3月	5,200	0.00%	5,200
計	86,200	5.64%	81,600

丸子地域 (単位:kg)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	2,310	△7.60%	2,500
5月	2,680	△19.28%	3,320
6月	3,100	△3.13%	3,200
7月	3,310	△16.62%	3,970
8月	3,150	△8.70%	3,450
9月	3,130	2.29%	3,060
10月	3,010	△9.88%	3,340
11月	2,860	△3.38%	2,960
12月	2,650	5.16%	2,520
1月	2,400	9.59%	2,190
2月	2,390	10.14%	2,170
3月	2,280	4.11%	2,190
計	33,270	△4.59%	34,870

真田地域 (単位:kg)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	0	—	
5月	600	皆増	
6月	500	皆増	
7月	1,000	25.00%	800
8月	1,200	△45.45%	2,200
9月	0	皆減	600
10月	2,200	皆増	
11月	0	皆減	1,600
12月	0	皆減	1,400
1月	0	皆減	600
2月	0	皆減	700
3月	1,100	皆増	
計	6,600	△16.46%	7,900

武石地域 (単位:kg)

	令和4年度		令和3年度
		対前年度比	
4月	230	△4.17%	240
5月	180	△5.26%	190
6月	260	18.18%	220
7月	240	△11.11%	270
8月	300	36.36%	220
9月	220	△8.33%	240
10月	230	21.05%	190
11月	200	17.65%	170
12月	270	12.50%	240
1月	190	26.67%	150
2月	170	13.33%	150
3月	190	5.56%	180
計	2,680	8.94%	2,460

## 公共下水道事業編





# 1 事業の概要

## (1) 事業の沿革

上田市の公共下水道事業は、旧上田市において昭和 42 年に公共下水道の事業の認可を受け、中心市街地から着手し、以後、管渠施設の整備と下水処理場の建設を進めてきました。

平成 18 年 3 月には、新上田市の発足に伴い、千曲川右岸地域の 4 処理区と千曲川左岸地域の 5 処理区となり、平成 31 年 4 月には、農業集落排水の公共下水道への統合事業を丸子地域で進め、千曲川左岸地域が藤原田処理区及び東内処理区を加えた 7 処理区となりました。

全体処理区域面積 4,573.2ha、計画処理人口 160,800 人を目標に下水道管渠の建設と終末処理場の拡張を行い、千曲川をはじめとする公共用水域の水質汚濁の防止、快適で文化的な生活環境作りを目指しています。

公共下水道は、上田地域では千曲川右岸地域の上田処理区・神川東処理区を「上田終末処理場」、千曲川左岸地域の南部処理区・中塩田処理区を「南部終末処理場」、別所温泉処理区を「別所温泉終末処理場」の 3 つの施設で処理しています。

また、丸子地域では、丸子処理区(丸子分区・依田分区)、藤原田処理区及び東内処理区を「丸子浄化センター」、西内処理区を「西内浄化センター」の 2 つの施設で処理し、真田地域では、菅平処理区を「菅平浄化センター」、真田処理区を「真田浄化センター」の 2 つの施設で処理しています。

## (2) 事業のあゆみ

### ア 合併前（昭和39年4月～平成18年3月）

#### (ア) 上田地域

上田地域の公共下水道事業は、昭和 42 年に当初事業認可を取得し、下水道事業に着手しました。その後、管渠施設の整備と下水処理場の建設を進め、昭和 47 年には上田終末処理場の供用開始に至り、さらに平成 7 年に別所温泉終末処理場、平成 11 年に南部終末処理場の供用開始に至りました。

また、下水道全体計画は、昭和 42 年の 1,129ha（千曲川右岸の市街地）から昭和 55 年には千曲川左岸の南部処理区を加えて 2,230ha に拡大し、平成 2 年には別所温泉処理区、平成 7 年には中塩田処理区、平成 8 年には神川東処理区を加えて 3,367ha となりました。

昭和39年	4月	建設部都市計画係にて認可事務開始
昭和42年	3月	公共下水道の設置を市議会で議決
	9月	第1期計画決定(公共:上田処理区)487.4ha
	10月	事業計画認可(公共:上田処理区)190.5ha 管渠布設開始
昭和44年	5月	第1期受益者負担金省令公布(m <sup>2</sup> 当たり90.76円) 賦課区域面積168.4ha 終末処理場建設開始
昭和46年	7月	建設部に下水道課を新設
	10月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)
昭和47年	4月	下水道条例公布
	5月	下水道課に普及係、建設係を設置

昭和47年	7月	終末処理場運転開始供用開始告示57ha 終末処理場を上小衛生施設組合に管理委託
昭和51年	1月	第1期計画決定変更(公共:上田処理区)(計画面積合計550ha)
	3月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)225.4ha (認可面積合計415.9ha)
昭和53年	4月	終末処理場の管理委託を民間管理会社に変更
	7月	下水道使用料の3か年次分改定
	12月	第2期受益者負担金条例公布(m <sup>2</sup> 当たり200円) 賦課区域面積138.7ha
昭和56年	3月	計画決定変更(公共:上田処理区)(計画面積合計1,155ha)
	7月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)583ha(認可面積合計998.9ha)
昭和58年	12月	第3期受益者負担金条例公布(m <sup>2</sup> 当たり270円) 下水道使用料改定
昭和59年	4月	第3期工事区域の内、前期分賦課区域公告307.8ha
昭和61年	10月	下水道課に下水浄化センター設置3係となる
昭和62年	1月	終末処理場の用地拡大計画決定
	2月	終末処理場の用地拡大事業計画変更認可
昭和62年	12月	下水道使用料改定
昭和63年	3月	ポンプ場位置変更の計画決定
昭和63年	8月	ポンプ場位置変更の事業計画変更認可
平成元年	4月	下水道使用料改定(消費税導入) 第3期工事区域の内、後期分賦課区域公告255.3ha
平成2年	3月	ポンプ場位置変更、終末処理場用地減少の計画変更
	7月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)136.1ha(認可面積合計1,135ha)
	12月	上塩尻ポンプ場運転開始
平成3年	3月	第4期受益者負担金条例公布(m <sup>2</sup> 当たり360円)
	4月	第4期工事区域の賦課区域公告109.7ha
	10月	計画決定(特環:別所温泉処理区)68ha(計画面積合計1,223ha)
	12月	事業計画認可(特環:別所温泉処理区)68ha(認可面積合計1,203ha)
平成4年	4月	下水道使用料改定
	10月	下塩尻ポンプ場運転開始
	12月	受益者負担金条例公布(特環:m <sup>2</sup> 当たり470円)
平成5年	4月	別所温泉処理区の賦課区域公告61.9ha
	7月	計画決定変更(公共:上田処理区)655ha(公共:南部処理区)850ha (計画面積合計2,728ha)
	11月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)330ha(公共:南部処理区)292ha (認可面積合計1,825ha)
平成6年	12月	第5期受益者負担金条例公布(m <sup>2</sup> 当たり510円)
平成7年	4月	第5期工事区域の賦課区域公告545ha
	5月	機構改革により農村下水道課と合併
	7月	下水道使用料改定
	12月	別所温泉終末処理場運転開始一部供用開始

平成8年	1月	事業計画変更認可(特環:別所温泉処理区)事業完了年月日、事業費の変更
平成8年	12月	上田終末処理場内汚泥焼却炉運転開始
平成9年	4月	機構改革により建設部下水道課から水道局下水道課、水道局計画管理課の2課となる。
		下水道使用料改定
平成10年	2月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)345ha(公共:南部処理区)304ha 事業計画認可(特環:中塩田処理区)98ha(認可面積合計2,572ha)
	12月	第6期受益者負担金(分担金)条例公布(㎡当たり560円)
平成11年	2月	事業認可(特環:神川東処理区)98ha(認可面積合計2,670ha)
	4月	下水道使用料改定
	7月	計画決定変更(公共:上田処理区)70ha(計画面積合計2,798ha)
	10月	事業計画変更認可(公共:南部処理区)34ha(特環:中塩田処理区)136ha (認可面積合計2,840ha)
	12月	南部終末処理場運転開始
平成12年	4月	機構改革により計画管理課を営業課と改称する。
	6月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)70ha (特環:神川東処理区)125ha  (認可面積合計3,035ha)
	11月	計画決定変更北部汚水中継ポンプ場廃止
平成13年	4月	水道局を上下水道局と改称し、事業管理者を置く。 下水道事業に地方公営企業法を全部適用する。 下水道使用料改定
	6月	計画決定変更(公共:南部処理区)15ha(計画面積合計2,813ha) 事業計画変更認可(公共:南部処理区)235ha (特環:中塩田処理区)128ha  (認可面積合計3,398ha)
平成14年	10月	事業計画変更認可(特環:神川東処理区)58ha (認可面積合計3,456ha)
平成15年	3月	事業計画変更認可 (特環:別所温泉処理区)事業年度の変更 平成14年度→平成19年度  (認可面積合計3,456ha)
	4月	中塩田処理区一部供用開始(約2,500戸7,000人)
	12月	神川東処理区一部供用開始(約1,100戸2,900人) 神川東ポンプ場運転開始
平成16年	3月	計画決定変更(公共:上田処理区) 国分汚水ポンプ場をマンホール形式ポンプ場に変更  事業計画変更認可(公共:上田処理区) 国分汚水ポンプ場をマンホール形式ポンプ場に変更
	10月	事業計画変更認可(公共:上田終末処理場・南部終末処理場) 設備の構造及び能力の変更  下水道法施行令の改定に伴う計画放流水の変更

## (イ) 丸子地域

丸子地域の公共下水道事業は、昭和 55 年 2 月に西内処理区の当初事業認可を取得し、下水道事業に着手しました。その後、昭和 62 年 12 月に西内浄化センターの供用開始に至り、さらに平成 11 年 3 月に丸子浄化センターの供用開始に至りました。

また、下水道全体計画は当初昭和 52 年 4 月の西内処理区(47ha)から、平成 2 年 3 月に丸子処理区を加え、840ha となりました。

### ・特環(西内処理区)

昭和52年度	基本計画策定
昭和54年度	処理場位置決定 公共下水道事業特別会計設置
昭和55年度	下水道係新設 処理場用地買収
昭和55年 3月	下水道法事業認可(47.0ha)
昭和56年度	処理場用地買収
昭和57年度	管渠工事着手 事業計画見直し業務委託(日本下水道事業団)
昭和58年 10月	第1回変更事業認可(区域及び計画汚水量変更)49.1ha
昭和59年度	処理場実施(基本)設計業務委託(日本下水道事業団) 特定環境保全公共下水道審議会条例制定 下水道事業受益者分担に関する条例制定
昭和60年度	処理場実施(詳細)設計業務委託(日本下水道事業団)
昭和60年 5月	第2回変更事業認可(処理方式変更:回転円盤→OD) 処理場用地買収 処理場建設工事に係る基本協定締結(日本下水道事業団) 公共下水道都市計画決定 処理場第1期建設工事着手(水処理施設:2,200m <sup>3</sup> /日) (汚泥処理設備:1,650m <sup>3</sup> /日)
昭和62年度	下水道条例制定 下水道条例施行規則制定 下水道指定工事店の指定等に関する規則制定 水洗便所改造資金融資あっ旋要綱制定 処理場管理本館及び水処理施設完成 一部供用開始(12月15日)
昭和63年度	下水道事業受益者分担に関する条例施行規則制定 処理場第1期建設工事完了

平成元年度		下水道条例の一部改正 下水道条例施行規則の一部改正 49.1haの管渠整備完了 事業計画見直し業務委託(日本下水道事業団) 処理場第2期実施(詳細)設計業務委託(下水道事業団)
平成2年度		処理場第2期建設工事着手(水処理施設:1,100m <sup>3</sup> /日) (汚泥処理設備:1,650m <sup>3</sup> /日) 処理場汚泥処理設備全設備完了
平成2年	8月	第3回変更事業認可(区域の変更)64.8ha
平成3年度		処理場全体計画施設完了 全体事業計画の見直し業務委託(日本下水道事業団)
平成4年	5月	第4回変更事業認可(全体計画区域の拡大)79.1ha
平成5年度		計画区域内の管渠整備概成
平成6年度		下水道条例の全部改正 下水道条例施行規則の全部改正 下水道排水設備指定工事店規則の全部改正
平成7年度		第5回変更事業認可(事業期間の延伸)
平成11年度		下水道使用料改定諮問(審議会5回開催、24.6%アップ答申を得る) 議会3月定例会、使用料24.6%アップ改定案提出 継続審議
平成12年度		議会6月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成13年1月1日) 全体事業計画の見直し業務委託(日本下水道事業団)
平成16年度		事業再評価の実施(事業継続) 議会12月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成17年4月1日) 下水道使用料改定諮問(アップ答申を得る) 議会12月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成17年4月1日)
平成16年	11月	都市計画決定区域の変更
平成17年	3月	第6回変更事業認可(計画区域拡大)86.0ha
平成17年度		地方公営企業法を全部適用

・公共(丸子処理区)

平成2年	3月	基本計画策定
平成4年度		終末処理場位置決定
平成5年	3月	第2次都市計画変更決定
平成5年	11月	下水道法及び都市計画変更決定(99.0ha) 管渠工事着手
平成6年度		第1回変更事業認可(幹線管渠路線変更) 処理場用地買収(土地開発公社) 処理場実施(基本)設計業務委託(日本下水道事業団)
平成7年度		処理場用地買戻し(~10年度) 処理場実施(詳細)設計業務委託(日本下水道事業団)
平成7年	5月	第1回変更事業認可(幹線管渠路線変更)
平成8年度		処理場建設工事に係る基本協定締結(日本下水道事業団) 処理場第1期建設工事着手(水処理施設:2,400m <sup>3</sup> /日) (汚泥処理設備:2,400m <sup>3</sup> /日) 事業計画見直し業務委託(日本下水道事業団) 公共下水道事業受益者負担金に関する条例制定
平成9年	8月	第2回変更事業認可(区域、計画人口、計画汚泥量変更)510.0ha
平成10年度		平成11年3月27日一部供用開始
平成11年度		処理場第2期基本協定変更(日本下水道事業団) (水処理施設:9,600m <sup>3</sup> /日)
平成12年度		全体計画見直し業務委託(日本下水道事業団)
平成14年度		第3次都市計画変更決定
平成14年	8月	第3回変更事業認可(区域、計画人口、計画汚泥量変更)716.0ha (水処理施設:12,000m <sup>3</sup> /日)
平成15年度		事業再評価の実施(事業継続)
平成16年度		事業再評価の実施(事業継続) 議会12月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成17年4月1日) 下水道使用料改定諮問(アップ答申を得る) 議会12月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成17年4月1日) 都市計画決定区域の変更
平成17年度		地方公営企業法を全部適用

## (ウ)真田地域

真田地域の公共下水道事業は、昭和52年に菅平処理区の当初事業認可を取得し、下水道事業に着手しました。その後、昭和60年6月に菅平浄化センターの供用開始に至り、さらに平成9年4月に真田浄化センターの供用開始に至りました。

また、下水道全体計画は当初の菅平処理区(210ha)から、平成4年度に真田処理区を加え、その後、平成10年度に真田処理区の見直し、平成13年度に菅平処理区の見直し計画(区域の縮小)を立案し、326haとなりました。

### ・特環(菅平処理区)

昭和52年	2月	基本計画策定 下水道法事業認可 処理場用地買収
	6月	処理場実施設計 処理場造成工事 管渠工事着手
昭和53年	5月	処理場実施設計 処理場造成工事
昭和54年	9月	第1回変更事業認可(区域の拡大及び工事完成予定の延伸) 処理場土木工事着手
昭和55年	7月	処理場建築工事着手
昭和57年	9月	処理場機械設備工事着手
昭和58年	1月	第2回変更事業認可(放流渠の位置の変更及び工事完成予定の延伸)
昭和59年	9月	処理場電気設備工事着手
昭和60年	6月	1/2系列供用開始(2,250m <sup>3</sup> /日)(6月24日)
昭和62年	12月	第3回変更事業認可(工事完成予定の延伸)
昭和63年	8月	第4回変更事業認可(区域の拡大)
平成元年	12月	3/4系列目供用開始(1,125m <sup>3</sup> /日)
平成4年	7月	第5回変更事業認可(区域の拡大及び工事完成予定の延伸)
	12月	4/4系列目供用開始(1,125m <sup>3</sup> /日)
平成5年	9月	172ha管渠整備完了
平成9年	7月	第6回変更事業認可(工事完成予定の延伸)
平成13年	3月	第7回変更事業認可(工事完成予定の延伸)
平成14年	3月	全体計画見直し(区域の縮小及び水処理方式の変更)
平成15年	3月	第8回変更事業認可(水処理方式の変更)
平成19年	12月	OD法で処理開始(水処理方式の変更) ※OD法=酸化溝法(オキシデーションディッチ法)



・特環(真田処理区)

平成4年	3月	基本計画策定
	12月	下水道法事業認可
平成5年	3月	処理場用地買収 処理場地質調査
平成6年	6月	処理場水処理棟建設工事着手
平成7年	7月	処理場管理汚泥棟建設工事着手 処理場水処理機械電気設備工事着手(1/2系列 1,600m <sup>3</sup> /日)
平成8年	3月	第1回変更事業認可(区域の拡大及び工事完成予定の延伸及び全体計画の一部見直し)
	7月	処理場汚泥設備工事着手 処理場場内整備工事
平成9年	4月	平成9年4月1日一部供用開始 (1/2系列1,600m <sup>3</sup> /日) 処理場汚泥処理設備工事着手
平成10年	11月	全体計画区域の見直し(全体計画区域の拡大及び排水量原単位の見直し) 第2回変更事業認可(区域の拡大及び工事完成期限の延伸)
平成11年	12月	第3回変更事業認可(区域の拡大)
平成13年	10月	処理場水処理機械電気工事着手(2/2系列 1,600m <sup>3</sup> /日)
平成14年	2月	154ha管渠整備完了
	3月	2/2系列目供用開始(1,600m <sup>3</sup> /日)
平成16年	2月	第4回変更事業認可(計画処理量の変更及び工事完成予定の延伸) (3,200m <sup>3</sup> /日→2,400m <sup>3</sup> /日)

## イ 合併後(新上田市) (平成18年3月～ )

平成 18 年 3 月の新上田市発足以降は、それまでの整備中心の下水道事業から、ライフラインとしての健全稼働を目的にした維持管理を中心とした下水道事業へ移行を行っています。

平成 16 年に新潟県中越地震などが発生し、全国的に緊急性の高い地震対策を早急に実施する必要が生じたため、平成 21 年に下水道地震対策緊急整備計画を策定して下水道施設の耐震化を進めました。

また、平成 23 年には、東日本大震災により全国的に多くの下水道施設が被害を受けたことから、重要な施設の耐震化を図る「防災」と被害を最小化を図る「減災」を更に行うため上田市下水道総合地震対策計画を策定し、総合的な地震対策を進めています。

下水道整備が進み管渠や処理場などの施設が増える中、施設の老朽化に起因した道路陥没事故などが全国的に発生したため、事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図ることを目的に、平成 25～26 年に下水道長寿命化計画を策定し、計画に基づき長寿命化を含めた計画的な改築を行いました。

平成 31 年には、下水道施設全体の中長期的な施設状況を予測しながら維持管理、改築を一体的に捉えて計画的・効率的に管理する上田市下水道ストックマネジメント計画を策定し、老朽化の進展状況を捉えて優先順位をつけながら施設の改築を進め、事業費の更なる削減を図っています。

平成20年	3月	事業計画変更認可(計画諸元、施設計画及び工事終了予定年月日の変更)
平成20年	4月	地方公営企業法を全部適用(菅平処理区、真田処理区)
平成21年	3月	下水道地震対策緊急整備計画策定(管渠、処理場)
平成25年	12月	下水道長寿命化計画策定(処理場)
平成26年	1月	下水道長寿命化計画策定(管渠、マンホールポンプ)
平成26年	3月	事業計画の変更(工事終了予定年月日の変更)
平成27年	3月	計画決定変更(上田都市計画及び丸子都市計画の合併)
平成27年	6月	事業計画の変更(計画諸元及び事業計画区域・工事終了予定年月日の変更)
平成30年	3月	事業計画の変更(施設の配置に関する方針、点検・調査計画、修繕・改築判断基準、改築事業の概要、長期的な改築需要見通しの追加)
平成30年	6月	上田市公共下水道総合地震対策計画策定(管渠、処理場)
平成31年	3月	上田市公共下水道ストックマネジメント計画策定(管渠、処理場)
平成31年	4月	事業計画の変更(計画諸元及び事業計画区域・工事終了予定年月日の変更、藤原田処理区・東内処理区の追加)
令和3年	3月	事業計画の変更(東内処理区幹線管渠の位置等の変更)
令和5年	1月	マンホールカード作成(上田処理区)
令和5年	3月	事業計画の変更(し尿等の受入施設の新設及び工事終了予定年月日の変更等)

### (3) 事業計画

項 目		単位	上田公共下水道事業					
			上田終末処理場		南部終末処理場		別所温泉 終末処理場	
			上田処理区	神川東 処理区	南部処理区	中塩田 処理区	別所温泉 処理区	
目標年次	全体計画	年	令和15年度	令和15年度	令和15年度	令和15年度	令和15年度	
	認可計画	年	令和10年度	令和10年度	令和10年度	令和10年度	令和10年度	
計画処理区域	全体計画	ha	1,822.8	270	846.9	358.5	68.1	
	認可計画	ha	1,822.8	270	846.9	358.5	68.1	
計画処理人口	常住人口	人	49,990	8,510	27,850	9,090	1,260	
	観光人口(宿泊)	人	--	--	--	--	1,360	
	観光人口(日帰り)	人	17,430	--	--	1,940	2,130	
生活・営業 汚水量原単位	日平均	生活	L/日・人	240	220	230	210	245
		営業	L/日・人	85	20	35	55	--
		営業用水率	%	35	10	15	25	--
		計	L/日・人	325	240	265	265	245
		日最大	L/日・人	380	280	310	310	305
		時間最大	L/日・人	610	450	560	560	460
地下水量原単位		L/日・人	75	55	30	30	60	
計画汚水量(日最大)	生活・営業	m <sup>3</sup> /日	18,996	2,383	8,634	2,818	384	
	地下水量	m <sup>3</sup> /日	3,749	468	836	273	76	
	工場	m <sup>3</sup> /日	2,232	165	171	58	--	
	観光	m <sup>3</sup> /日	697	--	--	68	656	
	その他	m <sup>3</sup> /日	--	--	--	--	--	
	計	m <sup>3</sup> /日	25,674	3,016	9,641	3,217	1,116	
計画処理水量(日平均)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	21,967	2,579	8,113	2,697	904	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	22,395	2,646	8,369	2,775	920	
計画処理水量(日最大)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	25,228	2,942	9,350	3,137	1,098	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	25,674	3,016	9,641	3,217	1,116	
計画処理水量(時間最大)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	39,440	4,531	16,285	5,475	1,616	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	39,927	4,628	16,774	5,605	1,642	

項 目		単位	丸子公共下水道事業					
			丸子浄化センター				西内 浄化センター	
			丸子処理区 (丸子分区)	丸子処理区 (依田分区)	藤原田 処理区	東内 処理区	西内処理区	
目標年次	全体計画	年	令和15年度	令和15年度	令和15年度	令和15年度	令和15年度	
	認可計画	年	令和10年度	令和10年度	令和10年度	令和10年度	令和10年度	
計画処理区域	全体計画	ha	558.8	195	10	31.1	86	
	認可計画	ha	558.8	195	10	31.1	86	
計画処理人口	常住人口	人	13,310	5,100	310	950	970	
	観光人口(宿泊)	人	--	50	--	--	1,870	
	観光人口(日帰り)	人	--	410	--	--	220	
生活・営業 汚水量原単位	日平均	生活	L/日・人	200	205	210	230	330
		営業	L/日・人	50	20	--	--	--
		営業用水率	%	25	10			--
		計	L/日・人	250	225	210	230	330
	日最大	L/日・人	295	265	280	305	440	
	時間最大	L/日・人	530	475	505	550	615	
地下水量原単位		L/日・人	60	55	40	30	90	
計画汚水量(日最大)	生活・営業	m <sup>3</sup> /日	3,926	1,352	87	290	427	
	地下水量	m <sup>3</sup> /日	799	281	12	29	87	
	工場	m <sup>3</sup> /日	1,073	875	--	--	--	
	観光	m <sup>3</sup> /日	--	24	--	--	729	
	その他	m <sup>3</sup> /日	--	--	--	--	320	
	計	m <sup>3</sup> /日	5,798	2,532	99	319	1,563	
計画処理水量(日平均)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	5,184	3,026	75	240	1,184	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	4,987	2,263	77	248	1,196	
計画処理水量(日最大)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	6,067	3,351	96	309	1,548	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	5,798	2,532	99	319	1,563	
計画処理水量(時間最大)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	10,592	6,158	164	534	2,132	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	9,999	4,499	169	552	2,153	

項 目		単位	真田公共下水道事業		
			菅平 浄化センター	真田 浄化センター	
			菅平処理区	真田処理区	
目標年次	全体計画	年	令和15年度	令和15年度	
	認可計画	年	令和10年度	令和10年度	
計画処理区域	全体計画	ha	172	154	
	認可計画	ha	172	154	
計画処理人口	常住人口	人	690	4,410	
	観光人口(宿泊)	人	6,760	--	
	観光人口(日帰り)	人	2,370	--	
生活・営業 汚水量原単位	日平均	生活	L/日・人	260	240
		営業	L/日・人	--	25
		営業用水率	%	--	10
	計	L/日・人	260	265	
	日最大	L/日・人	650	330	
	時間最大	L/日・人	1,235	660	
地下水量原単位		L/日・人	130	65	
計画汚水量(日最大)	生活・営業	m <sup>3</sup> /日	449	1,455	
	地下水量	m <sup>3</sup> /日	90	287	
	工場	m <sup>3</sup> /日	--	11	
	観光	m <sup>3</sup> /日	3,887	--	
	その他	m <sup>3</sup> /日	--	--	
	計	m <sup>3</sup> /日	4,426	1,753	
計画処理水量(日平均)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	1,806	1,420	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	1,817	1,427	
計画処理水量(日最大)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	4,402	1,695	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	4,426	1,753	
計画処理水量(時間最大)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	8,268	3,114	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	8,309	3,220	



## 2 財政の状況

### (1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
下水道事業収益		6,107,119,167	△0.51%	6,138,442,219
営業収益		2,870,254,230	0.85%	2,845,971,772
営業外収益		3,234,421,759	△1.74%	3,291,734,673
特別利益		2,443,178	232.06%	735,774
下水道事業費用		4,767,213,591	0.18%	4,758,628,983
営業費用		4,116,707,873	2.32%	4,023,482,933
営業外費用		650,505,718	△11.51%	735,146,050
収支差引額		1,339,905,576	△2.89%	1,379,813,236

(税込・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
損益勘定留保資金発生額		1,766,930,964	△1.93%	1,801,787,155
減価償却費		2,787,940,671	△2.21%	2,850,980,837
長期前受金戻入(△)		1,161,012,700	△2.10%	1,185,963,198
固定資産除却費		140,002,993	2.36%	136,769,516
損益勘定留保資金補てん額		1,885,177,940	△7.09%	2,029,001,023
損益勘定留保資金残高		762,403,914	△13.43%	880,650,890

## (2) 資本的収支及び補てん財源の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
資本的収入		1,983,854,595	11.02%	1,786,951,480
企業債		1,083,100,000	23.68%	875,700,000
国庫補助金		503,727,000	9.20%	461,301,085
受益者負担金		77,853,595	△28.45%	108,812,970
工事負担金		9,129,000	△55.33%	20,437,000
他会計補助金		309,045,000	△1.46%	313,627,000
固定資産売却代金		-	皆減	7,073,425
その他資本的収入		1,000,000	皆増	-
資本的支出		5,053,541,425	2.72%	4,919,701,213
建設改良費		1,652,617,955	6.62%	1,549,965,608
企業債償還金		3,399,792,773	0.89%	3,369,735,605
補助金返還金		1,130,697	皆増	-
収支差引額		△3,069,686,830	2.01%	△3,132,749,733
資本的収入のうち翌年度繰越充当額		△251,313,000	△414.92%	△48,806,000
実質収支差引額		△3,320,999,830	△4.38%	△3,181,555,733

(税込・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
補てん財源		3,320,999,830	4.38%	3,181,555,733
消費税資本的収支調整額		79,104,531	10.02%	71,901,877
繰越工事資金		48,806,000	365.71%	10,480,000
損益勘定留保資金		1,885,177,940	△7.09%	2,029,001,023
利益剰余金処分額		1,307,911,359	22.21%	1,070,172,833
減債積立金		1,307,911,359	22.21%	1,070,172,833
補てん不足額		-	——	-



## (3) 財務諸表の推移

## ア 比較損益計算書

(単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
営業収益		2,624,215,437	0.91%	2,600,499,356
下水道使用料		2,460,388,037	0.23%	2,454,724,286
他会計補助金		163,150,000	12.19%	145,419,000
その他営業収益		677,400	90.24%	356,070
営業費用		4,010,528,887	2.08%	3,928,662,927
管渠費		84,179,647	9.71%	76,730,607
ポンプ場費		15,224,136	6.53%	14,291,590
処理場費		769,918,215	20.66%	638,093,101
水質規制費		2,635,800	3.59%	2,544,500
普及促進費		1,801,604	0.25%	1,797,119
業務費		80,257,131	△2.93%	82,680,824
総係費		128,568,690	4.66%	122,848,833
減価償却費		2,787,940,671	△2.21%	2,850,980,837
資産減耗費		140,002,993	0.94%	138,695,516
営業利益・損失		△1,386,313,450	4.38%	△1,328,163,571
営業外収益		3,234,330,924	△1.76%	3,292,163,737
受取利息及び配当金		700,414	△6.91%	752,365
他会計補助金		2,064,472,000	△1.92%	2,104,878,000
長期前受金戻入		1,160,849,764	△2.11%	1,185,851,976
その他雑収益		8,308,746	1119.37%	681,396
営業外費用		589,659,607	△10.23%	656,824,581
支払利息及び企業債取扱諸費		585,927,084	△10.51%	654,723,038
その他雑支出		3,732,523	77.61%	2,101,543
経常利益・損失		1,258,357,867	△3.73%	1,307,175,585
特別利益		2,443,178	232.06%	735,774
その他特別利益		2,443,178	232.06%	735,774
当年度純利益・損失		1,260,801,045	△3.60%	1,307,911,359
その他未処分利益剰余金変動額		1,307,911,359	22.21%	1,070,172,833
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金		2,568,712,404	8.02%	2,378,084,192

イ 剰余金の推移

(単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
利益剰余金 (減債積立金)	前年度繰入額	1,307,911,359	22.21%	1,070,172,833
	当年度処分額	1,307,911,359	22.21%	1,070,172,833
	積立金合計	-	—	-
	前年度利益剰余金処分額	2,378,084,192	16.05%	2,049,147,403
	資本金への組み入れ	1,070,172,833	9.32%	978,974,570
	減債積立金	1,307,911,359	22.21%	1,070,172,833
	当年度純利益・損失	1,260,801,045	△3.60%	1,307,911,359
	前年度減債積立金からの組み入れ	1,307,911,359	22.21%	1,070,172,833
	当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金	2,568,712,404	8.02%	2,378,084,192
	資本剰余金の部	前年度処分額	-	—
当年度発生高		-	皆減	26,987,990
当年度処分額		-	—	-
当年度末残高		92,035,445	0.00%	92,035,445
前年度処分額		-	—	-
当年度発生高		35,750	皆増	-
当年度処分額		-	—	-
当年度末残高		1,716,458	2.13%	1,680,708
翌年度繰越資本剰余金		93,751,903	0.04%	93,716,153

ウ 比較貸借対照表

(単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
固定資産		77,448,698,507	△1.80%	78,866,152,126
有形固定資産		77,448,698,507	△1.80%	78,866,152,126
土地		3,623,686,253	0.00%	3,623,650,503
建物		4,124,021,040	△4.08%	4,299,533,992
構築物		63,456,770,270	△2.82%	65,295,569,847
機械及び装置		5,033,888,521	12.48%	4,475,217,206
車両運搬具		3,630,423	△25.19%	4,852,699
工具器具及び備品		10,479,695	12.92%	9,281,003
建設仮勘定		1,196,222,305	3.30%	1,158,046,876
投資その他の資産		0	—	0
破産更生債権		5,571,031	1.80%	5,472,794
貸倒引当金		△ 5,571,031	1.80%	△ 5,472,794
流動資産		3,726,773,468	△7.99%	4,050,478,906
現金及び預金		2,823,886,913	△13.70%	3,272,149,941
現金		31,000	△18.85%	38,200
預金		2,823,855,913	△13.70%	3,272,111,741
未収金		771,281,235	6.58%	723,658,965
営業未収金		241,815,330	3.67%	233,263,617
貸倒引当金		△ 1,711,437	△68.42%	△ 5,418,519
営業外未収金		18,346,730	△17.63%	22,273,100
その他の未収金		512,830,612	8.30%	473,540,767
前払金		131,605,320	140.73%	54,670,000
資産合計		81,175,471,975	△2.10%	82,916,631,032

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
固	定 負 債	27,432,522,844	△7.99%	29,815,720,054
	企 業 債	26,579,720,826	△7.89%	28,855,484,641
	建 設 改 良 等 企 業 債	26,579,720,826	△7.89%	28,855,484,641
	引 当 金	852,802,018	△11.19%	960,235,413
	修 繕 引 当 金	654,446,446	△14.73%	767,476,536
	退 職 給 付 引 当 金	198,355,572	2.90%	192,758,877
流	動 負 債	3,884,963,800	△7.08%	4,180,911,885
	企 業 債	3,359,770,376	△1.20%	3,400,699,334
	建 設 改 良 等 企 業 債	3,359,770,376	△1.20%	3,400,699,334
	未 払 金	510,848,441	△33.19%	764,673,147
	営 業 未 払 金	141,426,786	2.52%	137,949,561
	営 業 外 未 払 金	13,233,200	△28.21%	18,433,800
	そ の 他 未 払 金	356,188,455	△41.44%	608,289,786
	引 当 金	14,077,000	△4.39%	14,723,000
	賞 与 引 当 金	11,758,000	△4.80%	12,351,000
	法 定 福 利 費 引 当 金	2,319,000	△2.23%	2,372,000
	そ の 他 流 動 負 債	267,983	△67.18%	816,404
	仮 受 金	17,835	△15.72%	21,161
	預 り 金	250,148	△68.54%	795,243
繰	延 収 益	28,593,708,584	△1.12%	28,916,559,141
	長 期 前 受 金	54,782,349,086	0.76%	54,368,670,601
	収 益 化 累 計 額	△ 26,188,640,502	2.89%	△ 25,452,111,460
	負 債 合 計	59,911,195,228	△4.77%	62,913,191,080
資	本 金	18,601,812,440	6.10%	17,531,639,607
	自 己 資 本 金	18,601,812,440	6.10%	17,531,639,607
	引 継 資 本 金	6,769,667,323	0.00%	6,769,667,323
	組 入 資 本 金	11,832,145,117	9.94%	10,761,972,284
剰	余 金	2,662,464,307	7.71%	2,471,800,345
	資 本 剰 余 金	93,751,903	0.04%	93,716,153
	国 庫 補 助 金	92,035,445	0.00%	92,035,445
	受 贈 財 産 評 価 額	1,716,458	2.13%	1,680,708
	利 益 剰 余 金	2,568,712,404	8.02%	2,378,084,192
	当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金 ・ 未 処 理 欠 損 金	2,568,712,404	8.02%	2,378,084,192
	資 本 合 計	21,264,276,747	6.30%	20,003,439,952
	負 債 資 本 合 計	81,175,471,975	△2.10%	82,916,631,032

(注) 当年度未処分利益剰余金のうち、1,307,911,359円は補てん財源として使用済み。

エ 比較キャッシュ・フロー計算書

(単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
1 業務活動による キャッシュ・フロー	当年度純損益	1,260,801,045	△3.60%	1,307,911,359
	減価償却費	2,787,940,671	△2.21%	2,850,980,837
	長期前受金戻入額	△ 1,161,012,700	△2.10%	△ 1,185,963,198
	支払利息及び企業債取扱諸費	585,927,084	△10.51%	654,723,038
	受取利息及び配当金	△ 700,414	△6.91%	△ 752,365
	固定資産除却費	140,002,993	2.36%	136,769,516
	未収金の増減額	△ 4,625,343	△68.93%	△ 14,886,557
	未払金の増減額	△ 1,723,375	△97.69%	△ 74,656,005
	貸倒引当金の増減額	△ 3,608,845	110.37%	△ 1,715,472
	その他引当金の増減額	△ 108,079,395	△12.89%	△ 124,071,582
	破産更生債権の増減額	△ 98,237	△36.25%	△ 154,102
	その他流動負債の増減額	△ 548,421	△94.43%	△ 9,844,124
	小計	3,494,275,063	△1.25%	3,538,341,345
	支払利息及び企業債取扱諸費	△ 585,927,084	△10.51%	△ 654,723,038
	受取利息及び配当金	700,414	△6.91%	752,365
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,909,048,393	0.86%	2,884,370,672	
2 投資活動による キャッシュ・フロー	有形固定資産の取得による支出	△ 1,839,490,946	67.61%	△ 1,097,456,337
	有形固定資産の売却による収入	0	皆減	7,073,425
	他会計補助金等による収入	798,872,298	34.03%	596,023,883
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,040,618,648	110.50%	△ 494,359,029
3 財務活動による キャッシュ・フロー	企業債による収入	1,083,100,000	23.68%	875,700,000
	企業債の償還による支出	△ 3,399,792,773	0.89%	△ 3,369,735,605
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,316,692,773	△7.11%	△ 2,494,035,605
資金増減額	△ 448,263,028	△330.92%	△ 104,023,962	
資金期首残高	3,272,149,941	△3.08%	3,376,173,903	
資金期末残高	2,823,886,913	△13.70%	3,272,149,941	

## (4) 費用構成の推移

(税抜・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度		
		構成比	対前年度比	構成比	対前年度比	
費用合計		4,600,188,494	100.00%	0.32%	4,585,487,508	100.00%
維持管理費①		1,226,320,739	26.66%	13.57%	1,079,783,633	23.38%
職員給与費		102,776,347	2.23%	3.58%	99,222,413	1.88%
動力費		268,000,346	5.83%	46.75%	182,618,315	3.72%
光熱水費		1,201,212	0.03%	19.62%	1,004,209	0.02%
通信運搬費		4,171,732	0.09%	△3.76%	4,334,926	0.08%
修繕費		197,529	0.01%	△92.49%	2,628,889	4.00%
材料費		3,412,737	0.07%	△0.17%	3,418,482	0.05%
薬品費		66,685,000	1.45%	16.80%	57,093,000	1.14%
委託料		544,812,389	11.84%	8.44%	502,404,385	9.79%
その他		235,063,447	5.11%	3.53%	227,059,014	2.70%
資本費②		3,373,867,755	73.34%	△3.76%	3,505,703,875	76.62%
支払利息		585,927,084	12.74%	△10.51%	654,723,038	15.70%
減価償却費		2,787,940,671	60.60%	△2.21%	2,850,980,837	60.92%
公費負担分		3,023,211,714	65.72%	△2.26%	3,093,145,760	66.59%
維持管理費①'		19,389,000	0.42%	13.55%	17,076,000	0.30%
資本費②'		3,003,822,714	65.30%	△2.35%	3,076,069,760	66.29%
使用料対象経費③		1,576,976,780	34.28%	5.67%	1,492,341,748	33.41%
維持管理費①-①'		1,206,931,739	26.24%	13.57%	1,062,707,633	23.08%
資本費②-②'		370,045,041	8.04%	△13.87%	429,634,115	10.33%

(税抜・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度	
		対前年度比	対前年度比	対前年度比	対前年度比
年間有収水量 (m <sup>3</sup> ) ④		13,008,531	△0.09%		13,019,826
汚水処理原価 (円/m <sup>3</sup> ) ③/④		121.23	5.76%		114.62
維持管理分		92.78	13.67%		81.62
資本費分		28.45	△13.80%		33.00
使用料収入 (円) ⑤		2,460,388,037	0.23%		2,454,724,286
使用料単価 (円/m <sup>3</sup> ) ⑤/④		189.14	0.32%		188.54

## (5) 固定資産の推移

### ア 有形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	令和4年度	令和3年度	
		対前年度比		
土地		3,623,686,253	0.00%	3,623,650,503
施設用地		3,623,686,253	0.00%	3,623,650,503
建物		4,124,021,040	△4.08%	4,299,533,992
施設用建物		4,123,626,286	△4.08%	4,299,139,238
その他建物		394,754	0.00%	394,754
構築物		63,456,770,270	△2.82%	65,295,569,847
排水設備		59,071,631,467	△2.72%	60,720,386,567
処理設備		4,057,509,087	△4.17%	4,234,230,717
その他構築物		327,629,716	△3.91%	340,952,563
機械及び装置		5,033,888,521	12.48%	4,475,217,206
電気設備		2,886,002,424	38.56%	2,082,838,398
内燃設備		21,935,464	△2.42%	22,479,348
ポンプ設備		761,395,739	△3.24%	786,929,651
滅菌設備		18,196,903	△0.91%	18,364,184
その他機械装置		1,346,357,991	△13.95%	1,564,605,625
車両運搬具		3,630,423	△25.19%	4,852,699
工具器具及び備品		10,479,695	12.92%	9,281,003
建設仮勘定		1,196,222,305	3.30%	1,158,046,876

(注) 金額は減価償却累計額を減じた純額で掲載している。

## (6) 企業債残高の推移

### ア 借入先別内訳

(単位:円)

借入先		令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
財政 資金	借入額	1,083,100,000	23.68%	875,700,000
	返済額	1,191,865,501	2.77%	1,159,779,226
	年度末未償還残高	14,359,842,584	△0.75%	14,468,608,085
地方 金融 機構	借入額	-	-	-
	返済額	1,193,603,824	△2.04%	1,218,460,427
	年度末未償還残高	7,697,061,085	△13.43%	8,890,664,909
簡易 生命 保険 資金	借入額	-	-	-
	返済額	1,014,323,448	2.30%	991,495,952
	年度末未償還残高	7,882,587,533	△11.40%	8,896,910,981
合計	借入額	1,083,100,000	23.68%	875,700,000
	返済額	3,399,792,773	0.89%	3,369,735,605
	年度末未償還残高	29,939,491,202	△7.18%	32,256,183,975

### イ 利率別年度末残高

(単位:円)

利率		令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
1.0%未満		2,540,897,276	△3.07%	2,621,452,801
1.0%以上2.0%未満		12,346,521,843	△0.68%	12,431,634,426
2.0%以上3.0%未満		13,879,674,707	△10.02%	15,425,986,889
3.0%以上4.0%未満		980,726,181	△30.94%	1,420,009,474
4.0%以上5.0%未満		191,671,195	△46.33%	357,100,385

## (7) 繰入金の推移

(単位:円)

項目		令和4年度		令和3年度	
			対前年度比		
損益勘定 繰入金	営業収益	163,150,000	12.19%	145,419,000	
	基準内繰入金	163,150,000	12.19%	145,419,000	
	基準外繰入金	-	-	-	
資本勘定 繰入金	営業外収益	2,064,472,000	△1.92%	2,104,878,000	
	基準内繰入金	2,064,465,000	△1.92%	2,104,865,000	
	基準外繰入金	7,000	△46.15%	13,000	
計		2,227,622,000	△1.01%	2,250,297,000	
		基準内繰入金	2,227,615,000	△1.01%	2,250,284,000
		基準外繰入金	7,000	△46.15%	13,000
資本勘定繰入金		309,045,000	△1.46%	313,627,000	
		基準内繰入金	307,651,000	△1.33%	311,791,000
		基準外繰入金	1,394,000	△24.07%	1,836,000
合計		2,536,667,000	△1.06%	2,563,924,000	
		基準内繰入金	2,535,266,000	△1.05%	2,562,075,000
		基準外繰入金	1,401,000	△24.23%	1,849,000



## (8) 経営分析

### ア 労働の生産性

項目		令和4年度		令和3年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
平均給与 (千円)	上田市	7,341	↑ 726	6,615	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの職員給与費を示す。高すぎても低すぎてもよくない。
	全国平均			7,311		
労働生産性 (千円)	上田市	187,444	↑ 14,077	173,367	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの営業収益を示す。高いほどよい。
	全国平均			116,063		
労働分配率 (%)	上田市	3.92	↑ 0.10	3.82	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうち、職員に分配される割合を示す。高すぎても低すぎてもよくない。
	全国平均			6.30		
職員1人あたり有収水量 (m <sup>3</sup> /人)	上田市	929,181	↑ 61,193	867,988	$\frac{\text{有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	効率的な経営がされているかを示す。高いほどよい。
	全国平均			615,717		

### イ 施設の効率性

項目		令和4年度		令和3年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
施設利用率 (%)	上田市	52.78	↓ 2.94	55.72	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{処理能力}} \times 100$	施設の能力のうち、実際に利用されている割合を示す。高いほどよい。
	全国平均			62.05		
負荷率 (%)	上田市	67.79	↑ 23.23	44.56	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{1日最大処理水量}} \times 100$	高いほどよい。なお、この値が低いとピーク時以外に利用しない容量が生じ、非効率となる。
	全国平均			72.98		
最大稼働率 (%)	上田市	77.86	↓ 47.17	125.03	$\frac{\text{1日最大処理水量}}{\text{処理能力}} \times 100$	高いほどよい。ただし、100%に近い場合は施設能力が限界に近いことを示す。
	全国平均			85.03		
有収率 (%)	上田市	85.58	↑ 4.44	81.14	$\frac{\text{有収水量}}{\text{年間処理水量}} \times 100$	処理水量のうち、どの程度、実際に使用料収入に結びついたかを示す。高いほどよい。
	全国平均			73.15		
管渠使用効率 (m <sup>3</sup> /m)	上田市	16.19	↓ 0.89	17.08	$\frac{\text{年間処理水量}}{\text{管渠総延長}}$	管1mあたり、どの程度の汚水が流れたかを示す。高いほどよい。
	全国平均			31.60		

ウ 経営資本の効率性及び財政状態の健全性

項目		令和4年度		令和3年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
経営資本 営業利益率 (%)	上田市	△1.71	↓0.09	△1.62	$\frac{\text{営業利益}}{\text{平均経営資本}} \times 100$	投下した経営資本と営業利益との関係を示す。高いほどよい。
	全国平均			△3.14		
営業収益 営業利益率 (%)	上田市	△52.83	↓1.76	△51.07	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうち、営業利益になった割合を示す。高いほどよい。
	全国平均			△39.06		
経営資本 回転率 (回)	上田市	0.03	0.00	0.03	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均経営資本}}$	投下した経営資本と営業収益との関係を示す。高いほどよい。
	全国平均			0.08		
経常収支比率 (%)	上田市	127.35	↓1.16	128.51	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	経常的な収支の関係を示す。高いほどよい。100%以上なら経常利益が出ている。
	全国平均			106.93		
使用料単価 (円/㎡)	上田市	189.14	↑0.60	188.54	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{有収水量}}$	使用料対象水量1㎡当たりの使用料を示す。高いほど使用料水準が高い。
	全国平均			134.61		
汚水処理原価 (円/㎡)	上田市	121.23	↑6.61	114.62	$\frac{\text{汚水処理費用}}{\text{有収水量}}$	使用料対象水量1㎡当たりの処理費用を示す。高いほど使用料水準を高くする必要がある。
	全国平均			135.16		
企業債 元利償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	162.00	↓1.95	163.95	$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	企業債発行額が事業規模に対して適正かどうかを示す。低いほどよい。
	全国平均			112.82		
企業債 元償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	138.18	↑0.90	137.28	$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	使用料収入のうち、企業債返済に充てられる割合を示す。低いほどよい。
	全国平均			94.94		
企業債利息対 料金収入比率 (%)	上田市	23.81	↓2.86	26.67	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	使用料収入のうち、企業債利息に充てられる割合を示す。低いほどよい。
	全国平均			17.88		
減価償却率 (%)	上田市	3.70	↓0.01	3.71	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{減価償却対象資産}} \times 100$	償却資産に投資した資金の回収速度を示す。高いほどよい。
	全国平均			3.79		

(注) 平均経営資本={総資産-(建設仮勘定+投資その他の資産+繰延収益)}の前年度末当年度末平均

(注) 減価償却費対象資産=有形固定資産+無形固定資産-(土地+建設仮勘定)+減価償却費

項目		令和4年度		令和3年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
固定資産 構成比率 (%)	上田市	95.41	↑0.30	95.11	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$	資産合計に対する固定資産の割合を示す。低いほどよい。
	全国平均			96.98		
自己資本 構成比率 (%)	上田市	61.42	↑2.42	59.00	$\frac{\text{資本+繰延収益}}{\text{総資本}} \times 100$	企業の自己資本調達度を示す。高いほどよい。
	全国平均			62.54		
固定比率 (%)	上田市	155.34	↓5.87	161.21	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本+繰延収益}} \times 100$	自己資本で固定資産をどの程度賄っているかを示す。低いほどよい。
	全国平均			404.85		
固定負債 構成比率 (%)	上田市	33.79	↓2.17	35.96	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本に対する固定負債の割合を示す。低いほどよい。
	全国平均			33.14		
固定資産 長期資本比率 (%)	上田市	100.20	↑0.03	100.17	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本+固定負債+繰延収益}} \times 100$	固定資産への投資の健全性を示す。低いほどよい。
	全国平均			169.86		
流動比率 (%)	上田市	95.93	↓0.95	96.88	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	企業の短期的な支払能力を示す。高いほどよい。
	全国平均			69.80		
酸性試験比率 (当座比率) (%)	上田市	92.54	↓3.03	95.57	$\frac{\text{現金預金+(未収金-貸倒引当金)}}{\text{流動負債}} \times 100$	流動比率よりもさらに即時的な支払能力を示す。高いほどよい。
	全国平均			64.48		

\* 全国平均は、法適用(財務適用を含む)の公共下水道事業及び特定環境保全公共下水道事業の平均である。

\* 出典:地方公営企業年鑑

### 3 業務の状況

#### (1) 業務量

年度		令和4年度		令和3年度	
			対前年度比		
A	行政区域内人口 (人)	152,986	△0.74%	154,134	
B	対象区域内人口 (人)	124,662	△0.33%	125,077	
C	整備済人口 (人)	124,216	△0.33%	124,633	
D	処理区域内人口 (人)	124,216	△0.33%	124,633	
E	水洗化人口 (人)	118,464	△0.02%	118,484	
C/A	整備率 (対行政区域内) (%)	81.19	/	80.86	
C/B		(対対象区域内) (%)		99.64	99.65
D/A	普及率 (対行政区域内) (%)	81.19	/	80.86	
D/B		(対対象区域内) (%)		99.64	99.65
E/A	水洗化率 (対行政区域内) (%)	77.43	/	76.87	
E/B		(対対象区域内) (%)		95.03	94.73
E/D		(対処理区域内) (%)		95.37	95.07
F	処理区域内戸数 (戸)	57,373	2.76%	55,832	
G	水洗化戸数 (戸)	53,748	3.19%	52,084	
G/F	水洗化率 (%)	93.68	/	93.29	
	整備面積 (ha)	4,355.77	0.00%	4,355.77	
	処理可能面積 (ha)	4,355.77	0.00%	4,355.77	
	使用料調定件数 (件)	332,156	0.88%	329,251	
H	年間処理水量 (m <sup>3</sup> )	15,200,317	△5.27%	16,045,292	
I	年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	13,008,531	△0.09%	13,019,826	
I/H	有収率 (%)	85.58	/	81.14	

## (2) 水洗化人口の推移

(単位:人)

事業・処理区	年度	令和4年度		令和3年度	
		水洗化率	対前年度比		
上田公共下水道事業		94,958	95.73%	0.51%	94,476
上田処理区		50,205	97.87%	0.02%	50,194
南部処理区		27,246	95.15%	0.68%	27,061
別所温泉処理区		1,123	91.67%	△2.01%	1,146
中塩田処理区		8,413	88.93%	2.47%	8,210
神川東処理区		7,971	92.95%	1.35%	7,865
丸子公共下水道事業		18,716	93.36%	△2.51%	19,198
丸子処理区(丸子分区)		12,161	93.61%	△2.20%	12,434
西内処理区		821	96.25%	△2.03%	838
丸子処理区(依田分区)		4,573	91.24%	△3.30%	4,729
藤原田処理区		295	100.00%	△4.22%	308
東内処理区		866	96.54%	△2.59%	889
真田公共下水道事業		4,791	96.32%	△0.40%	4,810
菅平処理区		621	96.73%	△2.97%	640
真田処理区		4,170	96.26%	0.00%	4,170
計		118,465	95.37%	△0.02%	118,484

## (3) 処理可能面積の推移

(単位:ha)

事業・処理区	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
上田公共下水道事業		3,217.31	0.00%	3,217.31
上田処理区		1,778.11	0.00%	1,778.11
南部処理区		784.31	0.00%	784.31
別所温泉処理区		68.10	0.00%	68.10
中塩田処理区		330.26	0.00%	330.26
神川東処理区		256.53	0.00%	256.53
丸子公共下水道事業		812.46	0.00%	812.46
丸子処理区(丸子分区)		504.85	0.00%	504.85
西内処理区		85.00	0.00%	85.00
丸子処理区(依田分区)		181.51	0.00%	181.51
藤原田処理区		10.00	0.00%	10.00
東内処理区		31.10	0.00%	31.10
真田公共下水道事業		326.00	0.00%	326.00
菅平処理区		172.00	0.00%	172.00
真田処理区		154.00	0.00%	154.00
計		4,355.77	0.00%	4,355.77

#### (4) 受益者負担金・分担金の額

(1㎡あたり・単位:円)

区分・処理区	期間
	平成18年3月6日～
上田地域	560
丸子地域	810

#### (5) 収納状況の推移

##### ア 下水道使用料

(税込・単位:円)

年度	調定額	収入額	収入未済額	現年収納率		不納欠損額
				対前年度比		
令和3年度	2,700,196,702	2,688,712,765	11,483,937	99.57%	0.13	1,830,014
令和4年度	2,706,426,830	2,693,603,880	12,822,950	99.53%	△ 0.04	2,208,883

(注) それぞれ、翌年度5月末日時点の数値である。

##### イ 受益者負担金

(税込・単位:円)

年度	調定額	収入額	収入未済額	現年収納率		不納欠損額
				対前年度比		
令和3年度	108,067,640	107,413,390	654,250	99.39%	△ 0.23	2,455,310
令和4年度	78,950,590	78,333,690	616,900	99.22%	△ 0.17	1,537,030

(注) それぞれ、5月末日時点の数値である。

#### (6) 下水道使用料の納付方法(1期当たり平均)

(単位:件)

納付方法	年度	令和4年度		令和3年度		
		構成比	対前年度比	構成比		
口座振替		26,563	80.49%	0.02%	26,559	81.05%
直接納付		6,440	19.51%	3.70%	6,210	18.95%
	コンビニエンスストア	5,357	16.23%	5.29%	5,088	15.53%
	その他	1,083	3.28%	△3.48%	1,122	3.42%
合計		33,003	100.00%	0.71%	32,769	100.00%

(7) 下水道排水設備設置資金融資利子補給制度(平成28年4月1日一部改正)

ア 制度の概要

融資限度額	1件当たり100万円	利率は融資機関の定めた利率
償還方法	元金均等又は元利均等によるほか、融資機関の定める方法	
利子補給期間	5年以内	
利子補給率	年1.9パーセント以内	
利子補給要件	① 既存建築物に排水設備を新設する資金であること ② 建築物の所有者又は所有者の同意を得た占有者であること ③ 市税、受益者負担金・分担金、加入金、上下水道料金等の滞納がないこと	

イ 融資利用状況

年度	確認申請戸数	融資利用戸数	利用率	利子補給件数	融資金額	利子補給額
	(戸)	(戸)	(%)	(件)	(千円)	(千円)
平成18年度	2,263	3	0.13	37	2,600	217
19年度	2,103	3	0.14	30	3,000	168
20年度	1,868	2	0.11	27	1,526	142
21年度	1,388	1	0.07	19	1,000	98
22年度	1,180	0	0.00	10	—	50
23年度	1,414	0	0.00	7	—	23
24年度	1,043	2	0.19	5	1,270	13
25年度	1,054	0	0.00	3	—	26
26年度	1,050	1	0.10	3	640	18
27年度	1,022	0	0.00	3	—	22
28年度	962	2	0.21	4	1,460	21
29年度	912	0	0.00	5	—	27
30年度	909	0	0.00	6	—	23
令和元年度	867	0	0.00	3	—	15
2年度	904	0	0.00	1	—	10
3年度	813	0	0.00	0	—	0
4年度	831	0	0.00	0	—	0

(注)平成20年度は地方公営企業法を適用した特環真田、菅平処理区の数値を含む。

ウ 制度の変遷

年度	融資限度額	約定利率	本人利率	市負担率	利子補給期間	備考	
平成18年度	100万円	各金融機関 取決めによる		1.9%以内	5年以内		
令和元年度							
2年度							
3年度							
4年度	↓					↓	↓

## 4 施設の状況

### (1) 処理場の状況

#### ア 上田終末処理場

処 理 区	上田処理区/神川東処理区
位 置	上田市秋和29番地
敷 地 面 積	約53,600m <sup>2</sup>
処 理 方 式	標準活性汚泥法
供 用 開 始	昭和47年7月1日
放 流 先	千曲川
計 画 処 理 水 量	

	全体計画	事業認可
日 平 均	24,600m <sup>3</sup> /日	25,100m <sup>3</sup> /日
日 最 大	28,200m <sup>3</sup> /日	28,700m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	73,820人	75,930人

(注)計画処理人口には、観光人口を含む。

BOD:270mg/L・SS:210mg/L

BOD:15mg/L・SS:30mg/L

計画流入水質  
計画放流水質  
主要施設

施設名称	形式及び能力
管理棟	1階 RC造 事務所、宿直室、電気室、更衣室 延べ面積: 706.6m <sup>2</sup> 2階 RC造 水質検査室、会議室、更衣室
沈砂棟	鉄骨造平屋建 延べ面積: 412.29m <sup>2</sup> 沈砂池 平行流重力式 長8.0m×幅1.0m×深さ0.75m 2池 長8.0m×幅1.6m×深さ0.75m 1池
汚水ポンプ室	立軸渦巻斜流ポンプ φ300×5.5m×10.0m <sup>3</sup> ×15kW 1台 φ400×5.5m×20.0m <sup>3</sup> ×30kW 1台 φ300×5.0m×11.0m <sup>3</sup> ×15kW 1台 φ400×5.0m×22.0m <sup>3</sup> ×30kW 1台
1系流量計	1系流入流量計 超音波式流量計 伝播時間差式 φ900 1基 1系放流流量計 超音波式流量計 伝播時間差式 φ1000 1基
最初沈殿池	平行流長方形 RC造 長30.0m×幅10.0m×深さ2.8m×3池 3系列
反応タンク	散気式旋回流方式 RC造 長35.0m×幅6.0m×深さ5.0m×2池 5系列
最終沈殿池	平行流長方形 RC造 長28.0m×幅4.0m×深さ3.5m×2池 1系列 長28.0m×幅4.1m×深さ3.0m×2池 2系列
塩素滅菌室	塩素注入機 2kg/h 2台
送風機	多段式ターボブロワ φ300×70m <sup>3</sup> /min×5,800mmHg×130kW 2台 多段式ターボブロワ(インレットペーン) φ300×80m <sup>3</sup> /min×56.8kPa×130kW 1台
脱臭機	活性炭吸着方式 299m <sup>3</sup> /min 1台 脱臭ファン 270m <sup>3</sup> /min×2.4kPa×18.5kW 1台 生物脱臭方式 角形充填塔式 29m <sup>3</sup> /min 1台 脱臭ファン 29m <sup>3</sup> /min×3.5kPa×5.5kW 1台
砂ろ過器	移床式連続砂ろ過器 5.0m <sup>2</sup> 1,000m <sup>3</sup> /日 2台
スカム処理室	スカム分離機 回転ドラムスクリーン φ800×長28.0m 1台
汚泥ポンプ室	返送汚泥ポンプ φ200×6.3m <sup>3</sup> /min×14m×30kW 2台 余剰汚泥ポンプ φ80×0.7m <sup>3</sup> /min×16m×7.5kW 2台
汚泥貯留槽	内径7.0m×深4.0m・容量308m <sup>3</sup>
機械濃縮棟	RC造 延べ面積: 80.60m <sup>2</sup> 2基

汚泥処理施設

施設名称	形式及び能力
汚泥処理棟	RC造 延べ面積: 706.6㎡
新汚泥処理棟	RC造 地下1階 地上3階 延べ床面積: 2,345.44㎡ 常圧浮上濃縮装置 浮上面積 7.2㎡ φ 3.2×3.9mH 9.2kW 2基 浮上面積 4.8㎡ φ 2.8×3.9mH 9.2kW 1基 遠心脱水機 5㎡/時 15kW 3基 活性炭吸着方式 44㎡/min 1台 脱臭ファン 44㎡/min×2.0kPa×5.5kW 1台 生物脱臭方式 角形充填塔式 44㎡/min 1台 監視制御施設 第1系列、第2系列 受変電施設 第1系列、第2系列
消化タンク棟	RC造 地上4階 地下1階 延べ面積: 1,019㎡ 温水器150,000kcal/min 熱交換器124,400kcal/min 各1基 消化汚泥引抜きポンプ φ 100×1.0㎡/min×20m×7.5kW 2台 濃縮汚泥移送リレーポンプ φ 80×11㎡/min×30m×3.7kW 2台 汚泥循環ポンプ φ 100×1.0㎡/min×25m×11kW 2台 消化槽:動力制御盤 コントロールセンタ 補助リレー盤 一式 脱硫装置:動力制御盤 監視制御装置 一式
消化タンク	PC造 2,400㎡ φ 16m H=26.5m 1基 スクリュー式攪拌機 11kW 1台 ドラフトチューブ φ 500×13.5m 1台
脱硫棟	鉄骨造 平屋 延べ面積: 172㎡ 高機能脱硫装置 85N㎡/h×0.9MPa×91kW 1基 消化ガス圧縮機 85N㎡/h×0.9MPa×45kW(VVVF) 2基 高圧水給水ポンプ 35㎡/h×140m×22kW(VVVF) 2基 受水槽 FRP10㎡ 1基 生物脱臭方式 角形充填塔式 2.8㎡/min 1基 余剰ガス燃焼装置 φ 1.7m H=10m 170N㎡/h 1基
ガスホルダ	横型円筒形ガスホルダ φ 3.0m L=9.5m 0.97MPa 容量85㎡ 1基
バイオガス充填機	第2種製造 72N㎡/日 19.6MPa 1基
トイレ棟	男子(小便器1基、洋式便器1基)女子(洋式便器1基) 手洗器各1台 延べ面積: 15.7㎡
焼却棟	鉄骨造 延べ面積: 731.21㎡ 流動床式汚泥焼却炉 能力25t/日 1基 空気予熱器 60.4㎡×1,520MJ/h×650℃ 1基 白煙防止予熱器 60.7㎡×1,063MJ/h×300℃ 1基 サイクロン φ 565mm×高5,175mm 5,400㎡/h 1基 電気集塵機 乾式上向流式 6,100㎡ 55kW 1基
電気棟	RC造 地下1階 地上2階 延べ面積: 707.72㎡



第2系列水処理施設

施設名称	形式及び能力
水処理棟	RC造 地上2階 延べ面積: 1,681.5m <sup>2</sup> 送風機室、脱臭機室、換気機械室、電気室、スカム処理室、砂ろ過機室、塩素注入室
流量計	流入流量計 超音波式流量計 伝播時間差式 φ 600 1基 放流流量計 電磁式流量計 潜水式 φ 400 1基
最初沈殿池	平行流長方形 長18.0m×幅3.5m×深さ3.0m×2池 1/2列
反応タンク	散気式全面曝気方式、水中攪拌式曝気方式 長53.1m×幅7.5m×深さ5.5m×1池 1/2列
最終沈殿池	平行流長方形 長45.0m×幅3.5m×深さ3.5m×2池 1/2列
送風機	ルーツ式ブロワ φ 200×47 m <sup>3</sup> /min×72.5kPa×55kW 2台
脱臭機	活性炭吸着方式 60 m <sup>3</sup> /min 1/2台 脱臭ファン 60 m <sup>3</sup> /min×2.1kPa×3.7kW 1/2台
スカム分離機	スカム分離機 脱水機構付ドラムスクリーン φ 780×長3.5m×2.4 m <sup>3</sup> /min×3.7kW 1台
消毒設備	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ φ 25×0.1~0.55L/min×0.4kW 2台
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ 150×2.2 m <sup>3</sup> /min×4m×3.7kW 2台 余剰汚泥ポンプ φ 100×0.7 m <sup>3</sup> /min×4m×2.2kW 2台
電気計装設備	変電設備 6kV 一式 運転操作設備 コントロールセンタ、補助継電器盤、プログラマブルコントローラ、動力制御盤、インバータ式可変速制御装置 一式 計装設備 一式

イ 南部終末処理場

処 理 区 南部処理区/中塩田処理区  
 位 置 上田市下之条1155-15  
 敷 地 面 積 約40,000㎡  
 処 理 方 式 標準活性汚泥法  
 供 用 開 始 年 月 平成11年12月1日  
 放 流 先 鯉座川  
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可
日 平 均	10,900m <sup>3</sup> /日	11,200m <sup>3</sup> /日
日 最 大	12,500m <sup>3</sup> /日	12,900m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	37,540人	38,880人

(注)計画処理人口には、観光人口を含む。

計画流入水質  
 計画放流水質  
 主要施設

BOD:260mg/L・SS:210mg/L  
 BOD:15mg/L・SS:30mg/L

施設名称	形式及び能力
管理棟	1階 事務室、作業員控室、宿直室、理化学実験室、自家発電機室 2階 会議室、電気室、管理制御室 延べ面積: 1,763.1㎡ 自家発電機 単純開放サイクル1軸式ガスタービン 581PS 交流発電機 500kVA、6,600V 1台
沈殿池	平行重力式 長6.0m×幅2.0m×深2.0m 1池
水中ポンプ	水中ベレードレスポンプ φ200mm×3.7m <sup>3</sup> /min×13m×15kW 2台 φ250mm×7.4m <sup>3</sup> /min×13m×37kW 3台
流量計	電磁流量計 φ300mm 1基
最初沈殿池	平行流式長方形沈殿池 長14.9m×幅5.1m×深3.0m 6池
反応タンク	水中攪拌式曝気方式 長43.9m×幅10.6m×深5.5m 2池 散気式全面曝気方式、水中攪拌式曝気方式 長43.9m×幅10.6m×深5.5m 1池
最終沈殿池	平行流式長方形沈殿池 長39.9m×幅5.1m×深3.5m 6池
塩素混和池	次亜塩素酸ソーダ流入ポンプ 0.04~0.2L/min 2台 0.02~0.4L/min 2台
送風機	ルーツ式ブローア φ150mm×25m <sup>3</sup> /分×60.8kPa×55kW 4台
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ150mm×2.6m <sup>3</sup> /min×6.5m×7.5kW 2台 φ150mm×2.5m <sup>3</sup> /min×6.5m×5.5kW 2台 余剰汚泥ポンプ φ100mm×0.7m <sup>3</sup> /min×13m×7.5kW 4台 初沈生汚泥ポンプ φ100mm×0.6m <sup>3</sup> /min×15m×7.5kW 4台
重力濃縮機	直径6.7m×深3.6m・容量 127m <sup>3</sup> 2台
汚泥処理棟	造粒濃縮機 延べ面積: 2,077.4㎡ 360kgDS/h II型 1.5kW 1台 汚泥脱水機 ベルトプレス ろ布幅2.0m 1台 汚泥脱水機 圧入式スクリーンプレス φ800 290 kgDS/h 1台

ウ 丸子浄化センター

処 理 区 丸子処理区(丸子分区・依田分区)  
 位 置 上田市生田2600  
 敷 地 面 積 約30,000㎡  
 処 理 方 式 オキシデーションディッチ法  
 供 用 開 始 平成11年3月27日  
 放 流 先 依田川  
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可
日 平 均	8,600m <sup>3</sup> /日	7,600m <sup>3</sup> /日
日 最 大	9,900m <sup>3</sup> /日	8,800m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	19,460人	20,130人

計画流入水質  
 計画放流水質  
 主要施設

BOD:260mg/L・SS:190mg/L  
 BOD:15mg/L・SS:30mg/L

施設名称	形式及び能力
管理棟	地上2階建 RC造 延べ床面積: 421.86㎡ 1階 会議室、水質試験室、倉庫 2階 事務室、集中監視室
沈砂池ポンプ棟	地上2階地下2階 延べ床面積: 773.56㎡ 水中汚水ポンプ φ150mm×2.5m <sup>3</sup> ×21m×15kW 2台 φ250mm×5.0m <sup>3</sup> ×21m×30kW 2台 揚砂ポンプ φ100mm×0.3m <sup>3</sup> ×27m×22kW 1台 破碎機 立軸ドラム回転式 1.5kW 1台 スクリーンユニット 1,200×3,750×1,300mm 1.54kW 1台 活性炭吸着塔 立形3層式 16m <sup>3</sup> /min 1台
反応タンク	オキシデーションディッチ RC造 43.6m×23.55m×5.15m 実長150.2m×幅5.5m×深3.0m 4池
最終沈殿池	RC造 直径 20.8m×深さ 4.75m 4池 掻寄機 中央駆動支柱形 φ20.0m×水深3.5m×0.4kW 4台
塩素混和池	地上1階地下1階 RC造 延べ床面積: 69.68㎡ φ1,600mm、H=2,000mm 最大貯留容量6.3m <sup>3</sup> 2基
曝気装置	縦軸型 機械式 φ2300×22kW 酸素供給能力28.8kgO <sub>2</sub> /kWh以上×22kW 2基 酸素供給能力32.2kgO <sub>2</sub> /kWh以上×22kW 4基 酸素供給能力47.2kgO <sub>2</sub> /kWh以上×30kW 2基
汚泥棟	地上3階 地下1階 RC造 延べ床面積: 1,395.16㎡ 脱水機 多重円盤型スクリーブレス(5軸) 2.0kW 2台 ケーキホッパ 角形電動開閉式 12m <sup>3</sup> 1台 活性炭吸着塔 立形3層式 10m <sup>3</sup> /min 1基
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ100×1.7m <sup>3</sup> /min×9m×3.7kW 6台 返送汚泥ポンプ φ100×3.4m <sup>3</sup> /min×8.5m×11kW 1台 余剰汚泥ポンプ φ80×0.6m <sup>3</sup> /min×13m×3.7kW 3台 φ80×0.6m <sup>3</sup> /min×15m×5.5kW 2台

エ 別所温泉終末処理場

処 理 区 別所温泉処理区  
 位 置 上田市別所温泉字山王田9-1  
 敷 地 面 積 約9,940㎡  
 処 理 方 式 オキシデーションディッチ法  
 供 用 開 始 平成7年12月1日  
 放 流 先 湯川  
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可
日 平 均	910m <sup>3</sup> /日	920m <sup>3</sup> /日
日 最 大	1,100m <sup>3</sup> /日	1,200m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	4,700人	4,750人

(注) 計画処理人口には、観光人口を含む。

計画流入水質  
 計画放流水質  
 主要施設

BOD:160mg/L・SS:110mg/L  
 BOD:15mg/L・SS:30mg/L

施設名称	形式及び能力
管理棟	地上2階建 RC造 延べ床面積: 512.76㎡ 1階 会議室、水質試験室 2階 電気室、倉庫
反応タンク	オキシデーションディッチ RC造 長130.6m×幅4.0m×深2.5m 2池
最終沈殿池	RC造 直径14.0m×深さ3.5m 2池 掻寄機 中央駆動式懸垂形 φ14m×水深3.5m×0.4kW 2台
塩素接触タンク	RC造 長19.5m×幅1.0m×深1.25m 塩素接触装置 導入水溶解型 0.75kg/時 1池
曝気装置	スクリー形曝気機 酸素供給能力6.3kgO <sub>2</sub> /kWh以上×4.5kW 12台
汚泥分配槽	鋼板製分配槽 約1.0W×3.0L×1.5H 1槽
機械棟	地上1階 地下1階 RC造 延べ床面積: 702.94㎡ 造粒濃縮装置 ベストユニット 処理量0.1tDS/時 7.75kW 1基 脱水機 ベルトプレス ろ布幅1.0m 2.25kW 1台 ケーキホッパ 鋼板製角型電動カットゲージ式 6m <sup>3</sup> 1基 活性炭吸着塔 立型充填塔(カートリッジ) 20m <sup>3</sup> /min 1基
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ150×1.3m <sup>3</sup> /min×9m×5.5kW 3台 余剰汚泥ポンプ φ125×8.3~25m <sup>3</sup> /時×10mH×11kW 2台
砂ろ過器	移床式上向流連続砂ろ過器 100m <sup>3</sup> /日 1基

オ 西内浄化センター

処 理 区 西内処理区  
 位 置 上田市平井1756-5  
 敷 地 面 積 約11,670㎡  
 処 理 方 式 オキシデーションディッチ法  
 供 用 開 始 昭和62年12月15日  
 放 流 先 内村川  
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可
日 平 均	1,200m <sup>3</sup> /日	1,200m <sup>3</sup> /日
日 最 大	1,600m <sup>3</sup> /日	1,600m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	3,030人	3,060人

(注)計画処理人口には、観光人口を含む。

計画流入水質  
 計画放流水質  
 主要施設

BOD:70mg/L・SS:70mg/L  
 BOD:15mg/L・SS:30mg/L

施設名称	形式及び能力
管理機械棟	地上2階地下1階 RC造 延べ床面積: 796.64㎡ B1階 機械室 1階 事務室兼監視室、水質試験室、機械室 2階 会議室、電気室
反応タンク	オキシデーションディッチ RC造 長52.4m×幅10.4m×深5.2m 実長98m×幅4.6m×深3.1m 3池
最終沈殿池	RC造 直径10.8m×深さ5.1m 2池 直径14.3m×深さ5.1m 2池 掻寄機 中央駆動式懸垂形 φ10m×水深2.5m×0.4kW 2台 中央駆動式懸垂形 φ13m×水深2.5m×0.4kW 2台
塩素接触タンク	塩素接触装置 導入水型 φ420×H900 1基
曝気装置	横軸ローター φ1,000×2,500mmL 2基×3池 ベベルヘリカル減速機 減速比1/18インバータ制御 200V×60Hz 6基
機械棟	脱水機 多重円盤外胴型スクリーブプレス 1基 ケーキホッパ 角形鋼板製電動カットゲート式 4m <sup>3</sup> 1基 活性炭吸着塔 三層カートリッジ型 12m <sup>3</sup> /min 1基 脱臭ファン 片吸込ターボファン 12m <sup>3</sup> /min 1台
汚泥ポンプ	終沈汚泥引抜ポンプ φ100×0.77m <sup>3</sup> /min×4m×3.7kW 1台 終沈汚泥引抜ポンプ φ80×0.6m <sup>3</sup> /min×4m×2.2kW 1台 終沈汚泥引抜ポンプ φ150×1.53m <sup>3</sup> /min×9m×3.7kW 1台 終沈汚泥引抜ポンプ φ100×1.2m <sup>3</sup> /min×4m×2.2kW 1台 スカム移送ポンプ φ80×0.7m <sup>3</sup> /min×12m×3.7kW 1台

## カ 菅平浄化センター

処 理 区 菅平処理区  
 位 置 上田市菅平高原1278-2826  
 敷 地 面 積 約22,000m<sup>2</sup>  
 処 理 方 法 オキシデーションディッチ法  
 供 用 開 始 昭和60年6月24日  
 放 流 先 神川  
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可
日 平 均	1,900m <sup>3</sup> /日	1,900m <sup>3</sup> /日
日 最 大	4,500m <sup>3</sup> /日	4,500m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	9,790人	9,820人

(注) 計画処理人口には、観光人口を含む。

計画流入水質 BOD:230mg/L・SS:190mg/L  
 計画放流水質 BOD:15mg/L・SS:30mg/L  
 主要施設

施設名称	形式及び能力
管理棟	地上2階地下2階 RC造 延べ床面積: 1,631.7m <sup>2</sup> 1階 自家発電気室、宿直室、受変電気室 2階 事務室、水質試験室、会議室、中央管理室
沈砂池棟	RC造 延べ床面積: 180m <sup>2</sup> 沈砂池(揚砂ポンプ式) 長2.0×幅2.0×深さ2.5m 2池
調整槽	長16.3m×幅3.73×深さ3.1m 4池 ブロワー φ80mm×3m <sup>3</sup> ×3.5mAq×3.7kW 2台 φ100mm×6.4m <sup>3</sup> ×3.5mAq×7.5kW 2台
流量計	パーシャルフリューム流量計 スロート幅 9cm 1基
オキシデーションディッチ棟	平屋建 RC造 延べ床面積: 496.77m <sup>2</sup>
反応タンク(OD)	オキシデーションディッチ RC造 水路長55.6m×幅6.2m×有効水深5.0m 2池
最終沈殿池	地上1階 地下1階 RC造 放射流式円形 RC造 内径19m×深さ4.3m 2池
汚泥棟	地上1階 地下1階 RC造 延べ面積: 383.06m <sup>2</sup> 脱水機室、搬出室、換気機械室

キ 真田浄化センター

処 理 区 真田処理区  
 住 所 上田市真田町長6247-1  
 敷 地 面 積 約5,570m<sup>2</sup>  
 処 理 方 式 オキシデーションディッチ法  
 供 用 開 始 平成9年4月1日  
 放 流 先 神川  
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可
日 平 均	1,500m <sup>3</sup> /日	1,500m <sup>3</sup> /日
日 最 大	1,700m <sup>3</sup> /日	1,800m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	4,240人	4,410人

計画流入水質 BOD:250mg/L・SS:180mg/L  
 計画放流水質 BOD:15mg/L・SS:30mg/L  
 主 要 施 設

施設名称	形式及び能力
管理汚泥棟	地上2階地下1階 RC造 延べ床面積: 1,092m <sup>2</sup> 1階 事務・管理制御室、水質試験室、会議室、宿直室 2階 換気機械室 地下1階 電気室、脱水機室、搬出室、汚泥貯留槽、濃縮タンク 遠心脱水機 処理能力 7m <sup>3</sup> /日 1基
反応タンク	オキシデーションディッチ RC造 水路長120.4m×幅9.0m×有効水深3.0m 2池
最終沈殿池	RC造 直径 16.0m×有効水深 3.5m 放射流円形 中央駆動チェーン吊り下げ式汚泥掻き寄せ機 2池
塩素接触水路	RC造 水路幅1.0m×水路長31m×深さ1.1m 1水路
汚泥貯留濃縮槽	内径4.0m×深さ3.0m 1槽
汚泥貯留槽	幅4.0m×長さ4.0m×深さ3.0m 1槽

## (2) ポンプ場の状況

### ア 上塩尻污水ポンプ場

処 理 区 上田処理区  
 住 所 上田市上塩尻彦坊941-14  
 敷 地 面 積 2,000m<sup>2</sup>  
 供 用 開 始 平成2年12月

#### 主 要 施 設

施設名称	形式及び能力	
污水ポンプ棟	RC造 2階建	延べ床面積: 646.44m <sup>2</sup>
流入ゲート	外ネジ式鋳鉄製角形ゲート(電動自動下降式) W500×H750×0.4kW	2門
自動除塵機	裏がき式連続自動スクリーン 目幅20mm×取付角度60° ×0.4kW	1台
揚砂ポンプ	水中汚泥ポンプ φ80×0.5m <sup>3</sup> /min×16m×5.5kW	1台
サイクロン	サイクロン型 処理能力30m <sup>3</sup> /h	1台
沈砂洗淨装置	傾斜スクリーンコンベヤ式 スクリーン径φ300mm 機長4m×30° 0.4kW	1台
しき脱水機	二軸対向スクリーン式 約0.6m <sup>3</sup> /h×0.75kW	1台
污水ポンプ	スクリーン遠心型水中ポンプ φ200×5.3m <sup>3</sup> /min×45kW	3台
脱臭設備	活性炭吸着塔 二層カートリッジ式 26m <sup>3</sup> /min 脱臭ファン 耐食性ターボファン 2.2kW	1台 1台
遠方監視制御装置	屋内自立形 200bit/s	1面
自家発電機	搭載形(ディーゼル機関)	1台

### イ 下塩尻污水ポンプ場

処 理 区 上田処理区  
 住 所 上田市下塩尻字下川原 1688  
 敷 地 面 積 2,000m<sup>2</sup>  
 供 用 開 始 平成4年10月

#### 主 要 施 設

施設名称	形式及び能力	
污水ポンプ棟	RC造 1階建	延べ床面積: 295.76m <sup>2</sup>
流入ゲート	外ネジ式鋳鉄製角形ゲート(電動式) W400×H600×0.4kW	1門
破砕機	立軸ドラム回転式 処理水量1.5m <sup>3</sup> /min 0.4kW	1台
污水ポンプ	吸込スクリーン付遠心型水中ポンプ φ150×2.4m <sup>3</sup> /min×27m×22kW	3台
ポンプ井攪拌機	水中プロペラ式 φ200×7.2m <sup>3</sup> /分×1,130rpm×1.1kW	1台
脱臭設備	活性炭吸着塔 三層カートリッジ式 10m <sup>3</sup> /min 脱臭ファン 片吸込ターボファン 1.5kW	1台 1台
遠方監視制御装置	屋内自立形 200bit/s	1面
自家発電機	搭載形(ディーゼル機関) 3φ3W 420V 60Hz 100kVA 300PS	1台



## ウ 神川東汚水ポンプ場

処 理 区 神川東処理区  
 住 所 上田市岩下字加賀川原15-3  
 敷 地 面 積 2,150m<sup>2</sup>  
 供 用 開 始 平成15年12月

### 主 要 施 設

施設名称	形式及び能力
汚水ポンプ棟	RC造 2階建 地下1階 延べ床面積: 444.32m <sup>2</sup>
流入ゲート	主流入ゲート 外ネジ式丸形鋳鉄製(電動式) φ600×0.4kW 1門 流入ゲート 外ネジ式角形鋳鉄製(手動式) W600×H600 2門
自動除塵機	ダブルチェーン式背面かき揚げ形 目巾2.5mm×60° ×0.4kW 1台
しき脱水機	二軸対向スクリー式 600L/H投入形 0.75kW×200V×60Hz 1台
汚水ポンプ	吸込スクリー付水中汚水ポンプ φ200×3.8m <sup>3</sup> /min×22m×30kW 2台
脱臭設備	活性炭吸着塔 カートリッジ式 14m <sup>3</sup> /min 1台 脱臭ファン 片吸込ターボファン 1.5kW 1台
給水装置	給水ユニット 40L/min×22m 0.4kW×2 1台
井戸ポンプ	水中井戸ポンプ 160L/min×40m 2.2kW 1台
自家発電機	搭載形(ディーゼル機関) 3φ3W 200V 60Hz 175kVA 1台

### (3) 管渠延長等の状況

#### 公共下水道計

(単位:m)

管種・口径		年度 年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
			布設	除却	
ヒューム管	350mm以下	30,097.8	0.0	0.0	30,097.8
	400～500mm	19,704.6	0.0	0.0	19,704.6
	600～800mm	19,786.5	0.0	0.0	19,786.5
	900mm以上	3,383.7	0.0	0.0	3,383.7
	ヒューム管延長計	72,972.6	0.0	0.0	72,972.6
陶管	250mm以下	21,989.7	0.0	0.0	21,989.7
	300mm	3,522.5	0.0	0.0	3,522.5
	350～800mm	699.5	0.0	0.0	699.5
	陶管延長計	26,211.7	0.0	0.0	26,211.7
塩化ビニール管	200mm以下	679,585.0	215.3	0.0	679,369.7
	250mm	122,808.7	0.0	0.0	122,808.7
	300～800mm	13,628.2	0.0	0.0	13,628.2
	塩化ビニール管延長計	816,021.9	215.3	0.0	815,806.6
FRP管(全口径)		3,806.5	0.0	0.0	3,806.5
鋳鉄管(全口径)		17,010.4	556.4	0.0	16,454.0
鋼管(全口径)		596.2	0.0	0.0	596.2
その他		2,372.0	0.0	0.0	2,372.0
管路延長計		938,991.3	771.7	0.0	938,219.6

(単位:個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 個数	令和4年度		令和3年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	726	0	0	726
	750mm(0号)	958	0	0	958
	900mm(1号)	22,422	2	0	22,420
	1,200mm(2号)	841	0	0	841
	1,500mm(3号)	88	0	0	88
	1,800mm	3	0	0	3
	小判型	28	0	0	28
	矩形	3	0	0	3
	特殊	520	0	0	520
	小口径・楕円	14,853	17	0	14,836
	マンホール計	40,442	19	0	40,423
	マンホールポンプ	127	0	0	127

ア 上田処理区

(単位:m)

管種・口径		年度 年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
			布設	除却	
ヒューム管	350mm以下	7,684.0	0.0	0.0	7,684.0
	400～500mm	5,696.1	0.0	0.0	5,696.1
	600～800mm	12,317.6	0.0	0.0	12,317.6
	900mm以上	2,868.3	0.0	0.0	2,868.3
	ヒューム管延長計	28,566.0	0.0	0.0	28,566.0
陶管	250mm以下	19,325.6	0.0	0.0	19,325.6
	300mm	3,027.2	0.0	0.0	3,027.2
	350～800mm	699.5	0.0	0.0	699.5
	陶管延長計	23,052.3	0.0	0.0	23,052.3
塩化ビニール管	200mm以下	164,350.8	58.2	0.0	164,292.6
	250mm	95,841.0	0.0	0.0	95,841.0
	300～800mm	7,762.0	0.0	0.0	7,762.0
	塩化ビニール管延長計	267,953.8	58.2	0.0	267,895.6
FRP管(全口径)		3,615.1	0.0	0.0	3,615.1
鋳鉄管(全口径)		6,196.8	556.4	0.0	5,640.4
鋼管(全口径)		405.9	0.0	0.0	405.9
その他		204.7	0.0	0.0	204.7
管路延長計		329,994.6	614.6	0.0	329,380.0

(単位:個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 個数	令和4年度		令和3年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	723	0	0	723
	750mm(0号)	444	0	0	444
	900mm(1号)	8,196	0	0	8,196
	1,200mm(2号)	356	0	0	356
	1,500mm(3号)	61	0	0	61
	1,800mm	3	0	0	3
	小判型	28	0	0	28
	矩形	3	0	0	3
	特殊	79	0	0	79
	小口径・楕円	3,432	5	0	3,427
	マンホール計	13,325	5	0	13,320
マンホールポンプ		27	0	0	27

イ 南部処理区

(単位:m)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	令和4年度		令和3年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	1,069.4	0.0	0.0	1,069.4
	400～500mm	9,455.3	0.0	0.0	9,455.3
	600～800mm	2,618.9	0.0	0.0	2,618.9
	900mm以上	229.5	0.0	0.0	229.5
	ヒューム管延長計	13,373.1	0.0	0.0	13,373.1
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	133,705.4	134.1	0.0	133,571.3
	250mm	5,820.1	0.0	0.0	5,820.1
	300～800mm	2,242.7	0.0	0.0	2,242.7
	塩化ビニール管延長計	141,768.2	134.1	0.0	141,634.1
FRP管(全口径)		0.0	0.0	0.0	0.0
鋳鉄管(全口径)		1,896.7	0.0	0.0	1,896.7
鋼管(全口径)		0.0	0.0	0.0	0.0
その他		688.5	0.0	0.0	688.5
管路延長計		157,726.5	134.1	0.0	157,592.4

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	令和4年度		令和3年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	3	0	0	3
	750mm(0号)	344	0	0	344
	900mm(1号)	3,386	2	0	3,384
	1,200mm(2号)	378	0	0	378
	1,500mm(3号)	0	0	0	0
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	0
	小口径・楕円	2,948	11	0	2,937
	マンホール計	7,059	13	0	7,046
マンホールポンプ		27	0	0	27

ウ 丸子処理区(丸子分区)

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	令和4年度		令和3年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	3,880.9	0.0	0.0	3,880.9
	400～500mm	2,438.4	0.0	0.0	2,438.4
	600～800mm	2,830.9	0.0	0.0	2,830.9
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	9,150.2	0.0	0.0	9,150.2
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	109,343.7	0.0	0.0	109,343.7
	250mm	419.8	0.0	0.0	419.8
	300～800mm	70.3	0.0	0.0	70.3
	塩化ビニール管延長計	109,833.8	0.0	0.0	109,833.8
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋳鉄管(全口径)	18.8	0.0	0.0	18.8
	鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	626.5	0.0	0.0	626.5
	管路延長計	119,629.3	0.0	0.0	119,629.3

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	令和4年度		令和3年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	0	0	0	0
	900mm(1号)	4,573	0	0	4,573
	1,200mm(2号)	60	0	0	60
	1,500mm(3号)	3	0	0	3
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	432	0	0	432
	小口径・楕円	3,586	1	0	3,585
	マンホール計	8,654	1	0	8,653
マンホールポンプ	14	0	0	14	

(注) マンホール・マンホールポンプの設置個数は、依田分区を含む。

エ 別所温泉処理区

(単位:m・個・箇所)

年度 管種・口径		年度末 延長・個数	令和4年度		令和3年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	400～500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
陶管	250mm以下	608.8	0.0	0.0	608.8
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	608.8	0.0	0.0	608.8
塩化ビニール管	200mm以下	11,410.2	0.0	0.0	11,410.2
	250mm	349.7	0.0	0.0	349.7
	300～800mm	832.6	0.0	0.0	832.6
	塩化ビニール管延長計	12,592.5	0.0	0.0	12,592.5
FRP管(全口径)		87.0	0.0	0.0	87.0
鋳鉄管(全口径)		263.1	0.0	0.0	263.1
鋼管(全口径)		0.0	0.0	0.0	0.0
その他		0.0	0.0	0.0	0.0
管路延長計		13,551.4	0.0	0.0	13,551.4

(単位:個・箇所)

年度 管種・口径		年度末 個数	令和4年度		令和3年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	5	0	0	5
	900mm(1号)	451	0	0	451
	1,200mm(2号)	4	0	0	4
	1,500mm(3号)	2	0	0	2
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	0
	小口径・楕円	191	0	0	191
	マンホール計	653	0	0	653
マンホールポンプ		4	0	0	4

オ 中塩田処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 延長・個数	令和4年度		令和3年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	400～500mm	719.7	0.0	0.0	719.7
	600～800mm	1,929.3	0.0	0.0	1,929.3
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	2,649.0	0.0	0.0	2,649.0
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	60,998.0	0.0	0.0	60,998.0
	250mm	8,586.4	0.0	0.0	8,586.4
	300～800mm	678.1	0.0	0.0	678.1
	塩化ビニール管延長計	70,262.5	0.0	0.0	70,262.5
FRP管(全口径)		0.0	0.0	0.0	0.0
鋳鉄管(全口径)		1,907.8	0.0	0.0	1,907.8
鋼管(全口径)		0.0	0.0	0.0	0.0
その他		0.0	0.0	0.0	0.0
管路延長計		74,819.3	0.0	0.0	74,819.3

(単位:個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 個数	令和4年度		令和3年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	71	0	0	71
	900mm(1号)	1,483	0	0	1,483
	1,200mm(2号)	22	0	0	22
	1,500mm(3号)	1	0	0	1
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	6	0	0	6
	小口径・楕円	1,340	0	0	1,340
	マンホール計	2,923	0	0	2,923
マンホールポンプ		14	0	0	14

カ 神川東処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 延長・個数	令和4年度		令和3年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	698.7	0.0	0.0	698.7
	400～500mm	1,175.0	0.0	0.0	1,175.0
	600～800mm	50.8	0.0	0.0	50.8
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	1,924.5	0.0	0.0	1,924.5
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	47,006.8	0.0	0.0	47,006.8
	250mm	3,080.4	0.0	0.0	3,080.4
	300～800mm	418.6	0.0	0.0	418.6
	塩化ビニール管延長計	50,505.8	0.0	0.0	50,505.8
FRP管(全口径)		0.0	0.0	0.0	0.0
鋳鉄管(全口径)		1,976.9	0.0	0.0	1,976.9
鋼管(全口径)		138.0	0.0	0.0	138.0
その他		0.0	0.0	0.0	0.0
管路延長計		54,545.2	0.0	0.0	54,545.2

(単位:個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 個数	令和4年度		令和3年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	35	0	0	35
	900mm(1号)	1,251	0	0	1,251
	1,200mm(2号)	13	0	0	13
	1,500mm(3号)	3	0	0	3
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	2	0	0	2
	小口径・楕円	1,134	0	0	1,134
	マンホール計	2,438	0	0	2,438
マンホールポンプ		11	0	0	11



キ 丸子処理区(依田分区)

(単位:m)

管種・口径	年度	年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
			布設	除却	
ヒューム管	350mm以下	598.0	0.0	0.0	598.0
	400～500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	598.0	0.0	0.0	598.0
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	64,011.6	23.0	0.0	63,988.6
	250mm	599.4	0.0	0.0	599.4
	300～800mm	58.7	0.0	0.0	58.7
	塩化ビニール管延長計	64,669.7	23.0	0.0	64,646.7
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	铸铁管(全口径)	189.0	0.0	0.0	189.0
	鋼管(全口径)	20.5	0.0	0.0	20.5
	その他	210.7	0.0	0.0	210.7
	管路延長計	65,687.9	23.0	0.0	65,664.9

(注) マンホール・マンホールポンプの設置個数は、丸子分区に含まれている。

ク 西内処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 延長・個数	令和4年度		令和3年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	10,069.1	0.0	0.0	10,069.1
	400～500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	10,069.1	0.0	0.0	10,069.1
陶管	250mm以下	2,055.3	0.0	0.0	2,055.3
	300mm	495.3	0.0	0.0	495.3
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	2,550.6	0.0	0.0	2,550.6
塩化ビニール管	200mm以下	6,373.6	0.0	0.0	6,373.6
	250mm	54.9	0.0	0.0	54.9
	300～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	塩化ビニール管延長計	6,428.5	0.0	0.0	6,428.5
FRP管(全口径)		0.0	0.0	0.0	0.0
鋳鉄管(全口径)		2,238.3	0.0	0.0	2,238.3
鋼管(全口径)		31.8	0.0	0.0	31.8
その他		284.0	0.0	0.0	284.0
管路延長計		21,602.3	0.0	0.0	21,602.3

(単位:個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 個数	令和4年度		令和3年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	47	0	0	47
	900mm(1号)	660	0	0	660
	1,200mm(2号)	0	0	0	0
	1,500mm(3号)	5	0	0	5
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	0
	小口径・楕円	199	0	0	199
	マンホール計	911	0	0	911
マンホールポンプ		8	0	0	8

ケ 菅平処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 延長・個数	令和4年度		令和3年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	4,942.3	0.0	0.0	4,942.3
	400～500mm	220.1	0.0	0.0	220.1
	600～800mm	39.0	0.0	0.0	39.0
	900mm以上	285.9	0.0	0.0	285.9
	ヒューム管延長計	5,487.3	0.0	0.0	5,487.3
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	7,380.4	0.0	0.0	7,380.4
	250mm	7,228.3	0.0	0.0	7,228.3
	300～800mm	1,415.2	0.0	0.0	1,415.2
	塩化ビニール管延長計	16,023.9	0.0	0.0	16,023.9
FRP管(全口径)		104.4	0.0	0.0	104.4
鋳鉄管(全口径)		1,780.2	0.0	0.0	1,780.2
鋼管(全口径)		0.0	0.0	0.0	0.0
その他		102.2	0.0	0.0	102.2
管路延長計		23,498.0	0.0	0.0	23,498.0

(単位:個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 個数	令和4年度		令和3年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	12	0	0	12
	900mm(1号)	621	0	0	621
	1,200mm(2号)	3	0	0	3
	1,500mm(3号)	9	0	0	9
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	0
	小口径・楕円	21	0	0	21
	マンホール計	666	0	0	666
マンホールポンプ		7	0	0	7

コ 真田処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	令和4年度		令和3年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	1,155.4	0.0	0.0	1,155.4
	400～500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	1,155.4	0.0	0.0	1,155.4
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	54,719.0	0.0	0.0	54,719.0
	250mm	828.7	0.0	0.0	828.7
	300～800mm	150.0	0.0	0.0	150.0
	塩化ビニール管延長計	55,697.7	0.0	0.0	55,697.7
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋳鉄管(全口径)	542.8	0.0	0.0	542.8
	鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	255.4	0.0	0.0	255.4
	管路延長計	57,651.3	0.0	0.0	57,651.3

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	令和4年度		令和3年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	0	0	0	0
	900mm(1号)	1,261	0	0	1,261
	1,200mm(2号)	5	0	0	5
	1,500mm(3号)	4	0	0	4
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	1	0	0	1
	小口径・楕円	1,409	0	0	1,409
	マンホール計	2,680	0	0	2,680
マンホールポンプ	14	0	0	14	

サ 藤原田処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	令和4年度		令和3年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	400～500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	5,149.5	0.0	0.0	5,149.5
	250mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	300～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	塩化ビニール管延長計	5,149.5	0.0	0.0	5,149.5
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋳鉄管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0
	管路延長計	5,149.5	0.0	0.0	5,149.5

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	令和4年度		令和3年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	0	0	0	0
	900mm(1号)	197	0	0	197
	1,200mm(2号)	0	0	0	0
	1,500mm(3号)	0	0	0	0
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	0
	小口径・楕円	69	0	0	69
	マンホール計	266	0	0	266
マンホールポンプ	0	0	0	0	

シ 東内処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	令和4年度		令和3年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	400～500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	15,136.0	0.0	0.0	15,136.0
	250mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	300～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	塩化ビニール管延長計	15,136.0	0.0	0.0	15,136.0
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋳鉄管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0
	管路延長計	15,136.0	0.0	0.0	15,136.0

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	令和4年度		令和3年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	0	0	0	0
	900mm(1号)	343	0	0	343
	1,200mm(2号)	0	0	0	0
	1,500mm(3号)	0	0	0	0
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	0
	小口径・楕円	524	0	0	524
	マンホール計	867	0	0	867
	マンホールポンプ	1	0	0	1

## (4) 処理水量の推移

(単位: m<sup>3</sup>・m<sup>3</sup>/日)

処理場名 項目	令和4年度		令和3年度	
		対前年度比		
処理場 処理水量 合計	15,200,317	△5.27%	16,045,292	
上田終末処理場				
処理水量	8,068,592	△1.82%	8,217,782	
月最大	743,314	△6.94%	798,746	
月最小	579,762	0.82%	575,021	
晴天時日最大(日付)	28,136 (8/2)	△13.59%	32,562 (8/16)	
晴天時日最小(日付)	19,458 (1/7)	2.25%	19,030 (2/27)	
雨天時日最大(日付)	33,768 (7/30)	△37.69%	54,192 (8/14)	
雨天時日最小(日付)	18,851 (2/19)	△3.73%	19,582 (2/19)	
日平均	22,106	△1.81%	22,514	
南部終末処理場				
処理水量	3,324,811	△1.48%	3,374,722	
月最大	289,425	△4.90%	304,324	
月最小	253,095	0.68%	251,380	
晴天時日最大(日付)	10,081 (12/31)	△6.74%	10,810 (8/16)	
晴天時日最小(日付)	8,514 (2/24)	△1.20%	8,617 (4/28)	
雨天時日最大(日付)	10,362 (9/24)	△28.61%	14,514 (8/15)	
雨天時日最小(日付)	8,460 (3/17)	△0.58%	8,509 (2/10)	
日平均	9,109	△1.48%	9,246	
別所温泉終末処理場				
処理水量	281,727	5.55%	266,910	
月最大	24,385	2.68%	23,749	
月最小	21,197	7.46%	19,725	
晴天時日最大(日付)	913 (1/28)	2.82%	888 (1/1)	
晴天時日最小(日付)	594 (1/10)	1.02%	588 (8/31)	
雨天時日最大(日付)	1,014 (7/31)	△27.62%	1,401 (8/14)	
雨天時日最小(日付)	615 (7/29)	2.16%	602 (6/29)	
日平均	772	5.61%	731	
丸子浄化センター				
処理水量	1,847,110	△27.56%	2,549,760	
月最大	200,770	△13.83%	232,990	
月最小	132,550	△32.05%	195,060	
晴天時日最大(日付)	7,350 (4/5)	△22.39%	9,470 (8/16)	
晴天時日最小(日付)	4,430 (1/14)	△29.68%	6,300 (4/4)	
雨天時日最大(日付)	7,160 (4/4)	△45.76%	13,200 (8/15)	
雨天時日最小(日付)	4,410 (2/19)	△31.73%	6,460 (4/29)	
日平均	5,061	△27.56%	6,986	
西内浄化センター				
処理水量	741,114	△0.49%	744,797	
月最大	78,554	△16.39%	93,952	
月最小	45,049	12.73%	39,962	
晴天時日最大(日付)	3,055 (8/2)	△38.94%	5,003 (8/16)	
晴天時日最小(日付)	1,458 (2/8)	7.21%	1,360 (2/2)	
雨天時日最大(日付)	4,188 (8/1)	△44.68%	7,570 (8/15)	
雨天時日最小(日付)	1,442 (1/25)	4.04%	1,386 (2/10)	
日平均	2,030	△0.54%	2,041	
菅平浄化センター				
処理水量	539,932	9.06%	495,083	
月最大	69,753	0.41%	69,466	
月最小	24,367	15.24%	21,145	
晴天時日最大(日付)	2,915 (8/21)	△21.15%	3,697 (8/16)	
晴天時日最小(日付)	688 (11/10)	9.73%	627 (11/8)	
雨天時日最大(日付)	2,861 (7/17)	△51.84%	5,941 (8/14)	
雨天時日最小(日付)	734 (11/15)	4.86%	700 (11/27)	
日平均	1,479	9.07%	1,356	
真田浄化センター				
処理水量	397,031	0.20%	396,238	
月最大	36,226	0.20%	36,154	
月最小	30,410	0.20%	30,349	
晴天時日最大(日付)	1,838 (10/23)	0.22%	1,834 (10/23)	
晴天時日最小(日付)	952 (11/18)	0.21%	950 (11/18)	
雨天時日最大(日付)	1,440 (10/24)	4.65%	1,376 (10/25)	
雨天時日最小(日付)	957 (4/7)	△4.97%	1,007 (9/17)	
日平均	1,086	0.00%	1,086	

## (5) 水質検査結果

令和4年度

項目			上田	南部	別所	丸子	西内	菅平	真田	
流入水 (午前9時採水)	水温 (°C)	平均	19.7	19.1	24.4	17.7	21.1	14.5	18.1	
		最大	26.3	25.0	30.0	25.0	26.0	22.8	25.5	
		最小	12.2	13.0	18.0	9.5	16.0	8.4	11.0	
	pH	平均	7.6	7.6	7.3	7.4	7.0	7.2	7.4	
		最大	8.2	8.2	7.7	8.3	9.9	8.0	7.9	
		最小	7.1	6.8	6.9	5.5	6.7	7.0	7.0	
	透視度	平均	3.1	3.7	5.8	3.0	11	8.7	3.3	
		最大	4.2	4.4	9.6	3.5	23	33	5.5	
		最小	2.3	3.2	3.4	2.0	3.2	2.3	2.2	
	SS (mg/L)	平均	290	260	120	300	100	110	230	
		最大	430	330	280	390	270	330	470	
		最小	200	210	44	160	28	18	60	
	BOD (mg/L)	平均	310	310	150	370	110	160	280	
		最大	440	380	220	1,300	280	450	350	
		最小	220	230	110	220	46	21	200	
	放 流 水	水温 (°C)	平均	20.6	20.3	24.5	15.7	19.3	14.6	18.9
			最大	27.5	26.2	31.2	23.1	26.0	23.5	25.5
			最小	13.8	14.3	18.0	8.8	13.1	9.0	12.4
pH		平均	7.3	7.1	7.0	6.8	6.8	6.8	6.7	
		最大	7.5	7.4	7.2	7.1	7.2	7.1	7.0	
		最小	7.1	6.7	6.6	6.5	6.6	6.4	6.6	
透視度		平均	83	82	100	> 100	> 100	100	100	
		最大	> 100	> 100	> 100	> 100	> 100	> 100	> 100	
		最小	32	43	90	> 100	> 100	95	95	
SS (mg/L)		平均	4	4	1	1	3	1	2	
		最大	8	6	3	2	6	2	4	
		最小	1	1	< 1	< 1	< 1	< 1	< 1	
BOD (mg/L)		平均	5.2	3.3	1.2	2.1	1.3	1.1	2.0	
		最大	12	7.4	1.8	2.9	2.5	1.4	3.3	
		最小	1.8	1.0	< 1.0	< 1.0	< 1.0	< 1.0	1.0	
COD (mg/L)		平均	12	13	4.3	6.8	3.5	3.4	6.4	
		最大	15	16	4.9	8.0	4.6	5.1	7.2	
		最小	10.0	11.0	3.5	5.6	2.8	1.1	5.7	
大腸菌群数 (ヶ/mL)	平均	67	20	10	140	79	2	160		
	最大	320	84	150	270	170	18	340		
	最小	0	0	0	0	5	0	25		
残留塩素 (mg/L)	平均	0.06	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05		
	最大	0.10	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05		
	最小	0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05		



下水排除基準

	対象事業場・排水量	特定施設を設置している事業場		その他の事業場
		50m <sup>3</sup> /日以上	50m <sup>3</sup> /日未満	
処理困難項目	対象物質又は項目			
	カドミウム及びその化合物 *1	0.03以下	0.03以下	0.03以下
	シアン化合物 *2	1 [0.5]以下	1 [0.5]以下	1 [0.5]以下
	有機りん化合物	1以下	1以下	1以下
	鉛及びその化合物	0.1以下	0.1以下	0.1以下
	六価クロム化合物 *2	0.5 [0.3]以下	0.5 [0.3]以下	0.5 [0.3]以下
	砒素及びその化合物	0.1以下	0.1以下	0.1以下
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物 *2	0.005 [0.003]以下	0.005 [0.003]以下	0.005 [0.003]以下
	アルキル水銀化合物	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと
	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	0.003以下	0.003以下	0.003以下
	トリクロロエチレン	0.1以下	0.1以下	0.1以下
	テトラクロロエチレン	0.1以下	0.1以下	0.1以下
	ジクロロメタン	0.2以下	0.2以下	0.2以下
	四塩化炭素	0.02以下	0.02以下	0.02以下
	1, 2-ジクロロエタン	0.04以下	0.04以下	0.04以下
	1, 1-ジクロロエチレン	1以下	1以下	1以下
	シス-1, 2-ジクロロエチレン	0.4以下	0.4以下	0.4以下
	1, 1, 1-トリクロロエタン	3以下	3以下	3以下
	1, 1, 2-トリクロロエタン	0.06以下	0.06以下	0.06以下
	1, 3-ジクロロプロペン	0.02以下	0.02以下	0.02以下
	チウラム	0.06以下	0.06以下	0.06以下
	シマジン	0.03以下	0.03以下	0.03以下
	チオベンカルブ	0.2以下	0.2以下	0.2以下
	ベンゼン	0.1以下	0.1以下	0.1以下
	セレン及びその化合物	0.1以下	0.1以下	0.1以下
	ほう素及びその化合物 *1	10以下	10以下	10以下
	ふっ素及びその化合物 *1	8以下	8以下	8以下
1, 4-ジオキサン *1	0.5以下	0.5以下	0.5以下	
環境項目	フェノール類	5以下	5以下	5以下
	銅及びその化合物 *3	3[2]以下	[3以下] 3以下	3以下
	亜鉛及びその化合物 *1/*3	2以下	[5以下] 2以下	2以下
	鉄及びその化合物(溶解性)	10以下	10以下	10以下
	マンガン及びその化合物(溶解性)	10以下	10以下	10以下
物質害	クロム及びその化合物 *3	2[1]以下	[2以下] 2以下	2以下
物質害	ダイオキシン類 *4	10以下	10以下	10以下
その他の項目	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量 *1/*5	380未満	380未満	380未満
	水素イオン濃度 (pH) *5	5を超え9未満	5を超え9未満	5を超え9未満
	生物化学的酸素要求量 (BOD) *5/*6	600未満	600未満	600未満
	浮遊物質 (SS) *5/*6	600未満	600未満	600未満
	ノルマルヘキサニル油類	5以下	5以下	5以下
	抽出物質含有量 動植物油脂類	30以下	30以下	30以下
	温度 *5	45未満	45未満	45未満
よう素消費量	220未満	220未満	220未満	

- ・単位は、ダイオキシン類はpg-TEQ/L、pHは水素指数、温度は℃、その他はmg/Lで示す
- ・ [ ]内は直罰が適用される基準を、それ以外は除害施設の設置等に係る基準を示す。
- ・ \*1 カドミウムは業種ごとに平成28年11月30日又は平成29年11月30日まで、ほう素、ふっ素、アンモニア性窒素等含有量は業種ごとに平成28年6月30日まで、1,4-ジオキサンは業種ごとに平成27年5月24日まで、亜鉛は業種ごとに平成28年12月10日まで特定施設に係る排除基準についてそれぞれ暫定基準が適用される。
- ・ \*2 シアン、六価クロム、総水銀の[ ]内の数値は上乗せ基準を示し、昭和54年10月31日において既に設置されている排水量が500m<sup>3</sup>/日未満の特定施設設置者等を除き適用される。
- ・ \*3 銅、亜鉛、クロムの[ ]内の数値は上乗せ基準を示し、水質汚濁防止法施行令別表第1の26,27,47,49,52,53,58,61,62,63,65,66の各号に掲げる施設を設置し排水量が500m<sup>3</sup>/日以上又は50m<sup>3</sup>/日未満の事業場に適用される。
- ・ \*4 ダイオキシン類の直罰基準は、ダイオキシン類対策特別措置法第2条第2項による特定施設を設置する事業場に適用される。
- ・ \*5 アンモニア性窒素等含有量、pH、BOD、SS、温度は、排水量が終末処理場で処理される量の4分の1以上である事業場について、上乗せ基準が適用される場合がある。
- ・ \*6 BOD、SSは、排水量が10m<sup>3</sup>/日未満である場合には適用されない。
- ・ 農業集落排水は、その他の事業場に係る排除基準が適用される。ただし、[ ]内の数値は適用されない。

(6) 電力(動力)使用量の推移

ア 動力用電力使用量の推移

(単位:kWh)

	令和4年度		令和3年度
	対前年度比		
処理場及びポンプ場			
合計	9,017,352	△3.37%	9,331,563
上田終末処理場			
水処理			
流入他	818,170	△2.50%	839,130
ブロー	905,130	△0.39%	908,680
汚泥処理			
既設汚泥	55,080	9.90%	50,120
動力1次	1,477,100	△3.14%	1,524,940
汚泥焼却	1,269,430	△8.52%	1,387,700
その他	381,460	△0.35%	382,790
計	4,906,370	△3.67%	5,093,360
上塩尻ポンプ場	104,110	2.81%	101,260
下塩尻ポンプ場	65,160	6.77%	61,030
神川東ポンプ場	90,422	△1.71%	91,999
南部終末処理場			
水処理棟			
ブロー	898,590	2.39%	877,619
その他	139,420	△0.31%	139,851
管理棟			
沈砂池ポンプ棟(動力き電)	300,002	△1.68%	305,119
汚泥棟(動力き電)	136,663	△1.82%	139,196
管理棟(動力き電)	29,085	△4.03%	30,305
照明き電	55,890	2.93%	54,300
その他	102,650	△2.99%	105,810
計	1,662,300	0.61%	1,652,200
別所温泉終末処理場			
水処理	116,902	△2.14%	119,463
汚泥処理	77,875	△2.29%	79,703
その他	33,019	1.01%	32,690
計	227,796	△1.75%	231,856
丸子浄化センター			
水処理	913,970	△14.13%	1,064,400
汚泥処理	54,467	1.41%	53,709
その他	123,583	△8.55%	135,131
計	1,092,020	△12.86%	1,253,240
西内浄化センター			
水処理・その他	112,494	△2.94%	115,906
汚泥処理	4,038	12.45%	3,591
計	116,532	△2.48%	119,497
菅平浄化センター			
水処理	147,374	3.78%	142,003
汚泥処理	18,406	2.44%	17,967
その他	270,068	15.33%	234,173
計	435,848	10.58%	394,143
真田浄化センター			
水処理	215,762	△3.64%	223,905
汚泥処理	64,212	△2.08%	65,578
その他	36,820	△15.35%	43,495
計	316,794	△4.86%	332,978

イ 燃料使用量の推移 (上田終末処理場)

年度	A 重油使用量				消化ガス使用量		
	搬入量	焼却炉	ボイラー	合計	ボイラー	焼却炉	合計
	L	L	L	L	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
3	0	0	0	0	3,216	283,428	286,644
4	0	0	0	0	6,372	265,164	271,536

年度	都市ガス使用量		
	焼却炉	温水ボイラー	合計
			m <sup>3</sup>
3	213,348	36,296	249,644
4	185,979	34,458	220,437

## (7) 薬品使用量の推移

### ア 消毒用薬品(塩素滅菌：次亜塩素酸ナトリウム)

(単位:L・mg/L)

		令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
上田終末処理場				
1系	注入量	92,930	6.18%	87,520
	注入率	2.37		2.19
2系	注入量	4,151	△12.14%	4,725
	注入率	0.33		0.37
南部終末処理場				
	注入量	30,650	△1.51%	31,120
	注入率	1.25		1.24
丸子浄化センター				
	注入量	18,758	0.22%	18,716
	注入率	1.26		0.93
菅平浄化センター				
	注入量	2,448	△5.04%	2,578
	注入率	0.72		0.87

### イ 消毒用薬品(塩素滅菌：固形塩素)

(単位:kg)

		令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
別所温泉終末処理場		313	△4.57%	328
西内浄化センター		261	△1.14%	264
真田浄化センター		266	61.21%	165

### ウ 高分子凝集剤

(単位:kg)

		令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
上田終末処理場	濃縮	9,760	7.08%	9,115
上田終末処理場	脱水	14,245	17.42%	12,132
南部終末処理場	脱水	6,595	9.74%	6,010
別所温泉終末処理場	脱水	187	33.82%	140
丸子浄化センター	脱水	1,795	△7.17%	1,934
西内浄化センター	脱水	87	3.71%	84
菅平浄化センター	脱水	438	107.78%	211
真田浄化センター	脱水	1,147	20.74%	950

### エ 無機凝集剤

(単位:kg)

		令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
上田終末処理場		0	0.00%	0
南部終末処理場		0	0.00%	0
別所温泉終末処理場		3,541	37.03%	2,584
丸子浄化センター		54,201	1.36%	53,476
西内浄化センター		3,477	△0.26%	3,486
菅平浄化センター		2,755	50.71%	1,828
真田浄化センター		0	0.00%	0

## 農業集落排水事業編



# 1 事業の概要

## (1) 事業の沿革

上田市の農業集落排水事業は、上田地域の下組地区が昭和 61 年に事業化され、以後、上田地域 18 地区、丸子地域 3 地区、真田地域 3 地区、武石地域 3 地区の合計 27 地区 27 施設で事業を進めてきました。

平成元年に下組地区が供用開始し、平成 16 年には最終の地区となる殿城地区が供用となり、全 27 地区の整備が完了しました。

現在は、平成 21 年度の「機能強化事業」による下組地区農業集落排水処理施設の廃止及び平成 31 年度の「農集統合事業」により、丸子地域の農業集落排水地区（3 地区）を減とした 24 地区 23 施設により事業を行っており、計画面積 1,142.2ha、計画人口 38,980 人となっています。

## (2) 事業のあゆみ

### ア 合併前(昭和60年9月～平成18年3月)

#### (ア)上田地域

上田地域の農業集落排水事業は、昭和 61 年に下組地区が事業採択され事業に着手しました。その後、管渠施設の整備と処理施設の建設を進め、平成元年には下組地区農業集落排水処理施設の供用開始に至り、平成 16 年に上田地域で最後の殿城地区農業集落排水処理施設の供用開始に至っています。

また、農業集落排水事業計画は、当初昭和 61 年の下組地区 17.5ha の着手から各地区を追加し、平成 10 年には殿城地区を加えて 825.5ha となりました。

昭和60年	9月	下組地区陳情
昭和61年	5月	下組地区事業採択
	12月	仁古田地区陳情
昭和62年	3月	上田市農業集落排水事業費分担金条例及び施行規程施行
昭和63年	3月	下之郷地区陳情
	5月	仁古田地区事業採択
	7月	岡地区陳情
	12月	下小島地区陳情
	12月	古安曾地区陳情
平成元年	3月	上田市農業集落排水施設条例及び施行規程施行
	5月	下組地区供用開始
		下之郷地区事業採択
	9月	保野舞田地区陳情
		富士山地区陳情

	12月	浦里地区陳情
平成 3年	2月	室賀地区陳情
	5月	岡地区事業採択
	7月	仁古田地区供用開始
	8月	小井田地区陳情
平成 3年	8月	豊殿南部地区陳情
	9月	八木沢地区陳情
平成 4年	1月	林之郷地区陳情
	3月	小泉地区陳情
	4月	山田地区陳情
	5月	下小島地区事業採択 小井田地区事業採択
	6月	殿城地区陳情
平成 5年	5月	古安曾地区事業採択 保野舞田地区事業採択
平成 6年	4月	岡地区供用開始
	5月	富士山地区事業採択 豊殿南部地区事業採択
平成 7年	1月	下之郷地区供用開始 下小島地区供用開始
	5月	八木沢地区事業採択 浦里地区事業採択
	10月	小井田地区供用開始
平成 8年	5月	室賀地区事業採択 林之郷地区事業採択
平成 9年	5月	山田地区事業採択 小泉地区事業採択
平成10年	4月	古安曾地区供用開始 保野舞田地区供用開始 殿城地区事業採択 仁古田地区処理機能強化事業採択(脱臭設備)
平成11年	3月	豊殿南部地区供用開始 富士山地区供用開始
	12月	八木沢地区供用開始 浦里地区供用開始
平成13年	4月	地方公営企業法を全部適用
	7月	林之郷地区供用開始
	12月	室賀地区供用開始
平成14年	4月	山田地区供用開始
	10月	小泉地区供用開始
平成16年	4月	殿城地区供用開始

## (イ) 丸子地域

丸子地域の農業集落排水事業は、平成4年に藤原田地区が事業採択され事業に着手しました。その後、管渠施設の整備と処理施設の建設を進め、平成7年には藤原田地区農業集落排水処理施設の供用開始に至り、平成12年に丸子地域で最後の和子地区農業集落排水処理施設の供用開始に至っています。

また、農業集落排水事業計画は、当初平成4年の藤原田地区17haの着手から、平成6年に荻窪地区17ha、平成8年には和子地区27haを追加し、61haとなりました。

平成4年度	藤原田地区事業採択承認 藤原田地区管渠工事着手 丸子町農業集落排水事業分担金条例制定
平成5年度	藤原田地区処理施設建設工事着手
平成6年度	荻窪地区事業採択承認 荻窪地区管渠工事着手 丸子町農業集落排水施設条例制定
平成7年度	藤原田地区供用開始(4月1日) 藤原田地区事業完了
平成8年度	和子地区事業採択承認 和子地区管渠工事着手 荻窪地区処理施設建設工事着手
平成10年度	荻窪地区供用開始(4月1日)
平成12年度	和子地区供用開始(4月1日)
平成17年度	地方公営企業法を全部適用

## (ウ) 真田地域

真田地域の農業集落排水事業は、昭和63年に本原地区が事業採択され事業に着手しました。その後、管渠施設の整備と処理施設の建設を進め、平成3年には本原地区農業集落排水処理施設の供用開始に至り、平成12年に真田地域で最後の本原南地区農業集落排水処理施設の供用開始に至っています。

また、農業集落排水事業計画は、当初昭和63年の本原地区32haの着手から、平成4年に上洗馬地区22ha、平成8年には本原南地区68haを追加し、現在122haとなりました。

昭和63年	4月	本原地区事業採択承認
平成元年	2月	本原地区管渠工事着手
平成2年	9月	本原地区処理施設建設工事着手
平成3年	4月	本原地区供用開始(4月20日)
	10月	本原地区事業完了
平成4年	4月	上洗馬地区事業採択承認
	7月	上洗馬地区管渠工事着手
平成5年	9月	上洗馬地区処理施設建設工事着手
平成7年	4月	上洗馬地区供用開始(4月26日)



平成8年	3月	上洗馬地区事業完了
	5月	本原南地区事業採択承認
	12月	本原南地区管渠工事着手
平成10年	12月	本原南地区処理施設建設工事着手
平成12年	12月	本原南地区供用開始(12月8日)
平成13年	10月	本原南地区事業完了

## (エ) 武石地域

武石地域の農業集落排水事業は、平成5年に武石地区が事業採択され、事業に着手しました。その後、管渠施設の整備と処理施設の建設を進め、平成9年には武石地区農業集落排水処理施設の供用開始に至り、平成14年に武石地域で最後の余里小沢根地区農業集落排水処理施設の供用開始に至っています。

また、農業集落排水事業計画は、当初平成5年の武石地区153haの着手から、平成7年に本入地区28ha、平成9年には余里小沢根地区13.7haを追加し、現在194.7haとなりました。

平成5年	3月	武石村農業集落排水事業分担金徴収条例制定
	4月	武石地区事業採択承認
	10月	武石地区管渠工事着手
平成6年	11月	武石地区処理施設建設工事着手
平成7年		本入地区事業採択承認
	12月	本入地区管渠工事着手
平成9年	3月	武石村農業集落排水施設条例制定
	4月	武石地区供用開始(4月1日)
		余里小沢根地区事業採択承認
平成10年	6月	余里小沢根地区管渠工事着手
	10月	本入地区処理施設建設工事着手
平成12年	4月	本入地区供用開始(4月1日)
	12月	余里小沢根地区処理施設建設工事着手
平成14年	4月	余里小沢根地区供用開始(4月1日)

## イ 合併後(新上田市)(平成18年3月～)

平成18年3月の新上田市発足以降は、合併により多くの処理施設による事業の効率的な維持管理を目指し、コスト縮減や健全な施設稼働を目的に、処理施設の「機能強化事業」や農業集落排水地区を公共下水道へ統合する「農集統合事業」を進めています。

その取り組みとして、平成21年度に下組地区を下之郷地区へ統合する機能強化事業を実施し、また、平成31年度には、丸子地域の3地区(藤原田、和子、荻窪)について財産処分申請を行い、藤原田地区を特環公共下水道の藤原田処理区、和子地区・荻窪地区を特環公共下水道の東内処理区とし、農集統合事業による公共下水道への接続統合を進めています。

老朽化が進む処理施設については、当面の期間、農集統合の計画のない施設を優先的に、機能強化事業により腐食した処理水槽等の防食塗装を実施しています。

平成20年	4月	下組・下之郷地区資源循環統合補助事業採択
平成20年	4月	地方公営企業法を全部適用(真田地域・武石地域)
平成22年	4月	下組・下之郷地区統合
平成22年	10月	下組処理場廃止
平成26年	7月	仁古田地区処理機能強化事業採択(防食)
平成29年	3月	地方創生汚水処理施設整備推進交付金 事業採択(3地区) ・岡地区処理機能強化事業採択(防食) ・本原南地区処理機能強化事業採択(防食) ・本入地区処理機能強化事業採択(防食)
平成31年	3月	農集統合事業による財産処分承認(藤原田、荻窪、和子地区)
令和2年	1月	農山漁村地域整備交付金 上洗馬地区 事業採択(防食)
令和2年	4月	藤原田地区を公共下水道へ接続統合
令和3年	4月	和子地区、荻窪地区を公共下水道へ接続統合
令和5年	3月	農村整備事業 富士山地区 事業採択(防食)

### (3) 事業計画

	対象集落	事業年度	採択 年度	供用開始 年月日	計画			排除 方式
					面積 (ha)	人口 (人)	戸数 (戸)	
仁古田	仁古田	S63～H5	S63	H3. 7. 17	41. 0	1, 400	261	分流式
岡	岡	H3～H6	H3	H6. 4. 1	28. 0	940	214	分流式
下組・下之郷	下之郷、下組	H1～H21	H20	H7. 1. 1	72. 5	2, 690	537	分流式
下小島	下小島	H4～H7	H4	H7. 1. 1	16. 0	660	153	分流式
小井田	小井田	H4～H8	H4	H7. 10. 1	11. 0	300	70	分流式
古安曾	石神、鈴子、平井寺、柳沢	H5～H11	H5	H10. 4. 1	142. 0	2, 820	584	分流式
保野舞田	保野、舞田	H5～H11	H5	H10. 4. 1	75. 0	2, 990	609	分流式
豊殿南部	森、大日木、漆戸	H6～H11	H6	H11. 3. 1	18. 0	730	195	分流式
富士山	中組、奈良尾	H6～H11	H6	H11. 3. 1	52. 0	1, 610	353	分流式
八木沢	八木沢、八舞	H7～H12	H7	H11. 12. 1	45. 0	1, 800	416	分流式
浦里	越戸、浦野、藤之木	H7～H12	H7	H11. 12. 1	52. 0	2, 600	681	分流式
林之郷	林之郷	H8～H13	H8	H13. 7. 1	19. 0	1, 320	239	分流式
室賀	上室賀、下室賀、ひばりヶ丘	H8～H14	H8	H13. 12. 1	75. 0	2, 780	655	分流式
山田	山田	H9～H13	H9	H14. 4. 1	14. 0	550	105	分流式
小泉	小泉	H9～H14	H9	H14. 10. 1	68. 0	2, 990	626	分流式
殿城	矢沢、赤坂、下郷、宮之上、岩清水	H10～H16	H10	H16. 4. 1	95. 0	2, 460	620	分流式
布引	下之郷の一部	H6～H8	H6	H9. 10. 1	2. 0	180	18	分流式
本原	上原、下郷沢、中原、出早、町原の一部	S63～H4	S63	H3. 4. 20	32. 0	1, 270	306	分流式
上洗馬	田中、下横道、中横道、上横道	H4～H7	H4	H7. 4. 26	22. 0	970	234	分流式
本原南	大畑、下原、中原、表木、町原の一部	H8～H13	H8	H12. 12. 8	68. 0	2, 960	674	分流式
武石	鳥屋、沖、藪合、中島、七ヶ、片羽、堀の内、市ノ瀬、腰越の一部	H5～H9	H5	H9. 4. 1	153. 0	3, 570	820	分流式
本入	下本入、権現、下小寺尾、上小寺尾、唐沢、築地原	H7～H12	H7	H12. 4. 1	28. 0	870	255	分流式
余里小沢根	小沢根、余里	H9～H13	H9	H14. 4. 1	13. 7	520	169	分流式
					1, 142. 2	38, 980	8, 794	

	対象集落	事業年度	採択 年度	供用開始 年月日	計画			排除 方式
					面積 (ha)	人口 (人)	戸数 (戸)	
下組	(下之郷地区と統合し下組・下之郷)	S61～S63	S61	H1. 5. 12	17. 5	650	160	分流式
下之郷	(下組地区と統合し下組・下之郷)	H1～H7	H1	H7. 1. 1	55. 0	2, 700	443	分流式

計画汚水量			処理水の放流先名称
日最大 (m <sup>3</sup> /日)	日平均 (m <sup>3</sup> /日)	時間最大 (m <sup>3</sup> /hr)	
462.0	378.0	45.50	一級河川 浦野川
310.2	253.8	30.55	一級河川 浦野川
888.0	727.0	87.45	一級河川 尻無川
217.8	178.2	21.45	一級河川 産川
99.0	81.0	9.75	一級河川 瀬沢川
930.6	761.4	91.65	農業用排水路 ⇒ 一級河川 尻無川
986.7	807.3	97.18	一級河川 湯川
240.9	197.1	23.73	道路側溝 ⇒ 一級河川 神川
531.3	434.7	52.33	一級河川 尾根川
594.0	486.0	58.50	準用河川 腰巻川
858.0	702.0	84.50	用悪水路 ⇒ 一級河川 浦野川
435.6	356.4	42.90	道路側溝 ⇒ 一級河川 神川
917.4	750.6	90.35	一級河川 室賀川
181.5	148.5	17.88	農業用排水路 ⇒ 一級河川 追開沢川
986.7	807.3	97.18	農業用排水路 ⇒ 一級河川 浦野川
811.8	664.2	79.95	一級河川 神川
59.4	48.6	5.85	普通河川 三郎川
419.0	219.0	41.30	農業用排水路 ⇒ 一級河川 神川
320.0	150.0	31.50	一級河川 洗馬川
800.0	390.0	78.80	農業用排水路 ⇒ 一級河川 神川
1,176.1	964.0	116.00	一級河川 依田川
286.7	235.0	28.30	一級河川 武石川
172.0	141.0	16.90	砂防河川 小沢根川
12,684.7	9,881.1	1,249.50	

計画汚水量			処理水の放流先名称
日最大 (m <sup>3</sup> /日)	日平均 (m <sup>3</sup> /日)	時間最大 (m <sup>3</sup> /hr)	
/	/	/	一級河川 駒瀬川
/	/	/	一級河川 尻無川

## 2 財政の状況

### (1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移

(税込・単位:円)

項目	年度		令和3年度
	令和4年度	対前年度比	
農業集落排水事業収益	1,348,941,465	△2.76%	1,387,276,658
営業収益	468,383,513	△0.90%	472,654,986
営業外収益	879,984,524	△3.77%	914,464,758
特別利益	573,428	265.44%	156,914
農業集落排水事業費用	1,164,356,858	△2.82%	1,198,139,008
営業費用	1,061,757,680	△0.60%	1,068,181,649
営業外費用	102,599,178	△21.05%	129,957,359
収支差引額	184,584,607	△2.41%	189,137,650

(税込・単位:円)

項目	年度		令和3年度
	令和4年度	対前年度比	
損益勘定留保資金発生額	291,388,450	1.70%	286,527,962
減価償却費	633,108,162	△2.25%	647,652,884
長期前受金戻入(△)	346,376,240	△1.77%	352,630,046
固定資産除却費	5,335,626	432.01%	1,002,920
消費税資本的収支調整額	△679,098	△92.85%	△9,497,796
損益勘定留保資金補てん額	258,901,029	△10.08%	287,929,460
損益勘定留保資金残高	866,744,851	3.89%	834,257,430

## (2) 資本的収支及び補てん財源の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
資本的収入		468,741,000	34.02%	349,744,500
企業債		126,500,000	283.33%	33,000,000
国・県補助金		12,481,000	2288.71%	522,500
工事負担金		50,734,000	25.13%	40,544,000
他会計補助金		279,026,000	1.21%	275,678,000
資本的支出		924,044,475	14.80%	804,892,363
建設改良費		162,846,000	237.14%	48,301,660
企業債償還金		761,198,475	0.61%	756,590,703
収支差引額		△455,303,475	△0.03%	△455,147,863
資本的収入のうち翌年度繰越充当額		△2,233,000	皆増	-
実質収支差引額		△457,536,475	△0.52%	△455,147,863

(税込・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
補てん財源		457,536,475	0.52%	455,147,863
損益勘定留保資金		258,901,029	△10.08%	287,929,460
利益剰余金処分量		198,635,446	18.79%	167,218,403
減債積立金		198,635,446	18.79%	167,218,403
補てん不足額		-	—	-

## (2) 資本的収支及び補てん財源の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
資本的収入		468,741,000	34.02%	349,744,500
企業債		126,500,000	283.33%	33,000,000
国・県補助金		12,481,000	2288.71%	522,500
工事負担金		50,734,000	25.13%	40,544,000
他会計補助金		279,026,000	1.21%	275,678,000
資本的支出		924,044,475	14.80%	804,892,363
建設改良費		162,846,000	237.14%	48,301,660
企業債償還金		761,198,475	0.61%	756,590,703
収支差引額		△455,303,475	△0.03%	△455,147,863
資本的収入のうち翌年度繰越充当額		△2,233,000	皆増	-
実質収支差引額		△457,536,475	△0.52%	△455,147,863

(税込・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
補てん財源		457,536,475	0.52%	455,147,863
損益勘定留保資金		258,901,029	△10.08%	287,929,460
利益剰余金処分額		198,635,446	18.79%	167,218,403
減債積立金		198,635,446	18.79%	167,218,403
補てん不足額		-	—	-

## (3) 財務諸表の推移

## ア 比較損益計算書

(単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
営業収益		431,096,749	△0.91%	435,071,387
農業集落排水使用料		372,867,749	△0.79%	375,836,087
一般会計負担金		58,139,000	△1.69%	59,138,000
その他営業収益		90,000	△7.50%	97,300
営業費用		1,025,566,463	△0.71%	1,032,849,123
管渠費		61,715,271	△5.89%	65,575,827
処理場費		289,064,208	4.31%	277,124,797
水質規制費		261,600	11.18%	235,300
業務費		9,697,808	△4.07%	10,109,732
総係費		26,383,788	△15.29%	31,147,663
減価償却費		633,108,162	△2.25%	647,652,884
資産減耗費		5,335,626	432.01%	1,002,920
営業利益・損失		△594,469,714	0.55%	△597,777,736
営業外収益		880,046,689	△3.77%	914,555,028
受取利息及び配当金		336,724	△10.45%	376,003
他会計補助金		533,054,000	△5.02%	561,211,000
長期前受金戻入		346,376,240	△1.77%	352,630,046
その他雑収益		279,725	△17.24%	337,979
営業外費用		100,886,698	△14.72%	118,298,760
支払利息及び企業債取扱諸費		100,596,584	△14.63%	117,836,826
その他雑支出		290,114	△37.20%	461,934
経常利益・損失		184,690,277	△6.95%	198,478,532
特別利益		573,428	265.44%	156,914
その他特別利益		573,428	265.44%	156,914
当年度純利益・損失		185,263,705	△6.73%	198,635,446
その他未処分利益剰余金変動額		198,635,446	18.79%	167,218,403
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金		383,899,151	4.93%	365,853,849



イ 剰余金の推移

(単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
利益剰余金 (減債積立金・剰余金・欠損金の部)	前年度繰入額	198,635,446	18.79%	167,218,403
	当年度処分額	198,635,446	18.79%	167,218,403
	積立金合計	-	—	-
	前年度利益剰余金処分額	365,853,849	10.20%	331,990,324
	資本金への組み入れ	167,218,403	1.48%	164,771,921
	減債積立金	198,635,446	18.79%	167,218,403
	当年度純利益・損失	185,263,705	△6.73%	198,635,446
	前年度減債積立金からの組み入れ	198,635,446	18.79%	167,218,403
	当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金	383,899,151	4.93%	365,853,849
	資本剰余金の部	前年度処分額	-	—
当年度発生高		-	—	-
当年度処分額		-	皆減	26,987,990
当年度末残高		36,914,703	0.00%	36,914,703
翌年度繰越資本剰余金		36,914,703	0.00%	36,914,703

ウ 比較貸借対照表

(単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
固定資産		19,676,441,378	△2.43%	20,166,834,166
有形固定資産		19,674,569,378	△2.43%	20,164,962,166
土地	地	869,394,615	0.00%	869,394,615
建物	物	868,443,928	△1.74%	883,847,118
構築物	物	17,423,728,860	△3.05%	17,972,484,310
機械及び装置	置	493,414,087	16.01%	425,321,187
車両運搬具	具	64,850	0.00%	64,850
工具器具及び備品	品	2,359,038	△14.60%	2,762,198
建設仮勘定	定	17,164,000	54.80%	11,087,888
無形固定資産	産	1,872,000	0.00%	1,872,000
電話加入権	権	1,872,000	0.00%	1,872,000
投資その他の資産	産	-	-	-
破産更生債権	権	1,742,101	40.84%	1,236,903
貸倒引当金	金	△1,742,101	△40.84%	△1,236,903
流動資産		1,419,912,903	5.00%	1,352,289,076
現金及び預金	金	1,362,029,014	4.46%	1,303,860,549
預金	金	1,362,029,014	4.46%	1,303,860,549
未収金	金	57,883,889	19.52%	48,428,527
営業未収金	金	50,774,125	2.59%	49,494,342
営業外未収金	金	7,277,280	皆増	-
貸倒引当金	金	△167,516	84.28%	△1,065,815
資産合計	計	21,096,354,281	△1.96%	21,519,123,242

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
固	定	負債	債	
		4,220,478,237	△12.83%	4,841,720,364
企	業	債	債	
		3,953,092,671	△13.63%	4,576,756,615
建	設	改	良	
等	企	業	債	
		3,953,092,671	△13.63%	4,576,756,615
引	当	金		
		267,385,566	0.91%	264,963,749
修	繕	引	当	
		229,427,250	0.00%	229,427,250
退	職	給	付	
		37,958,316	6.82%	35,536,499
流	動	負	債	
		848,449,725	4.02%	815,630,926
企	業	債	債	
		750,163,944	△1.45%	761,198,475
建	設	改	良	
等	企	業	債	
		750,163,944	△1.45%	761,198,475
未	払	金		
		96,813,478	84.70%	52,415,859
営	業	未	払	
		40,438,478	△5.35%	42,722,259
営	業	外	未	
		-	皆減	5,623,600
そ	の	他	未	
		56,375,000	1285.14%	4,070,000
引	当	金		
		1,466,000	△27.28%	2,016,000
賞	与	引	当	
		1,227,000	△27.18%	1,685,000
法	定	福	利	
		239,000	△27.79%	331,000
そ	の	他	流	
		6,303	964.70%	592
預	り	金		
		6,303	964.70%	592
繰	延	収	益	
		12,520,451,611	△0.16%	12,540,060,949
長	期	前	受	
		21,881,188,017	1.27%	21,606,775,305
収	益	化	累	
		△ 9,360,736,406	△3.24%	△ 9,066,714,356
負	債	合	計	
		17,589,379,573	△3.34%	18,197,412,239
資	本	金		
		3,086,160,854	5.73%	2,918,942,451
自	己	資	本	
		3,086,160,854	5.73%	2,918,942,451
引	継	資	本	
		1,260,509,900	0.00%	1,260,509,900
組	入	資	本	
		1,825,650,954	10.08%	1,658,432,551
剰	余	金		
		420,813,854	4.48%	402,768,552
資	本	剰	余	
		36,914,703	0.00%	36,914,703
国	・	県	補	
		36,914,703	0.00%	36,914,703
利	益	剰	余	
		383,899,151	4.93%	365,853,849
当	年度	未	処	
		383,899,151	4.93%	365,853,849
資	本	合	計	
		3,506,974,708	5.58%	3,321,711,003
負	債	資	本	
		21,096,354,281	△1.96%	21,519,123,242

(注) 当年度未処分利益剰余金のうち、198,635,446円は、補てん財源として使用済み。

エ 比較キャッシュ・フロー計算書

(単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
1 業務活動による キャッシュ・フロー	当年度純損益	185,263,705	△6.73%	198,635,446
	減価償却費	633,108,162	△2.25%	647,652,884
	長期前受金戻入額	△ 346,376,240	△1.77%	△ 352,630,046
	支払利息及び企業債取扱諸費	100,596,584	△14.63%	117,836,826
	受取利息及び配当金	336,724	△10.45%	376,003
	固定資産除却費	5,335,626	432.01%	1,002,920
	未収金の増減額	△ 8,557,063	△233.69%	6,400,516
	未払金の増減額	44,397,619	137.87%	△ 117,250,084
	貸倒引当金の増減額	△ 393,101	18.08%	△ 479,873
	その他引当金の増減額	1,871,817	△13.67%	2,168,102
	破産更生債権の増減額	△ 505,198	△1334.06%	40,938
	その他流動負債の増減額	5,711	100.10%	△ 5,751,237
	小計	615,084,346	23.51%	498,002,395
	支払利息及び企業債取扱諸費	△ 100,596,584	△14.63%	△ 117,836,826
	受取利息及び配当金	△ 336,724	△10.45%	△ 376,003
	業務活動によるキャッシュ・フロー	514,151,038	35.38%	379,789,566
2 による投資活動 によるキャッシュ・フロー	有形固定資産の取得による支出	△ 148,051,000	237.16%	△ 43,910,600
	他会計補助金等による収入	326,766,902	△2.81%	336,205,644
	投資活動によるキャッシュ・フロー	178,715,902	△38.86%	292,295,044
3 財務活動による キャッシュ・フロー	企業債による収入	126,500,000	283.33%	33,000,000
	企業債の償還による支出	△ 761,198,475	0.61%	△ 756,590,703
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 634,698,475	△12.28%	△ 723,590,703
資金増減額	58,168,465	212.94%	△ 51,506,093	
資金期首残高	1,303,860,549	△3.80%	1,355,366,642	
資金期末残高	1,362,029,014	4.46%	1,303,860,549	

## (4) 費用構成の推移

(税抜・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度		
			構成比	対前年度比		構成比
費用合計		1,126,453,161	100.00%	△2.15%	1,151,147,883	100.00%
維持管理費①		387,412,789	34.39%	0.72%	384,655,253	33.41%
職員給与費		19,926,134	1.77%	△23.33%	25,989,635	2.26%
動力費		91,365,706	8.11%	42.06%	64,315,080	5.59%
光熱水費		660,657	0.06%	7.11%	616,800	0.05%
通信運搬費		4,187,444	0.37%	△3.12%	4,322,427	0.38%
修繕費		43,023,540	3.82%	△37.86%	69,236,260	6.01%
材料費		-	0.00%	皆減	593,362	0.06%
薬品費		3,142,500	0.28%	16.10%	2,706,640	0.24%
委託料		212,029,197	18.82%	2.97%	205,913,886	17.89%
その他		13,077,611	1.16%	19.31%	10,961,163	0.95%
資本費②		739,040,372	65.61%	△3.58%	766,492,630	66.59%
支払利息		100,596,584	8.93%	△14.63%	117,836,826	10.24%
減価償却費		633,108,162	56.20%	△2.25%	647,652,884	56.26%
その他		5,335,626	0.48%	432.01%	1,002,920	0.08%
公費負担分		700,648,600	62.20%	△3.09%	722,962,300	62.80%
維持管理費①'		261,600	0.02%	11.18%	235,300	0.02%
資本費②'		700,387,000	62.18%	△3.09%	722,727,000	62.78%
使用料対象経費③		425,804,561	37.80%	△0.56%	428,185,583	37.20%
維持管理費①-①'		387,151,189	34.37%	0.71%	384,419,953	33.39%
資本費②-②'		38,653,372	3.43%	△11.68%	43,765,630	3.80%

(税抜・単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度	
			対前年度比		
年間有収水量 (m <sup>3</sup> ) ④		1,995,235	△1.13%	2,017,939	
汚水処理原価 (円/m <sup>3</sup> ) ③/④		213.41	0.58%	212.19	
維持管理分		194.04	1.86%	190.50	
資本費分		19.37	△10.68%	21.69	
使用料収入 (円) ⑤		372,867,749	△0.79%	375,836,087	
使用料単価 (円/m <sup>3</sup> ) ⑤/④		186.88	0.34%	186.25	

## (5) 固定資産の推移

### ア 有形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
土地		869,394,615	0.00%	869,394,615
施設用地		869,394,615	0.00%	869,394,615
建物		868,443,928	△1.74%	883,847,118
施設用建物		868,443,928	△1.74%	883,847,118
構築物		17,423,728,860	△3.05%	17,972,484,310
排水設備		15,306,953,972	△3.02%	15,784,090,776
処理設備		2,021,655,124	△3.24%	2,089,257,196
その他構築物		95,119,764	△4.05%	99,136,338
機械及び装置		493,414,087	16.01%	425,321,187
電気設備		88,402,119	20.12%	73,597,886
ポンプ設備		77,013,799	△11.31%	86,834,963
滅菌設備		9,333,501	△0.20%	9,352,353
その他機械装置		318,664,668	24.70%	255,535,985
車両運搬具		64,850	0.00%	64,850
工具器具及び備品		2,359,038	△14.60%	2,762,198
建設仮勘定		17,164,000	54.80%	11,087,888

(注) 金額は減価償却累計額を減じた純額で掲載している。

### イ 無形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
電話加入権		1,872,000	0.00%	1,872,000

## (6) 企業債残高の推移

### ア 借入先別内訳

(単位:円)

借入先	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
財政 金融 資金	借入額	126,500,000	283.33%	33,000,000
	返済額	487,781,080	2.33%	476,673,604
	年度末未償還残高	3,431,207,511	△9.53%	3,792,488,591
地方 金融 機構	借入額	-	-	-
	返済額	273,417,395	△2.32%	279,917,099
	年度末未償還残高	1,272,049,104	△17.69%	1,545,466,499
合計	借入額	126,500,000	283.33%	33,000,000
	返済額	761,198,475	0.61%	756,590,703
	年度末未償還残高	4,703,256,615	△11.89%	5,337,955,090

### イ 利率別年度末残高

(単位:円)

利率	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
1.0%未満		307,755,180	68.52%	182,618,427
1.0%以上2.0%未満		1,382,220,094	△12.14%	1,573,282,323
2.0%以上3.0%未満		2,769,112,319	△13.39%	3,197,120,212
3.0%以上4.0%未満		201,496,455	△32.59%	298,891,841
4.0%以上5.0%未満		42,672,567	△50.41%	86,042,287

## (7) 繰入金の推移

(単位:円)

項目	年度	令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
損 益 勘 定 繰 入 金	営業収益	58,139,000	△1.69%	59,138,000
	基準内繰入金	58,139,000	△1.69%	59,138,000
	基準外繰入金	-	-	-
資本 勘 定 繰 入 金	営業外収益	533,054,000	△5.02%	561,211,000
	基準内繰入金	388,879,000	△2.93%	400,605,000
	基準外繰入金	144,175,000	△10.23%	160,606,000
合計	計	591,193,000	△4.70%	620,349,000
	基準内繰入金	447,018,000	△2.77%	459,743,000
	基準外繰入金	144,175,000	△10.23%	160,606,000
資本 勘 定 繰 入 金	定繰入金	279,026,000	1.21%	275,678,000
	基準内繰入金	279,026,000	1.21%	275,678,000
合計	計	870,219,000	△2.88%	896,027,000
	基準内繰入金	726,044,000	△1.28%	735,421,000
	基準外繰入金	144,175,000	△10.23%	160,606,000

## (8) 経営分析

### ア 労働の生産性

項目		令和4年度		令和3年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
平均給与 (千円)	上田市	6,642	↓2,021	8,663	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの職員給与費を示す。高すぎても低すぎてもよくない。
	全国平均			6,134		
労働生産性 (千円)	上田市	143,699	↓1,325	145,024	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの営業収益を示す。高いほどよい。
	全国平均			50,663		
労働分配率 (%)	上田市	4.62	↓1.35	5.97	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうち、職員に分配される割合を示す。高すぎても低すぎてもよくない。
	全国平均			12.11		
職員1人あたり有収水量 (㎡/人)	上田市	665,078	↓7,568	672,646	$\frac{\text{有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	効率的な経営がされているかを示す。高いほどよい。
	全国平均			324,120		

### イ 施設の効率性

項目		令和4年度		令和3年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
施設利用率 (%)	上田市	55.98	↓1.62	57.60	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{処理能力}} \times 100$	施設の能力のうち、実際に利用されている割合を示す。高いほどよい。
	全国平均			64.93		
負荷率 (%)	上田市	77.34	↑24.63	52.71	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{1日最大処理水量}} \times 100$	高いほどよい。なお、この値が低いとピーク時以外に利用しない容量が生じ、非効率となる。
	全国平均			80.47		
最大稼働率 (%)	上田市	72.39	↓36.89	109.28	$\frac{\text{1日最大処理水量}}{\text{処理能力}} \times 100$	高いほどよい。ただし、100%に近い場合は施設能力が限界に近いことを示す。
	全国平均			80.70		
有収率 (%)	上田市	98.34	↑1.20	97.14	$\frac{\text{有収水量}}{\text{年間処理水量}} \times 100$	処理水量のうち、どの程度、実際に使用料収入に結びついたかを示す。高いほどよい。
	全国平均			88.70		
管渠使用効率 (㎡/m)	上田市	7.62	↓0.19	7.81	$\frac{\text{年間処理水量}}{\text{管渠総延長}}$	管1mあたり、どの程度の汚水が流れたかを示す。高いほどよい。
	全国平均			5.75		



ウ 経営資本の効率性及び財政状態の健全性

項目		令和4年度		令和3年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
経営資本 営業利益率 (%)	上田市	△ 2.79	↓ 0.13	△ 2.66	$\frac{\text{営業利益}}{\text{平均経営資本}} \times 100$	投下した経営資本と営業利益との関係を示す。高いほどよい。
	全国平均			△ 8.75		
営業収益 営業利益率 (%)	上田市	△ 137.90	↓ 0.50	△ 137.40	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうち、営業利益になった割合を示す。高いほどよい。
	全国平均			△ 329.65		
経営資本 回転率 (回)	上田市	0.02	0.00	0.02	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均経営資本}}$	投下した経営資本と営業収益との関係を示す。高いほどよい。
	全国平均			0.03		
経常収支比率 (%)	上田市	116.40	↓ 0.84	117.24	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	経常的な収支の関係を示す。高いほどよい。100%以上なら経常利益が出ている。
	全国平均			104.14		
使用料単価 (円/㎡)	上田市	186.88	↑ 0.63	186.25	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{有収水量}}$	使用料対象水量1㎡当たりの使用料を示す。高いほど使用料水準が高い。
	全国平均			154.83		
汚水処理原価 (円/㎡)	上田市	213.41	↑ 1.22	212.19	$\frac{\text{汚水処理費用}}{\text{有収水量}}$	使用料対象水量1㎡当たりの処理費用を示す。高いほど使用料水準を高くする必要がある。
	全国平均			237.68		
企業債 元利償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	231.13	↓ 1.53	232.66	$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	企業債発行額が事業規模に対して適正かどうかを示す。低いほどよい。
	全国平均			317.21		
企業債 元金償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	204.15	↑ 2.84	201.31	$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	使用料収入のうち、企業債返済に充てられる割合を示す。低いほどよい。
	全国平均			268.85		
企業債利息対 料金収入比率 (%)	上田市	26.98	↓ 4.37	31.35	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	使用料収入のうち、企業債利息に充てられる割合を示す。低いほどよい。
	全国平均			48.36		
減価償却率 (%)	上田市	3.26	↑ 0.01	3.25	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{減価償却対象資産}} \times 100$	償却資産に投資した資金の回収速度を示す。高いほどよい。
	全国平均			3.59		

(注) 平均経営資本 = {総資産 - (建設仮勘定 + 投資その他の資産 + 繰延収益)} の前年度末当年度末平均

(注) 減価償却費対象資産 = 有形固定資産 + 無形固定資産 - (土地 + 建設仮勘定) + 減価償却費

項目		令和4年度		令和3年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
固定資産 構成比率 (%)	上田市	93.27	↓ 0.45	93.72	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$	資産合計に対する固定資産の割合を示す。低いほどよい。
	全国平均			98.45		
自己資本 構成比率 (%)	上田市	75.97	↑ 2.26	73.71	$\frac{\text{資本} + \text{繰延収益}}{\text{総資本}} \times 100$	企業の自己資本調達度を示す。高いほどよい。
	全国平均			65.47		
固定比率 (%)	上田市	122.77	↓ 4.37	127.14	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本} + \text{繰延収益}} \times 100$	自己資本で固定資産をどの程度賅っているかを示す。低いほどよい。
	全国平均			150.38		
固定負債 構成比率 (%)	上田市	20.01	↓ 2.49	22.50	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本に対する固定負債の割合を示す。低いほどよい。
	全国平均			30.11		
固定資産 長期資本比率 (%)	上田市	97.18	↓ 0.23	97.41	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	固定資産への投資の健全性を示す。低いほどよい。
	全国平均			103.01		
流動比率 (%)	上田市	167.35	↑ 1.55	165.80	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	企業の短期的な支払能力を示す。高いほどよい。
	全国平均			35.02		
酸性試験比率 (当座比率) (%)	上田市	167.35	↑ 1.55	165.80	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	流動比率よりもさらに即時的な支払能力を示す。高いほどよい。
	全国平均			34.34		

\* 全国平均は、法適用(財務適用を含む)の農業集落排水事業及び小規模集合排水処理施設事業の平均である。

\* 出典: 地方公営企業年鑑

### 3 業務の状況

#### (1) 業務量

年度		令和4年度		令和3年度
			対前年度比	
A	行政区域内人口 (人)	152,986	△0.74%	154,134
B	対象区域内人口 (人)	23,519	△1.01%	23,758
C	整備済人口 (人)	23,519	△1.01%	23,758
D	処理区域内人口 (人)	23,519	△1.01%	23,758
E	水洗化人口 (人)	22,384	△0.40%	22,473
C/A	整備率 (対行政区域内) (%)	15.37	/	15.41
C/B	(対対象区域内) (%)	100.00		100.00
D/A	普及率 (対行政区域内) (%)	15.37	/	15.41
D/B	(対対象区域内) (%)	100.00		100.00
E/A	水洗化率 (対行政区域内) (%)	14.63	/	14.58
E/B	(対対象区域内) (%)	95.17		94.59
E/D	(対処理区域内) (%)	95.17		94.59
F	処理区域内戸数 (戸)	10,125	0.46%	10,079
G	水洗化戸数 (戸)	9,510	1.25%	9,393
G/F	水洗化率 (%)	93.93	/	93.19
	整備面積 (ha)	1,141.20	0.00%	1,141.20
	処理可能面積 (ha)	1,141.20	0.00%	1,141.20
	使用料調定件数 (件)	56,129	0.73%	55,721
H	年間処理水量 (m <sup>3</sup> )	2,028,900	△2.33%	2,077,396
I	年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	1,995,235	△1.13%	2,017,939
I/H	有収率 (%)	98.34	/	97.14

## (2) 水洗化人口の推移

(単位:人)

事業・処理区	年度	令和4年度			令和3年度		
		処理区域内人口	水洗化率	対前年度比	増減		
上田農業集落排水事業		16,448	17,241	95.4%	△0.28%	-47	16,495
下組		595	595	100.0%	△2.14%	-13	608
仁古田		941	943	99.8%	△2.49%	-24	965
下之郷		1,290	1,329	97.1%	△2.64%	-35	1,325
岡		570	631	90.3%	△1.21%	-7	577
下小島		335	335	100.0%	6.01%	19	316
小井田		200	200	100.0%	△1.96%	-4	204
古安曾		1,693	1,756	96.4%	△0.65%	-11	1,704
保野舞田		1,956	2,019	96.9%	0.00%	0	1,956
豊殿南部		386	416	92.8%	△2.53%	-10	396
富士山		1,155	1,188	97.2%	△0.60%	-7	1,162
八木沢		909	929	97.8%	△0.87%	-8	917
浦里		1,230	1,270	96.9%	0.82%	10	1,220
室賀		1,375	1,513	90.9%	3.07%	41	1,334
林之郷		466	511	91.2%	△5.09%	-25	491
山田		206	207	99.5%	△0.48%	-1	207
小泉		1,861	1,922	96.8%	3.27%	59	1,802
殿城		1,280	1,477	86.7%	△2.36%	-31	1,311
真田農業集落排水事業		3,178	3,243	98.0%	0.51%	16	3,162
本原		1,032	1,034	99.8%	0.98%	10	1,022
上洗馬		488	497	98.2%	△0.61%	-3	491
本原南		1,658	1,712	96.8%	0.55%	9	1,649
武石農業集落排水事業		2,711	2,983	90.9%	△2.09%	-58	2,769
武石		2,056	2,213	92.9%	△2.61%	-55	2,111
本入		407	478	85.1%	0.49%	2	405
余里小沢根		248	292	84.9%	△1.98%	-5	253
上田小規模集合排水処理事業		52	52	100.0%	10.64%	5	47
布引		52	52	100.0%	10.64%	5	47
計		22,389	23,519	95.2%	△0.37%	-84	22,473

### (3) 加入金の額

(単位:円)

区分・処理区		期間	平成18年3月6日～
一般住宅	下組 仁古田 岡 下之郷 下小島 小井田 古安曾 保野舞田 豊殿南部 富士山 八木沢 浦里 林之郷 室賀 山田 小泉 殿城 布引		678,000
	本原 上洗馬 本原南 武石 本入 余里小沢根		400,000
その他	全地区		管理者が定める。

### (4) 農集排使用料の収納状況の推移

(税込・単位:円)

年度	調定額	収入額	収入未済額	現年収納率		不納欠損額
					対前年度比	
令和3年度	413,419,686	410,892,171	2,527,515	99.39%	0.20	1,072,071
令和4年度	410,154,513	407,216,789	2,937,724	99.28%	△0.11	619,118

(注) それぞれ、翌年度5月末日時点の数値である。

### (5) 農集排使用料の納付方法(1期当たり平均)

(単位:件)

納付方法	年度	令和4年度		令和3年度		
		構成比	対前年度比		構成比	
口座振替		5,070	85.37%	0.04%	5,068	85.51%
直接納付		869	14.63%	1.16%	859	14.49%
	コンビニエンスストア	742	12.49%	5.25%	705	11.89%
	その他	127	2.14%	△17.53%	154	2.60%
合計		5,939	100.00%	0.20%	5,927	100.00%

## 4 施設の状況

### (1) 処理場の状況

処理場名	処理方式	位置	系列数	構造	延べ床面積(m <sup>2</sup> )
下組	JARUS-Ⅲ型	上田市富士山1742番地3	平成22年4月 廃止		87.03
仁古田	JARUS-Ⅲ型	上田市仁古田477番地1	2系列	RC造	168.82
岡	JARUS-Ⅲ型	上田市岡93番地1	1系列	RC造	208.07
下之郷	JARUS-OD型	上田市下之郷436番地	1系列	RC造	588.43
下小島	JARUS-Ⅲ型	上田市本郷1170番地2	1系列	RC造	201.98
小井田	JARUS-Ⅲ型	上田市芳田338番地2	1系列	RC造	106.51
古安曾	JARUS-OD型	上田市古安曾2585番地	1系列	RC造	531.91
保野舞田	JARUS-OD型	上田市保野981番地2	1系列	RC造	524.74
豊殿南部	JARUS-Ⅲ型	上田市漆戸226番地1	1系列	RC造	221.96
富士山	JARUS-Ⅲ型	上田市富士山2990番地	2系列	RC造	277.03
八木沢	JARUS-Ⅲ型	上田市八木沢1番地	2系列	RC造	333.12
浦里	JARUS-OD型	上田市越戸158番地1	1系列	RC造	452.70
林之郷	JARUS-XⅣ型	上田市林之郷482番地3	1系列	RC造	415.27
室賀	JARUS-OD型	上田市下室賀164番地1	1系列	RC造	633.49
山田	JARUS-XⅣ型	上田市山田473番地3	1系列	RC造	131.40
小泉	JARUS-XⅣ型	上田市小泉1302番地28	2系列	RC造	478.41
殿城	JARUS-XⅣ型	上田市殿城617番地	1系列	RC造	508.14
布引	JARUS-S型	上田市下之郷乙715番地1	1系列	RC造	10.00
藤原田	JARUS-Ⅲ型	上田市藤原田794番地1	令和2年4月 廃止		
荻窪	JARUS-Ⅲ型	上田市東内3129番地1	令和3年4月 廃止		
和子	JARUS-OD型	上田市東内1147番地	令和3年4月 廃止		
本原	JARUS-Ⅲ型	上田市真田町本原1988番地1	2系列	RC造	142.4
上洗馬	JARUS-Ⅲ型	上田市真田町傍陽5107番地	2系列	RC造	271.5
本原南	JARUS-OD型	上田市真田町本原679番地1	1系列	RC造	261.8
武石	JARUS-OD型	上田市武石沖6番地3	1系列	RC造	623.04
本入	JARUS-Ⅲ型	上田市武石下本入94番地1	1系列	RC造	173.29
余里小沢根	JARUS-Ⅲ型	上田市武石小沢根834番地2	1系列	RC造	152.95

- ・JARUS-S型 ……(接触ばっ気方式)  
槽内に設置した接触材の表面に好気性微生物を固着させ、ばっ気攪拌により微生物が汚水中の有機物を分解する方式
- ・JARUS-Ⅲ型 ……(嫌気濾床併用接触ばっ気方式)  
「汚水と嫌気性微生物が接触して、汚水中の有機物を分解する方式」と「槽内に設置した接触材の表面に好気性微生物を固着させ、ばっ気攪拌により微生物が汚水中の有機物を分解する方式」を組み合わせた方式
- ・JARUS-OD型 ……(オキシデーションデイツ方式)  
反応槽としての循環水路(OD槽)と沈澱槽から構成され、循環水路内にばっ気装置を設け、これにより汚水と活性汚泥を混合・循環させながら酸素を供給し処理を行う方式
- ・JARUS-XⅣ型 ……(連続流入間欠ばっ気方式)  
汚水の流入を連続で受け入れつつ、ばっ気槽での運転(嫌気・好気)を制御機器等を活用して間欠で行う方式

(2) 管渠延長等の状況

ア 管路延長の状況

(単位:m)

処理区	年度	年度末 延長	令和4年度		令和3年度 年度末 延長
			布設	除却	
上田地区	下組	4,333	0	0	4,333
	仁古田	7,426	0	0	7,426
	岡	6,880	0	0	6,880
	下之郷	12,025	0	0	12,025
	下小島	3,568	0	0	3,568
	小井田	2,948	0	0	2,948
	古安曾	20,905	0	0	20,905
	保野舞田	16,053	0	0	16,053
	豊殿南部	5,333	0	0	5,333
	富士山	13,108	0	0	13,108
	八木沢	10,278	0	0	10,278
	浦里	13,718	0	0	13,718
	林之郷	5,182	0	0	5,182
	室賀	21,167	0	0	21,167
	山田	4,283	0	0	4,283
	小泉	21,245	0	0	21,245
	殿城	20,422	0	0	20,422
	布引	506	0	0	506
真田地区	本原	7,424	0	0	7,424
	上洗馬	7,797	0	0	7,797
	本原南	13,755	0	0	13,755
武石地区	武石	27,491	0	0	27,491
	本入	12,735	0	0	12,735
	余里小沢根	7,508	0	0	7,508
合計		266,090	0	0	266,090

イ マンホールポンプの設置状況

(単位:箇所)

処理区	年度	年度末 箇所数	令和4年度		令和3年度 年度末 箇所数
			布設	除却	
上田地区	下組	6	0	0	6
	仁古田	1	0	0	1
	岡	9	0	0	9
	下之郷	10	0	0	10
	下小島	1	0	0	1
	小井田	2	0	0	2
	古安曾	7	0	0	7
	保野舞田	8	0	0	8
	豊殿南部	2	0	0	2
	富士山	6	0	0	6
	八木沢	12	0	0	12
	浦里	6	0	0	6
	林之郷	3	0	0	3
	室賀	9	0	0	9
	山田	4	0	0	4
	小泉	7	0	0	7
	殿城	10	0	0	10
布引	0	0	0	0	
真田地区	本原	0	0	0	0
	上洗馬	0	0	0	0
	本原南	2	0	0	2
武石地区	武石	16	0	0	16
	本入	4	0	0	4
	余里小沢根	8	0	0	8
合計		133	0	0	133

## (3) 処理水量の推移

(単位: m<sup>3</sup>)

処理場名	令和4年度		令和3年度		
	平成22年4月	対前年度比			
下組	平成22年4月	廃止			
仁古田	78,830.1	△4.03%	82,144.6		
岡	52,379.1	△0.06%	52,411.9		
下之郷	178,229.3	△5.87%	189,347.1		
下小島	31,068.2	7.02%	29,031.1		
小井田	18,829.8	△1.53%	19,123.1		
古安曾	150,573.7	△1.75%	153,255.6		
保野舞田	173,765.5	△3.22%	179,548.7		
上田地区	豊殿南部	39,376.6	△2.39%	40,340.3	
	富士山	101,547.0	△1.98%	103,595.4	
	八木沢	76,536.5	△3.75%	79,521.9	
	浦里	105,238.2	△3.28%	108,803.5	
	林之郷	42,881.3	△1.81%	43,669.6	
	室賀	107,652.0	△1.70%	109,517.0	
	山田	13,359.9	0.07%	13,350.2	
	小泉	162,971.4	△1.89%	166,115.9	
	殿城	122,109.6	0.17%	121,901.7	
	布引	6,380.2	1.39%	6,293.0	
	小計	1,461,728.5	△2.42%	1,497,970.6	
	丸子地区	藤原田	令和2年4月	廃止	
		荻窪	令和3年4月	廃止	
		和子	令和3年4月	廃止	
		小計	0.0	0.00%	0.0
真田地区	本原	94,462.2	△6.74%	101,289.5	
	上洗馬	43,555.3	△1.23%	44,099.1	
	本原南	152,903.3	△1.48%	155,196.0	
	小計	290,920.8	△3.22%	300,584.6	
武石地区	武石	211,982.8	△1.54%	215,308.7	
	本入	37,767.3	△1.68%	38,413.5	
	余里小沢根	26,501.0	5.50%	25,118.4	
	小計	276,251.1	△0.93%	278,840.6	
合計	2,028,900.4	△2.33%	2,077,395.8		



(4) 電力(動力)量の推移

(単位:kwh)

(単位:kwh)

処理区	令和4年度		令和3年度	
		対前年度比		
下組	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	平成22年4月 廃止		
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
	合計			
仁古田	4月	10,714	△14.33%	12,506
	5月	11,640	△3.56%	12,070
	6月	10,098	△2.55%	10,362
	7月	11,084	1.34%	10,937
	8月	11,312	△6.94%	12,156
	9月	10,482	2.34%	10,242
	10月	11,076	7.22%	10,330
	11月	10,038	△13.47%	11,600
	12月	10,533	△0.52%	10,588
	1月	12,464	0.38%	12,417
	2月	10,872	6.59%	10,200
	3月	10,150	3.58%	9,799
合計	130,463	△2.06%	133,207	
岡	4月	10,997	19.35%	9,214
	5月	10,483	6.00%	9,890
	6月	9,374	9.15%	8,588
	7月	10,537	14.20%	9,227
	8月	10,086	△3.60%	10,463
	9月	9,907	20.19%	8,243
	10月	11,216	17.83%	9,519
	11月	9,310	2.17%	9,112
	12月	9,082	5.56%	8,604
	1月	10,710	5.74%	10,129
	2月	8,967	2.34%	8,762
	3月	8,867	5.90%	8,373
	合計	119,536	8.55%	110,124
下之郷	4月	26,012	△7.34%	28,073
	5月	24,673	△8.63%	27,004
	6月	25,564	△10.48%	28,557
	7月	25,069	△12.51%	28,655
	8月	25,163	△8.56%	27,520
	9月	25,088	△9.44%	27,704
	10月	24,378	△7.82%	26,446
	11月	23,705	△12.51%	27,095
	12月	23,944	△9.27%	26,390
	1月	25,100	△9.33%	27,683
	2月	25,460	2.39%	24,866
	3月	21,716	△2.56%	22,286
	合計	295,872	△8.19%	322,279
下小島	4月	7,663	4.63%	7,324
	5月	8,266	5.38%	7,844
	6月	6,855	2.36%	6,697
	7月	7,215	0.98%	7,145
	8月	7,902	△2.82%	8,131
	9月	6,978	2.29%	6,822
	10月	7,975	13.22%	7,044
	11月	6,858	△10.98%	7,704
	12月	6,955	△1.08%	7,031
	1月	8,127	△3.89%	8,456
	2月	6,893	△6.38%	7,363
	3月	6,755	△7.97%	7,340
	合計	88,442	△0.52%	88,901

処理区	令和4年度		令和3年度	
		対前年度比		
小井田	4月	5,457	42.11%	3,840
	5月	5,767	68.13%	3,430
	6月	4,733	33.21%	3,553
	7月	5,451	39.34%	3,912
	8月	5,630	8.17%	5,205
	9月	5,238	8.18%	4,842
	10月	5,289	16.73%	4,531
	11月	5,277	11.24%	4,744
	12月	4,917	2.10%	4,816
	1月	5,370	6.67%	5,034
	2月	4,577	△10.22%	5,098
	3月	4,721	22.62%	3,850
	合計	62,427	18.11%	52,855
古安曾	4月	19,120	2.47%	18,660
	5月	18,652	3.40%	18,038
	6月	19,156	0.95%	18,975
	7月	18,633	△1.61%	18,937
	8月	19,245	△2.60%	19,758
	9月	20,127	7.35%	18,749
	10月	20,143	8.56%	18,554
	11月	20,306	7.48%	18,892
	12月	19,063	3.23%	18,466
	1月	19,365	2.14%	18,959
	2月	19,308	1.43%	19,036
	3月	17,691	3.58%	17,080
合計	230,809	2.99%	224,104	
保野舞田	4月	21,983	△2.30%	22,501
	5月	22,440	1.21%	22,172
	6月	22,829	△1.47%	23,170
	7月	22,171	△5.18%	23,381
	8月	23,744	△4.60%	24,888
	9月	23,758	△3.34%	24,580
	10月	22,921	3.77%	22,089
	11月	21,876	△2.60%	22,461
	12月	20,429	△2.28%	20,906
	1月	20,117	△9.25%	22,168
	2月	20,241	△7.66%	21,921
	3月	17,739	△8.67%	19,422
	合計	260,248	△3.49%	269,659
豊殿南部	4月	8,382	4.10%	8,052
	5月	8,141	9.39%	7,442
	6月	6,877	0.95%	6,812
	7月	7,467	15.04%	6,491
	8月	7,714	18.53%	6,508
	9月	7,024	26.81%	5,539
	10月	7,131	13.23%	6,298
	11月	7,229	2.87%	7,027
	12月	6,838	△5.41%	7,229
	1月	8,396	6.78%	7,863
	2月	7,062	△6.39%	7,544
	3月	6,940	13.92%	6,092
	合計	89,201	7.60%	82,897
富士山	4月	17,131	5.27%	16,274
	5月	16,791	10.59%	15,183
	6月	13,630	△1.20%	13,795
	7月	14,472	△8.97%	15,898
	8月	15,442	△7.14%	16,629
	9月	14,028	△1.08%	14,181
	10月	14,353	△2.97%	14,792
	11月	14,362	△4.80%	15,086
	12月	14,241	△9.28%	15,697
	1月	16,421	0.48%	16,342
	2月	13,777	△12.02%	15,660
	3月	13,233	0.07%	13,224
	合計	177,881	△2.67%	182,761

(単位:kwh)

処理区	令和4年度		令和3年度	
		対前年度比		
八木沢	4月	14,993	2.50%	14,628
	5月	16,985	21.63%	13,965
	6月	12,584	△1.45%	12,769
	7月	14,157	△4.72%	14,859
	8月	14,649	△8.52%	16,014
	9月	13,855	4.71%	13,232
	10月	10,524	△21.53%	13,411
	11月	13,341	△2.16%	13,636
	12月	12,550	△2.94%	12,930
	1月	15,245	18.86%	12,826
	2月	12,219	△3.20%	12,623
	3月	12,527	24.33%	10,076
合計	163,629	1.65%	160,969	
浦里	4月	15,023	△4.91%	15,798
	5月	15,092	△1.23%	15,280
	6月	15,932	△1.61%	16,193
	7月	16,127	0.91%	15,981
	8月	16,802	2.88%	16,332
	9月	16,368	0.82%	16,235
	10月	14,685	0.64%	14,592
	11月	14,827	△0.96%	14,970
	12月	14,176	△2.11%	14,482
	1月	15,028	△3.47%	15,569
	2月	14,780	△4.04%	15,403
	3月	13,522	△3.91%	14,072
合計	182,362	△1.38%	184,907	
林之郷	4月	8,426	△1.20%	8,528
	5月	7,982	△3.76%	8,294
	6月	8,069	△4.89%	8,484
	7月	7,697	△4.57%	8,066
	8月	7,998	△7.21%	8,619
	9月	8,324	△0.06%	8,329
	10月	7,614	△6.66%	8,157
	11月	7,691	△6.25%	8,204
	12月	7,621	△5.19%	8,038
	1月	7,945	△6.02%	8,454
	2月	8,403	0.50%	8,361
	3月	7,898	4.04%	7,591
合計	95,668	△3.49%	99,125	
室賀	4月	16,467	△1.18%	16,663
	5月	15,914	△0.80%	16,043
	6月	16,213	△5.70%	17,193
	7月	15,972	△3.73%	16,590
	8月	17,474	1.97%	17,136
	9月	17,237	△0.44%	17,313
	10月	16,036	1.97%	15,726
	11月	15,839	△0.57%	15,929
	12月	15,498	0.97%	15,349
	1月	16,088	1.18%	15,901
	2月	16,533	0.59%	16,436
	3月	14,728	△0.48%	14,799
合計	193,999	△0.55%	195,078	
山田	4月	5,584	△0.27%	5,599
	5月	5,397	△8.59%	5,904
	6月	4,959	△1.37%	5,028
	7月	5,776	△6.14%	6,154
	8月	5,195	△2.88%	5,349
	9月	5,639	0.86%	5,591
	10月	4,818	△0.78%	4,856
	11月	4,851	△7.79%	5,261
	12月	4,521	△5.95%	4,807
	1月	5,544	△5.49%	5,866
	2月	4,735	△6.44%	5,061
	3月	4,597	△6.43%	4,913
合計	61,616	△4.31%	64,389	

(単位:kwh)

処理区	令和4年度		令和3年度	
		対前年度比		
小泉	4月	21,551	△2.49%	22,102
	5月	20,933	△2.21%	21,406
	6月	21,619	△2.53%	22,181
	7月	21,241	5.88%	20,061
	8月	21,253	△3.03%	21,916
	9月	21,619	△2.14%	22,092
	10月	20,895	△0.69%	21,040
	11月	21,707	0.47%	21,606
	12月	21,097	△0.21%	21,141
	1月	22,067	0.18%	22,028
	2月	22,076	1.35%	21,783
	3月	20,046	2.35%	19,585
合計	256,104	△0.33%	256,941	
殿城	4月	11,636	△0.39%	11,682
	5月	11,099	△2.37%	11,369
	6月	11,465	△0.54%	11,527
	7月	11,021	△0.11%	11,033
	8月	11,524	2.23%	11,273
	9月	11,111	△2.72%	11,422
	10月	10,505	△4.33%	10,980
	11月	10,939	△3.41%	11,325
	12月	10,673	△5.21%	11,260
	1月	11,417	△0.41%	11,464
	2月	11,557	0.37%	11,514
	3月	10,225	△3.45%	10,590
合計	133,172	△1.67%	135,439	
布引	4月	1,689	14.12%	1,480
	5月	1,518	11.78%	1,358
	6月	1,439	27.91%	1,125
	7月	1,674	16.17%	1,441
	8月	1,190	△28.57%	1,666
	9月	1,121	△15.46%	1,326
	10月	1,184	△26.32%	1,607
	11月	1,022	△39.53%	1,690
	12月	1,062	△23.49%	1,388
	1月	1,266	△36.06%	1,980
	2月	1,086	△33.74%	1,639
	3月	1,035	△24.67%	1,374
合計	15,286	△15.43%	18,074	
藤原田	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	令和2年4月 廃止		
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
合計			0	
荻窪	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	令和3年4月 廃止		
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
合計			0	

(単位:kwh)

処理区	令和4年度		令和3年度	
		対前年度比		
和子	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月	令和3年4月 廃止		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
	合計		0	
	本原	4月	13,722	△10.13%
5月		15,233	0.71%	15,126
6月		12,845	△1.38%	13,025
7月		14,232	1.45%	14,028
8月		14,959	△6.32%	15,968
9月		13,899	6.10%	13,100
10月		15,016	15.35%	13,018
11月		13,535	△0.30%	13,576
12月		13,583	18.61%	11,452
1月		15,915	7.80%	14,763
2月		13,575	1.85%	13,328
3月		13,782	8.96%	12,649
合計		170,296	3.02%	165,301
上洗馬	4月	9,762	0.91%	9,674
	5月	9,858	14.49%	8,610
	6月	7,259	△7.35%	7,835
	7月	4,881	△48.15%	9,414
	8月	7,207	△27.31%	9,915
	9月	8,694	6.04%	8,199
	10月	8,611	2.89%	8,369
	11月	8,930	5.43%	8,470
	12月	8,633	△4.11%	9,003
	1月	10,129	10.16%	9,195
	2月	8,486	△7.78%	9,202
	3月	8,219	10.78%	7,419
	合計	100,669	△4.40%	105,305
本原南	4月	15,381	△1.54%	15,622
	5月	15,284	△0.20%	15,315
	6月	15,159	△3.14%	15,651
	7月	14,845	△3.09%	15,319
	8月	15,865	0.42%	15,799
	9月	15,793	0.17%	15,766
	10月	15,238	0.03%	15,233
	11月	15,369	△2.34%	15,738
	12月	14,799	△3.27%	15,299
	1月	14,196	△12.87%	16,293
	2月	14,317	△8.45%	15,638
	3月	12,857	△5.75%	13,642
	合計	179,103	△3.35%	185,315
武石	4月	24,540	0.08%	24,520
	5月	24,222	1.17%	23,943
	6月	24,772	3.17%	24,011
	7月	24,127	△5.06%	25,413
	8月	25,513	△4.46%	26,703
	9月	24,759	△6.91%	26,596
	10月	23,743	△5.34%	25,082
	11月	24,442	△3.74%	25,391
	12月	23,627	△1.64%	24,020
	1月	24,785	△2.10%	25,316
	2月	25,230	2.13%	24,705
	3月	22,358	0.17%	22,320
	合計	292,118	△1.98%	298,020

(単位:kwh)

処理区	令和4年度		令和3年度	
		対前年度比		
本入	4月	5,214	△12.07%	5,930
	5月	5,716	△10.14%	6,361
	6月	4,868	△7.93%	5,287
	7月	5,829	△7.87%	6,327
	8月	5,230	△3.38%	5,413
	9月	6,005	10.06%	5,456
	10月	5,406	7.24%	5,041
	11月	5,384	33.04%	4,047
	12月	5,016	18.41%	4,236
	1月	6,514	10.69%	5,885
	2月	5,399	6.41%	5,074
	3月	5,312	7.38%	4,947
	合計	65,893	2.95%	64,004
余里小沢根	4月	4,123	△14.95%	4,848
	5月	4,024	△23.51%	5,261
	6月	3,708	△14.92%	4,358
	7月	4,413	△15.10%	5,198
	8月	4,139	△14.80%	4,858
	9月	4,571	2.47%	4,461
	10月	3,804	10.39%	3,446
	11月	4,005	3.49%	3,870
	12月	3,795	6.18%	3,574
	1月	4,773	4.79%	4,555
	2月	4,087	6.96%	3,821
	3月	3,862	4.92%	3,681
	合計	49,304	△5.06%	51,931
合計	4月	295,570	△1.08%	298,786
	5月	296,110	1.65%	291,308
	6月	280,007	△1.81%	285,176
	7月	284,091	△3.52%	294,467
	8月	295,236	△4.21%	308,219
	9月	291,625	0.55%	290,020
	10月	282,561	0.86%	280,161
	11月	280,843	△2.29%	287,434
	12月	272,653	△1.46%	276,706
	1月	296,982	△0.72%	299,146
	2月	279,640	△1.89%	285,038
	3月	258,780	1.43%	255,124
	合計	3,414,098	△1.09%	3,451,585

# 付録



# 1 長野県内の上下水道料金比較

(1) 長野県内19市等上下水道料金一覧表 (口径13mm又は家庭用:1か月:20m<sup>3</sup>使用)

(令和5年4月1日現在・税込・単位:円)

	水道料金		公共下水道使用料		農業集落排水使用料		合計	
長野市	3	3,630 円	12	3,534 円	13	3,534 円	5	7,164 円
松本市	16	2,720 円	18	3,140 円	5	3,850 円	16	5,860 円
上田市	14	2,862 円	5	3,827 円	6	3,827 円	12	6,689 円
岡谷市	18	2,568 円	15	3,278 円		——	17	5,846 円
飯田市	13	2,976 円	6	3,797 円	7	3,797 円	11	6,773 円
諏訪市	19	1,973 円	19	1,437 円		——	19	3,410 円
須坂市	8	3,300 円	9	3,640 円	10	3,640 円	7	6,940 円
小諸市	12	3,080 円	8	3,750 円	9	3,750 円	10	6,830 円
伊那市	4	3,531 円	2	4,070 円	2	4,070 円	3	7,601 円
駒ヶ根市	8	3,300 円	14	3,300 円	16	2,860 円	14	6,600 円
中野市	8	3,300 円	11	3,575 円	12	3,575 円	8	6,875 円
大町市	15	2,860 円	7	3,790 円	8	3,790 円	13	6,650 円
飯山市	1	4,290 円	10	3,610 円	11	3,630 円	2	7,900 円
茅野市	17	2,585 円	17	3,188 円		——	18	5,773 円
塩尻市	11	3,120 円	3	3,980 円	3	3,980 円	6	7,100 円
佐久市	2	3,685 円	1	4,510 円	1	4,510 円	1	8,195 円
千曲市	7	3,313 円	16	3,245 円	15	3,245 円	15	6,558 円
東御市	5	3,509 円	13	3,355 円	14	3,355 円	9	6,864 円
安曇野市	6	3,348 円	4	3,960 円	4	3,960 円	4	7,308 円
19市平均		3,155 円		3,526 円		3,711 円		6,681 円

(参考)

県水地区		3,313 円		3,827 円		3,827 円		7,140 円
------	--	---------	--	---------	--	---------	--	---------

(注1) 合計は、水道料金と公共下水道使用料の合計である

(2) 長野県内の水道使用量別料金比較

	料金体系	口径13mm又は家庭用							
		5m <sup>3</sup>		10m <sup>3</sup>		20m <sup>3</sup>		50m <sup>3</sup>	
長野市	口径別	2	1,540円	4	1,881円	3	3,630円	3	9,834円
松本市	口径別	11	1,210円	9	1,570円	16	2,720円	14	8,000円
上田市	口径別	16	1,017円	16	1,322円	14	2,862円	15	7,842円
岡谷市	口径別	2	1,540円	6	1,782円	18	2,568円	19	6,319円
飯田市	用途別 口径別	13	1,116円	14	1,426円	13	2,976円	12	8,076円
諏訪市	用途別	19	862円	19	862円	19	1,973円	17	6,824円
須坂市	口径別	14	1,070円	11	1,550円	8	3,300円	10	8,980円
小諸市	口径別	17	945円	12	1,540円	12	3,080円	13	8,030円
伊那市	口径別	8	1,380円	1	1,991円	4	3,531円	5	9,482円
駒ヶ根市	口径別	6	1,419円	3	1,980円	8	3,300円	4	9,548円
中野市	口径別	18	875円	13	1,452円	8	3,300円	11	8,844円
大町市	用途別 口径別	9	1,320円	17	1,320円	15	2,860円	16	7,480円
飯山市	口径別	1	1,990円	2	1,990円	1	4,290円	1	11,190円
茅野市	口径別	10	1,265円	17	1,320円	17	2,585円	18	6,820円
塩尻市	口径別	4	1,450円	5	1,860円	11	3,120円	8	9,160円
佐久水道企業団	用途別 口径別	11	1,210円	7	1,760円	2	3,685円	6	9,460円
千曲市	口径別	7	1,413円	15	1,413円	7	3,313円	9	9,013円
東御市	その他	15	1,045円	8	1,749円	5	3,509円	2	10,109円
安曇野市	口径別	5	1,436円	10	1,568円	6	3,348円	7	9,168円
19市平均	——		1,269円		1,597円		3,155円		8,641円

長和町	その他		1,067円		1,397円		3,047円		7,997円
立科町	用途別		1,620円		1,620円		3,490円		10,260円
青木村	その他		1,498円		1,498円		1,969円		8,059円

(参考)

県水地区	口径別		1,413円		1,413円		3,313円		9,013円
------	-----	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------

(注1) 料金体系の「その他」は、用途別・口径別以外の体系があることを示す。

(令和5年4月1日現在・1ヶ月料金・税込)

口径50mm又は工場用								現行料金 適用年月日 (消費税率改定を除く)	平均 改定率
100m <sup>3</sup>		200m <sup>3</sup>		500m <sup>3</sup>		1,000m <sup>3</sup>			
9	32,087 円	5	59,037 円	2	139,887 円	2	274,637 円	平成29年6月1日	5.49%
4	39,600 円	7	57,200 円	11	110,000 円	14	198,000 円	平成19年8月1日	△5.56%
5	38,475 円	9	56,575 円	10	110,875 円	13	201,375 円	令和3年10月1日	8.30%
1	54,268 円	2	67,578 円	14	107,508 円	19	174,058 円	平成29年7月1日	9.70%
15	24,738 円	16	41,738 円	18	92,738 円	17	177,738 円	平成20年4月1日 (令和6年1月1日改定予定)	5.77%
18	18,522 円	17	39,312 円	16	101,682 円	12	205,632 円	平成30年10月1日	約10%
8	32,840 円	11	55,610 円	7	123,920 円	6	242,170 円	平成8年5月1日	27.90%
13	25,905 円	15	46,805 円	12	109,505 円	9	225,005 円	平成14年6月1日	8.20%
2	45,617 円	1	68,827 円	3	138,457 円	4	254,507 円	平成29年4月1日	△0.04%
6	37,530 円	4	59,420 円	4	131,690 円	5	252,140 円	平成10年6月1日	4.92%
11	31,152 円	10	56,122 円	5	131,032 円	3	255,882 円	平成21年4月1日	0.00%
17	19,140 円	19	36,740 円	19	89,540 円	18	177,540 円	平成15年4月1日	0.00%
14	24,890 円	14	47,890 円	8	116,890 円	8	231,890 円	平成13年9月1日	——
10	31,350 円	12	49,500 円	15	103,950 円	15	194,700 円	平成29年4月1日	△0.10%
3	42,380 円	3	64,380 円	6	130,380 円	7	240,380 円	平成19年10月20日	△5.13%
7	37,455 円	8	56,705 円	9	114,455 円	10	210,705 円	平成24年4月1日	0.00%
19	18,513 円	18	37,513 円	17	94,513 円	16	189,513 円	平成17年4月1日	2.77%
16	24,409 円	6	57,409 円	1	156,409 円	1	321,409 円	平成18年4月1日	5.17%
12	28,170 円	13	48,370 円	13	108,970 円	11	209,970 円	令和元年10月1日	△0.43%
	31,950 円		52,986 円		116,442 円		223,013 円	——	——
	31,757 円		48,257 円		97,757 円		180,257 円	平成31年4月1日	——
	23,810 円		51,310 円		142,060 円		296,060 円	平成22年4月1日	△2.90%
	18,209 円		38,509 円		98,409 円		200,909 円	平成18年4月1日	5.00%
	18,513 円		37,513 円		94,513 円		189,513 円	平成14年4月1日	——



(3) 長野県内の公共下水道使用量別使用料比較

	使用料体系	5m <sup>3</sup>		10m <sup>3</sup>		20m <sup>3</sup>		50m <sup>3</sup>	
長野市	従量制 累進制	13	1,488円	10	1,829円	12	3,534円	11	9,375円
松本市	従量制 累進制	15	1,450円	17	1,450円	18	3,140円	15	8,800円
上田市	従量制 累進制	6	1,652円	5	2,017円	5	3,827円	10	9,517円
岡谷市	従量制 累進制 水質使用料制	12	1,518円	16	1,518円	15	3,278円	14	8,844円
飯田市	従量制 累進制	8	1,613円	7	1,947円	6	3,797円	3	11,237円
諏訪市	従量制 累進制 水質使用料制	16	1,437円	18	1,437円	19	1,437円	19	3,961円
須坂市	従量制 累進制	18	1,170円	11	1,700円	9	3,640円	9	9,910円
小諸市	従量制 累進制	19	930円	8	1,870円	8	3,750円	8	9,980円
伊那市	従量制 累進制	1	2,145円	2	2,310円	2	4,070円	2	11,330円
駒ヶ根市	従量制 累進制 定額制	9	1,595円	3	2,090円	14	3,300円	12	9,040円
中野市	従量制 累進制	9	1,595円	14	1,595円	11	3,575円	5	10,747円
大町市	従量制 累進制	5	1,700円	11	1,700円	7	3,790円	6	10,610円
飯山市	従量制 累進制	14	1,470円	4	2,030円	10	3,610円	13	8,850円
茅野市	従量制 累進制 水質使用料制	17	1,435円	19	1,435円	17	3,188円	17	8,497円
塩尻市	従量制 累進制 定額制	4	1,840円	9	1,840円	3	3,980円	4	11,180円
佐久市	従量制 累進制	2	1,980円	1	2,750円	1	4,510円	1	12,210円
千曲市	従量制 累進制	11	1,540円	15	1,540円	16	3,245円	18	8,470円
東御市	従量制 累進制	7	1,650円	13	1,650円	13	3,355円	16	8,690円
安曇野市	従量制 累進制	2	1,980円	6	1,980円	4	3,960円	7	10,120円
19市平均	——		1,589円		1,826円		3,526円		9,546円
長和町	従量制		1,232円		1,650円		3,740円		12,386円
坂城町	従量制 累進制		3,080円		3,080円		3,080円		8,195円
立科町	従量制 定額制		2,310円		2,970円		4,290円		8,250円
青木村	従量制		1,623円		2,047円		4,147円		10,447円

(令和5年4月1日現在・1ヶ月料金・税込)

100m <sup>3</sup>		200m <sup>3</sup>		500m <sup>3</sup>		1,000m <sup>3</sup>		現行料金 適用年月日 (消費税率改定を除く)	平均 改定率
9	20,760 円	9	46,720 円	7	130,320 円	6	285,420 円	平成18年6月1日	8.00%
11	19,520 円	10	42,620 円	10	115,440 円	10	239,740 円	平成13年4月1日	12.25%
12	19,467 円	14	39,967 円	16	102,267 円	16	206,767 円	平成23年4月1日	0.00%
13	19,294 円	13	40,194 円	15	102,894 円	15	207,394 円	平成10年4月1日	16.51%
3	25,437 円	2	56,637 円	2	153,537 円	2	317,037 円	平成25年10月1日	8.71%
19	8,499 円	19	18,564 円	19	51,564 円	19	109,644 円	平成21年4月1日	9.84%
7	22,510 円	7	47,700 円	9	123,270 円	9	254,170 円	平成16年4月1日	10.44%
8	21,700 円	8	47,550 円	8	125,100 円	8	268,650 円	平成18年8月1日	——
2	25,630 円	3	55,880 円	3	151,030 円	3	313,280 円	平成29年4月1日	0.00%
14	19,160 円	15	39,400 円	13	106,720 円	13	218,920 円	平成7年4月1日	——
5	24,387 円	5	52,327 円	5	137,907 円	5	289,707 円	平成19年4月1日	0.00%
6	22,710 円	6	49,110 円	6	130,510 円	7	273,510 円	平成25年4月1日	0.00%
17	18,200 円	17	38,000 円	14	104,000 円	12	222,000 円	平成24年4月1日	1.80%
15	18,562 円	12	40,562 円	11	109,642 円	11	231,192 円	平成22年4月1日	10.32%
4	24,630 円	4	54,830 円	4	149,830 円	4	311,830 円	平成19年10月20日	5.06%
1	26,510 円	1	57,310 円	1	154,110 円	1	330,110 円	平成24年4月1日	——
18	17,545 円	18	36,245 円	18	93,445 円	18	189,695 円	平成15年9月1日	0.00%
16	18,315 円	16	39,215 円	17	101,915 円	17	206,415 円	平成18年4月1日	0.00%
10	20,570 円	11	42,570 円	12	108,570 円	14	218,570 円	平成22年4月1日	0.00%
	20,706 円		44,495 円		118,530 円		247,055 円	——	——
	29,436 円		63,536 円		165,836 円		336,336 円	平成17年10月1日	0.00%
	16,940 円		35,090 円		91,190 円		186,890 円	平成12年3月22日	0.00%
	14,850 円		28,050 円		67,650 円		133,650 円	平成8年3月15日	0.00%
	20,947 円		41,947 円		104,947 円		209,947 円	平成18年4月1日	0.00%

(4) 長野県内の農業集落排水使用量別使用料比較

	使用料体系			5m <sup>3</sup>		10m <sup>3</sup>		20m <sup>3</sup>		50m <sup>3</sup>	
	従 累	量 進	制 制		円		円		円		円
長野市	従 累	量 進	制 制	13	1,488	11	1,829	13	3,534	11	9,375
松本市	従 累	量 進	制 制	2	2,200	2	2,750	5	3,850	15	6,600
上田市	従 累	量 進	制 制	8	1,652	6	2,017	6	3,827	10	9,517
飯田市	従 累	量 進	制 制	10	1,613	8	1,947	7	3,797	3	11,237
須坂市	従 累	量 進	制 制	15	1,170	12	1,700	10	3,640	9	9,910
小諸市	従 累	量 進	制 制	16	930	9	1,870	9	3,750	8	9,980
伊那市	従 累	量 進	制 制	3	2,145	4	2,310	2	4,070	2	11,330
駒ヶ根市	定	額	制	1	2,860	1	2,860	16	2,860	16	2,860
中野市	従 累	量 進	制 制	11	1,595	15	1,595	12	3,575	5	10,747
大町市	従 累	量 進	制 制	7	1,700	12	1,700	8	3,790	6	10,610
飯山市	従 累	量 進	制 制	14	1,450	5	2,060	11	3,630	12	8,690
塩尻市	従 累	量 進	制 制	6	1,840	10	1,840	3	3,980	4	11,180
佐久市	従 累	量 進	制 制	4	1,980	2	2,750	1	4,510	1	12,210
千曲市	従 累	量 進	制 制	12	1,540	16	1,540	15	3,245	14	8,470
東御市	従 累	量 進	制 制	9	1,650	14	1,650	14	3,355	12	8,690
安曇野市	従 累	量 進	制 制	4	1,980	7	1,980	4	3,960	7	10,120
19市平均	———				1,737		2,025		3,711		9,470
立科町	従 定	量 額	制 制		2,310		2,970		4,290		8,250

(注1) 小諸市は、森山地区の下水道使用料金。

(令和5年4月1日現在・1ヶ月料金・税込)

100m <sup>3</sup>		200m <sup>3</sup>		500m <sup>3</sup>		1,000m <sup>3</sup>		現行料金 適用年月日 (消費税率改定を除く)	平均 改定率
9	20,760 円	9	46,720 円	7	130,320 円	6	285,420 円	平成18年6月1日	8.00%
15	11,000 円	15	19,800 円	15	46,200 円	15	90,200 円	平成25年4月1日	——
11	19,467 円	11	39,967 円	11	102,267 円	11	206,767 円	平成23年4月1日	0.00%
3	25,437 円	2	56,637 円	2	153,537 円	2	317,037 円	平成25年10月1日	8.71%
7	22,510 円	7	47,700 円	9	123,270 円	9	254,170 円	平成16年4月1日	10.33%
8	21,700 円	8	47,550 円	8	125,100 円	8	268,650 円	令和4年5月20日	——
2	25,630 円	3	55,880 円	3	151,030 円	3	313,280 円	平成29年4月1日	0.00%
16	2,860 円	16	2,860 円	16	2,860 円	16	2,860 円	平成16年8月1日	——
5	24,387 円	5	52,327 円	5	137,907 円	5	289,707 円	平成19年4月1日	0.00%
6	22,710 円	6	49,110 円	6	130,510 円	7	273,510 円	平成25年4月1日	0.00%
14	17,340 円	14	35,240 円	14	92,140 円	14	189,640 円	平成24年4月1日	0.00%
4	24,630 円	4	54,830 円	4	149,830 円	4	311,830 円	平成19年10月20日	5.06%
1	26,510 円	1	57,310 円	1	154,110 円	1	330,110 円	平成24年4月1日	——
13	17,545 円	13	36,245 円	13	93,445 円	13	189,695 円	平成23年1月1日	0.00%
12	18,315 円	12	39,215 円	12	101,915 円	12	206,415 円	平成18年4月1日	-3.9~4.5%
10	20,570 円	10	42,570 円	10	108,570 円	10	218,570 円	平成22年4月1日	0.00%
	20,086 円		42,748 円		112,688 円		234,241 円	——	——
	14,850 円		28,050 円		67,650 円		133,650 円	平成5年4月1日	0.00%

## 2 長野県内の上下水道事業の経営状況

### (1) 水道事業

経営(事業)主体	給水人口 (人)	普及率 (対給水区域内人口) (%)	年間 総配水量 (千 $\text{m}^3$ )	年間 有収水量 (千 $\text{m}^3$ )	有収率		給水収益 (千円)	経常損益 (千円)	当年度 純損益 (千円)
						(%)			
長野県	182,806	96.55	22,274.03	19,121.30	3	85.85	3,318,606	379,025	379,025
長野市	263,563	99.83	32,986.96	28,149.49	5	85.34	6,006,027	1,222,023	1,222,023
松本市	234,733	99.73	28,702.75	25,153.16	1	87.63	3,744,620	17,339	15,463
上田市	130,217	99.82	16,948.14	14,173.01	8	83.63	2,271,425	222,089	222,722
岡谷市	47,301	100.00	6,584.78	5,074.47	16	77.06	785,385	75,307	75,192
飯田市	95,835	100.00	10,590.72	9,260.91	2	87.44	1,445,801	92,362	84,441
諏訪市	48,020	99.28	7,919.60	6,531.30	11	82.47	817,030	75,955	75,487
須坂市	49,658	99.98	5,834.90	4,853.56	10	83.18	967,512	176,616	176,616
小諸市	42,642	100.00	6,582.73	4,880.49	18	74.14	833,392	108,061	108,062
伊那市	66,268	100.00	8,740.53	6,837.65	15	78.23	1,332,519	233,936	234,190
駒ヶ根市	31,613	100.00	4,542.13	3,449.83	17	75.95	669,793	115,458	116,681
中野市	41,634	97.45	6,232.29	5,087.62	12	81.63	923,879	207,873	207,873
大町市	23,852	100.00	3,971.02	2,610.38	19	65.74	394,238	106,687	105,478
飯山市	18,710	100.00	3,057.95	1,984.55	20	64.90	405,107	81,953	81,954
茅野市	52,206	99.89	9,135.62	7,178.78	14	78.58	1,106,103	211,877	211,877
塩尻市	65,774	99.93	8,495.22	7,269.00	4	85.57	1,376,999	280,659	280,341
千曲市	6,699	100.21	774.00	645.42	9	83.39	113,027	10,868	10,841
東御市	27,052	100.16	3,443.20	2,926.72	7	85.00	573,039	100,437	99,289
安曇野市	95,234	100.00	12,036.58	9,575.72	13	79.56	1,697,206	319,817	319,817
佐久水道企業団	116,423	100.00	14,903.19	12,684.03	6	85.11	2,654,595	776,714	776,283
長和町	6,528	98.88	1,278.31	610.20		47.73	138,617	3,658	3,494
立科町	6,937	100.00	1,611.88	1,046.16		64.90	227,187	48,497	48,451
青木村	4,147	100.00	540.03	382.55		70.84	80,344	1,176	1,176

(注1) 有収率・労働生産性・施設利用率・経営資本営業利益率・自己資本構成比率の左欄は、県・市及び企業団で比較した順位を示す。

数値は、令和4年度又は令和5年3月31日現在

企業債残高 (千円)	供給単価 (円/m <sup>3</sup> )	給水原価 (円/m <sup>3</sup> )	所属職員数			労働生産性 (千円)	施設利用率		経営資本 営業利益率		自己資本 構成比率		
			損益勘定 (人)	資本勘定 (人)	計 (人)		(%)	(%)	(%)				
20,551,488	173.56	161.67	34	18	52	5	99,977	13	61.02	16	0.22	20	52.54
30,436,994	213.36	182.43	94	27	121	11	64,321	17	47.43	5	1.05	19	59.70
9,647,691	148.87	177.34	53	16	69	9	76,291	4	79.46	20	△ 2.06	9	73.91
7,318,774	154.68	157.25	48	10	58	16	49,678	14	53.76	7	0.74	13	72.10
2,692,847	154.77	141.27	16	1	17	17	49,449	2	83.14	14	0.33	12	72.62
6,933,068	156.12	172.46	22	6	28	10	70,350	11	62.19	13	0.34	11	72.67
1,985,967	125.09	114.57	17	0	17	18	48,368	16	50.99	15	0.22	10	73.11
1,361,644	199.34	181.65	19	4	23	14	54,227	15	51.49	10	0.47	2	89.30
2,774,019	170.79	153.86	5	0	5	2	171,142	8	74.97	4	1.10	17	68.37
4,623,228	194.88	173.67	13	5	18	4	104,847	18	42.88	18	△ 0.30	18	67.44
2,149,524	194.15	164.14	6	0	6	3	113,463	5	77.78	6	0.75	16	71.15
2,868,038	181.59	146.46	10	3	13	6	95,342	19	41.39	2	1.33	15	71.24
771,723	166.13	145.17	15	1	16	20	28,022	1	86.35	11	0.46	4	85.17
976,270	204.13	194.15	11	0	11	19	38,373	6	77.22	17	△ 0.17	5	84.89
1,363,944	154.08	127.86	21	4	25	15	53,942	10	66.74	12	0.36	1	89.58
4,094,751	189.43	171.62	18	6	24	8	82,717	12	61.31	8	0.73	14	72.07
588,844	175.12	166.92	2	2	4	12	57,194	20	39.36	19	△ 1.38	7	78.90
1,330,364	195.80	163.66	2	1	3	1	291,441	9	70.40	3	1.22	8	74.96
4,427,674	177.24	160.46	22	0	22	7	84,296	7	75.81	9	0.56	6	81.86
1,669,779	209.29	164.36	51	7	58	13	55,550	3	82.57	1	1.45	3	89.09
1,172,193	242.45	294.79	1	0	1		138,879		55.33		-		66.28
163,934	217.16	180.58	5	0	5		46,918		36.76		0.12		94.67
1,029,500	210.16	443.24	2	0	2		40,388		59.30		-		53.51

(2) 公共下水道事業

経営(事業)主体		水洗化人口 (人)	水洗化率 (対処理区域内人口) (%)	年間汚水 処理水量 (m <sup>3</sup> )	年間 有収水量 (m <sup>3</sup> )	有収率 (%)		下水道 使用料 (千円)	経常損益 (千円)	当年度 純損益 (千円)
法 適 用	長野市	339,562	97.92	41,857,441	36,579,873	8	87.39	7,056,373	2,240,557	2,240,557
	松本市	226,573	98.86	34,873,173	27,895,274	13	79.99	4,836,290	946,935	953,566
	上田市	118,464	95.37	15,199,524	13,008,531	9	85.59	2,460,388	1,258,358	1,260,802
	岡谷市	46,417	98.12	7,752,642	5,477,311	17	70.65	944,453	170,525	176,140
	飯田市	74,419	92.31	9,817,033	7,695,096	14	78.39	1,628,355	381,169	381,005
	伊那市	46,091	93.84	4,417,004	4,516,762	2	102.26	1,031,084	246,126	253,601
	駒ヶ根市	16,630	88.06	2,576,189	2,186,547	12	84.88	399,949	140,131	136,781
	茅野市	52,287	99.09	10,159,038	7,177,451	18	70.65	1,263,967	393,920	393,920
	塩尻市	60,741	98.06	7,146,296	6,731,597	6	94.20	1,499,820	318,023	318,127
	千曲市	51,438	93.65	5,983,045	5,983,045	3	100.00	983,018	417,321	417,053
	須坂市	44,509	91.48	4,390,036	4,390,036	3	100.00	810,389	240,963	240,963
	東御市	21,849	95.30	3,300,260	2,223,094	19	67.36	372,390	122,072	121,485
	佐久市	71,742	96.21	8,609,162	7,351,719	10	85.39	1,801,052	243,748	243,171
	諏訪市	47,436	99.43	9,468,100	6,895,954	16	72.83	1,168,126	241,381	248,121
	小諸市	26,550	94.77	2,853,272	2,558,316	7	89.66	499,832	21,135	21,239
	大町市	14,070	75.81	1,346,356	1,748,133	1	129.84	357,088	133,909	133,636
	中野市	27,442	91.28	3,209,602	2,729,433	11	85.04	545,438	39,924	38,645
	安曇野市	75,351	87.62	8,346,134	8,222,776	5	98.52	1,606,639	609,964	609,964
	長和町	4,980	98.87	594,887	488,022		82.04	107,428	40,324	40,279
青木村	3,720	96.62	332,404	305,184		91.81	61,922	5,282	5,446	
法 非 適 用	飯山市	15,364	95.59	2,146,590	1,604,263	15	74.74	——	——	——
	坂城町	10,835	79.38	1,021,531	1,029,554		100.79	——	——	——
	立科町	2,290	92.60	642,520	552,132		85.93	——	——	——

(注1) 有収率の左欄は、19市で比較した順位を示す。

(注2) 労働生産性・経営資本営業利益率・自己資本構成比率の左欄は、法適用事業体で比較した順位を示す。

(注3) 施設利用率の左欄は、19市かつ自己処理を行っている事業体で比較した順位を示す。

(注4) 上記は、公共・特環を含む。(特排・個排・簡排は除く)

(注5) 水洗化人口、水洗化率は外国人を含む。

数値は、令和4年度又は令和5年3月31日現在

企業債残高 (千円)	使用料単価 (円/m <sup>3</sup> )	污水处理 原価 (円/m <sup>3</sup> )	所属職員数			労働生産性 (千円)		施設利用率 (%)		経営資本 営業利益率 (%)		自己資本 構成比率 (%)	
			損益勘定 (人)	資本勘定 (人)	計 (人)								
68,380,982	192.84	175.32	41	18	59	4	182,770	5	62.20	4	△ 1.49	7	65.41
19,620,915	179.36	151.18	40	7	47	11	123,841	3	79.29	1	△ 0.57	3	80.09
29,939,491	189.14	121.23	15	12	27	5	174,948	9	52.78	6	△ 1.71	10	61.42
6,792,419	172.43	205.10	12	1	13	15	78,768		——	13	△ 2.15	9	62.88
14,694,460	211.61	172.01	22	5	27	16	77,545	12	49.41	9	△ 1.80	11	60.17
23,393,923	228.28	169.50	7	4	11	6	147,806	8	57.86	5	△ 1.50	20	44.02
6,623,371	182.20	145.60	6	0	6	17	66,753	4	68.68	12	△ 1.96	14	55.14
10,181,037	176.10	124.32	5	5	10	1	272,218		——	2	△ 1.34	8	64.22
15,754,077	222.80	206.38	8	3	11	3	201,532	6	60.79	10	△ 1.81	15	54.90
21,128,104	164.30	99.43	5	3	8	2	208,658		——	7	△ 1.72	17	52.98
14,314,336	184.60	182.22	6	2	8	8	135,328		——	11	△ 1.93	19	46.91
4,463,931	168.24	168.69	7	1	8	18	54,543	2	82.91	16	△ 2.58	4	76.74
13,778,832	244.98	245.53	16	6	22	12	113,119	1	88.80	3	△ 1.35	5	74.34
8,522,000	169.39	182.62	9	4	13	9	129,871		——	8	△ 1.75	6	68.52
8,360,766	195.38	191.76	4	4	8	10	128,887	7	58.13	15	△ 2.37	16	53.06
6,947,362	204.35	137.19	7	1	8	19	51,276	10	51.07	17	△ 2.63	13	57.23
9,343,185	199.84	247.17	6	3	9	14	93,058	11	49.63	18	△ 2.97	18	49.84
22,624,804	195.39	198.37	12	0	12	7	135,612	13	40.42	14	△ 2.25	12	58.07
1,879,709	220.22	177.44	1	0	1	13	107,473		42.67	20	△ 3.08	1	80.36
787,699	203.20	252.60	2	0	2	20	31,398		48.40	19	△ 2.99	2	80.23
——	204.29	227.47	6	0	6		——	14	33.48		——		——
——	177.33	188.85	0	5	5		——		——		——		——
——	165.53	285.03	2	0	2		——		44.10		△ 0.96		——



### (3) 農業集落排水事業

	経営(事業) 主体	水洗化人口 (人)	水洗化率 (対処理区域内人口) (%)	年間汚水 処理水量 (m <sup>3</sup> )	年間 有収水量 (m <sup>3</sup> )	有収率		下水道 使用料 (千円)	経常損益 (千円)	当年度 純損益 (千円)
							(%)			
法 適 用	長野市	5,856	92.53	571,881	490,566	13	85.78	93,297	△ 3,682	△ 3,682
	上田市	22,384	95.17	2,028,900	1,995,235	7	98.34	372,868	184,691	185,264
	飯田市	5,228	94.13	660,260	482,930	15	73.14	98,517	72,043	72,042
	須坂市	875	93.98	175,953	175,953	2	100.00	31,138	29,435	29,435
	伊那市	10,069	97.00	878,955	855,341	8	97.31	183,173	△ 27,529	△ 27,600
	塩尻市	3,091	92.49	283,632	263,252	10	92.81	54,158	28,582	28,567
	千曲市	4,304	98.47	421,164	371,127	12	88.12	59,477	15,957	15,627
	東御市	3,403	93.49	362,996	272,705	14	75.13	45,702	9,535	9,441
	佐久市	4,723	93.47	426,746	428,950	1	100.52	94,715	△ 25,834	△ 25,919
	大町市	765	91.07	102,550	67,294	16	65.62	13,252	33,990	33,941
	中野市	9,222	84.64	852,414	798,722	9	93.70	147,968	82,895	82,698
	安曇野市	2,610	96.27	251,557	231,090	11	91.86	45,019	19,439	19,439
	小諸市	6,303	89.98	514,641	510,245	6	99.15	84,465	55,525	55,525
	駒ヶ根市	10,249	93.34	1,099,696	1,099,696	2	100.00	163,924	112,014	112,014
	立科町	2,835	95.17	267,528	247,009		92.33	51,791	1,152	1,145
法 非 適 用	松本市	638	100.00	55,921	55,921	2	100.00	——	——	——
	飯山市	2,913	94.33	327,051	326,887	5	99.95	——	——	——

(注1) 有収率・施設利用率の左欄は、19市で比較した順位を示す。

(注2) 労働生産性・経営資本営業利益率・自己資本構成比率の左欄は、法適用事業体で比較した順位を示す。

数値は、令和4年度又は令和5年3月31日現在

企業債残高 (千円)	使用料単価 (円/m <sup>3</sup> )	汚水処理 原価 (円/m <sup>3</sup> )	所属職員数			労働生産性		施設利用率		経営資本 営業利益率		自己資本 構成比率	
			損益勘定 (人)	資本勘定 (人)	計 (人)	(千円)		(%)		(%)		(%)	
3,008,256	192.84	175.32	3	0	3	10	31,129	11	44.63	1	△ 1.49	10	70.17
4,703,258	186.88	213.41	3	0	3	2	143,699	6	56.24	3	△ 2.79	9	75.97
2,197,061	204.00	322.08	2	0	2	8	49,290	7	51.44	15	△ 4.46	12	67.03
386,791	176.97	191.99	1	0	1	9	31,900	15	41.18	7	△ 3.19	7	79.22
3,358,133	214.15	214.15	2	0	2	3	91,735	13	43.36	5	△ 2.89	13	66.91
1,159,934	205.73	293.25	1	0	1	7	54,200	14	43.34	14	△ 3.90	11	69.58
183,644	159.99	160.26	1	0	1	6	61,127	1	64.85	13	△ 3.77	1	92.28
592,314	167.59	167.59	0	0	0		———	4	59.34	4	△ 2.81	6	80.67
549,806	220.81	220.81	0	0	0		———	10	47.59	8	△ 3.19	3	87.06
264,005	196.92	262.93	1	0	1	12	13,267	8	50.83	2	△ 2.63	4	84.76
4,708,007	185.26	236.16	2	0	2	5	77,213	3	61.37	10	△ 3.34	15	55.46
580,872	194.81	210.32	0	0	0		———	12	44.05	6	△ 3.13	8	77.05
822,382	165.54	163.15	1	0	1	4	84,944	5	56.60	12	△ 3.60	5	81.71
3,752,436	153.00	228.70	1	0	1	1	164,087	2	61.80	11	△ 3.38	14	61.14
357,957	209.67	550.87	2	0	2	11	25,897		48.27	9	△ 3.21	2	88.31
205,682	203.00	1,068.00	0	0	0		———	16	28.25		———		———
931,066	167.17	186.54	0	0	0		———	9	49.77		———		———

### 3 上下水道指定工事店の状況

#### (1) 指定工事事業者の推移

年月日現在	指定給水装置工事事業者			下水道指定工事店			指定工事店計
	新規指定	継続指定	合計	新規指定	継続指定	合計	
平成18年4月1日	4	275	279	3	354	357	395
19年4月1日	10	273	283	4	347	351	399
20年4月1日	8	274	282	7	318	325	377
21年4月1日	6	277	283	5	305	310	368
22年4月1日	12	283	295	10	292	302	370
23年4月1日	5	293	298	2	287	289	369
24年4月1日	6	298	304	9	276	285	363
25年4月1日	5	293	298	3	264	267	351
26年4月1日	6	293	299	6	247	253	341
27年4月1日	5	287	292	5	251	256	337
28年4月1日	4	289	293	4	247	251	331
29年4月1日	5	293	298	6	244	250	332
30年4月1日	4	296	300	3	237	240	333
31年4月1日	2	297	299	3	230	233	327
令和2年4月1日	10	299	309	3	226	229	334
3年4月1日	5	288	293	6	223	229	321
4年4月1日	7	267	274	4	224	228	303
5年4月1日	4	243	247	5	214	219	281

(注) 指定工事店計の欄は、指定給水装置工事事業者、下水道指定工事店いずれかの指定を受けている者の合計である。

#### (2) 指定工事事業者の指定基準

##### ア 指定給水装置工事事業者

[指定の基準]・・・上田市水道条例第5条第2項及び上田市指定給水装置工事事業者規程

(指定の基準)

第3条 管理者は、前条第1項の指定の申請をした者が次の各号のいずれにも適合していると認めるときは、同項の指定をしなければならない。

- (1) 事業所ごとに第10条第1項の規定により主任技術者として選任されることとなる者を置く者であること。
- (2) 次に定める機械器具を有する者であること。
  - ア 金切りのこその他の管の切断用の機械器具
  - イ やすり、パイプねじ切り器その他の管の加工用の機械器具
  - ウ トーチランプ、パイプレンチその他の接合用の機械器具
  - エ 水圧テストポンプ
- (3) 次のいずれにも該当しない者であること。
  - ア 法第25条の3第1項第3号イに規定する厚生労働省令で定めるもの
  - イ 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
  - ウ 法に違反して、刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
  - エ 第6条の規定により指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過しない者
  - オ その業務に関し不正又は不誠実な行為をするおそれがあると認めるに足りる相当の理由がある者
  - カ 法人にあって、その役員のうちアからオまでのいずれかに該当する者があるもの

##### イ 下水道指定工事店

[指定の基準]・・・上田市下水道条例

(指定の基準)

第11条 管理者は、前条第1項の指定の申請をした者が次の各号のいずれにも適合していると認めるときは、同項の指定を行う。

- (1) 責任技術者が1人以上常勤していること。
- (2) 営業に必要な設備及び器材を備えていること。
- (3) 長野県内又は管理者の指定する地域に営業所があること。
- (4) 次のいずれにも該当しない者であること。
  - ア 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
  - イ 第20条の規定により指定工事店の指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過していない者
  - ウ その業務に関し、不正又は不誠実な行為をするおそれがあると認めるに足りる相当の理由がある者
  - エ 精神の機能の障害により排水設備等の新設等の工事の事業を適正に営むに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者
  - オ 法人にあっては、その役員のうちアからエまでのいずれかに該当する者があるもの

## 表紙: 上下水道局イメージキャラクター「あかりちゃん」

上下水道局では、多くの皆様に親しみを感じていただくため、清流に住むゲンジボタルをイメージしたキャラクターを誕生させました。市民の皆様から御応募いただいた中から選考の結果、「あかりちゃん」と名付けられました。

### ～プロフィール～

性別年齢 : 不明  
性格 : おとなしいが、とにかく明るい  
特技 : 皆にすぐ可愛がられること  
趣味 : むし暑い日の夜の散歩  
夢 : 全ての川や湖がいつまでもきれいなこと  
住所 : 上田市内のきれいな某水辺

